

■調査概要

- 調査目的 2023年5月25日～5月31日時点の就職活動状況を明らかにする
- 調査対象 2024年3月卒業見込みの全国の大学生、大学院生
- 調査期間 2023年5月25日～5月31日
- 調査方法 マイナビ2024の会員に対するWEBアンケート
- 有効回答 5,062名
- 集計方法

文理男女別の全体の数値を算出するにあたり、文理男女別の構成比を2024年3月卒業予定の大学生・大学院生の構成比と等しくする為、文部科学省の学校基本調査を基に、ウエイトバック集計を行っている。基準数値は令和4年度学校基本調査(2022年12月公表)の大学3年生・院1年生在籍数を参照し、文理男女比を算出している。

※ウエイトバック集計とは...アンケート回答者の属性構成比率が実際の属性比率と乖離している場合、構成比に合わせるよう重み付けして集計すること。

※%を表示する際に小数点第二位を四捨五入しているため、%の合計が100.0%とならない場合があります。予めご了承ください。

※各月ごとに回答者が異なるため、前月調査から数値が減少する場合もございます。

<回答者データ>

文理男女

	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	計
回答数	3109	1953	1038	2071	1009	944	5062

現住所エリア

	北海道	東北	関東	甲信越	東海	北陸	関西	中国	四国	九州	計
回答数	134	276	2089	159	525	127	1017	265	92	373	5,057

※海外在住者を除く

理系

	理系学部	理系院	計	機電系	情報系	土建系	化学系	薬学系	その他理系	計
回答数	1174	779	1,953	359	314	153	259	192	676	1,953

【調査結果概要】

- ◆2024年卒業予定の大学生・大学院生の内々定率は70.2%で、前年比4.7pt増加。
- ◆AI技術などの新しいテクノロジーの登場が、就職観や志望に影響したという学生は15.3%。
- ◆企業がAIツールを導入する採用選考について「評価や合否に関わらない補助的な用途であれば不安はない」という学生が64.2%で最多。「いかなる用途であっても不安である」という学生は1割。
- ◆生成系AIによるチャットサービスを利用した経験がある学生は約4割。就職活動で利用した経験がある学生は18.4%。
- ◆生成系AIによるチャットサービスを就職活動において「使いたい」という学生は3割。「使いたくない」という学生も同程度おり、意見が分かれる。

■日本資料について■

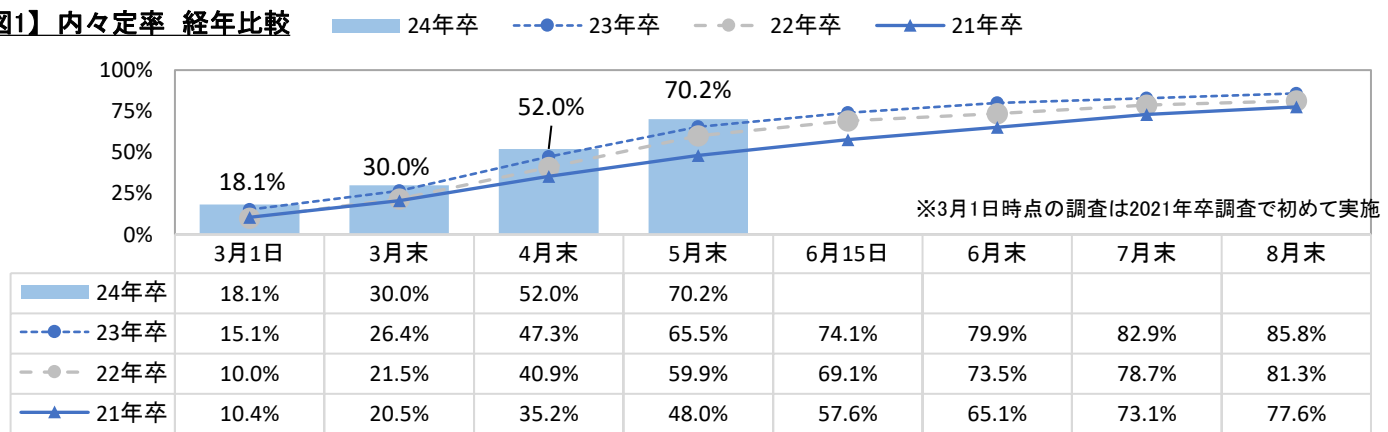
本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。
資料のご利用やご質問等に関しては下記にご連絡ください。
株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ統括部
E-mail: myrm@mynavi.jp

【TOPICS】

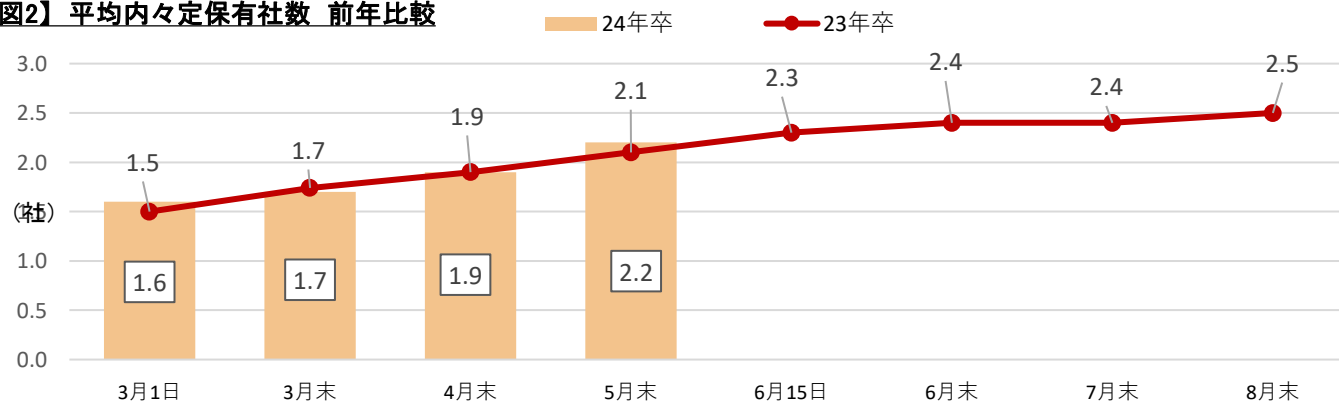
◆2024年卒業予定の大学生・大学院生の5月末時点での内々定率は70.2%（前年比4.7pt増）。

2024年卒業予定の大学生・大学院生の、5月末時点での内々定率は70.2%（前年比4.7pt増）、平均内々定保有社数は2.2社（前年比0.1社増）となった。企業の高い採用意欲を背景に、4月同様、内々定率・平均内々定保有社数ともに前年比増で推移している。【図1】【図2】

【図1】内々定率 経年比較



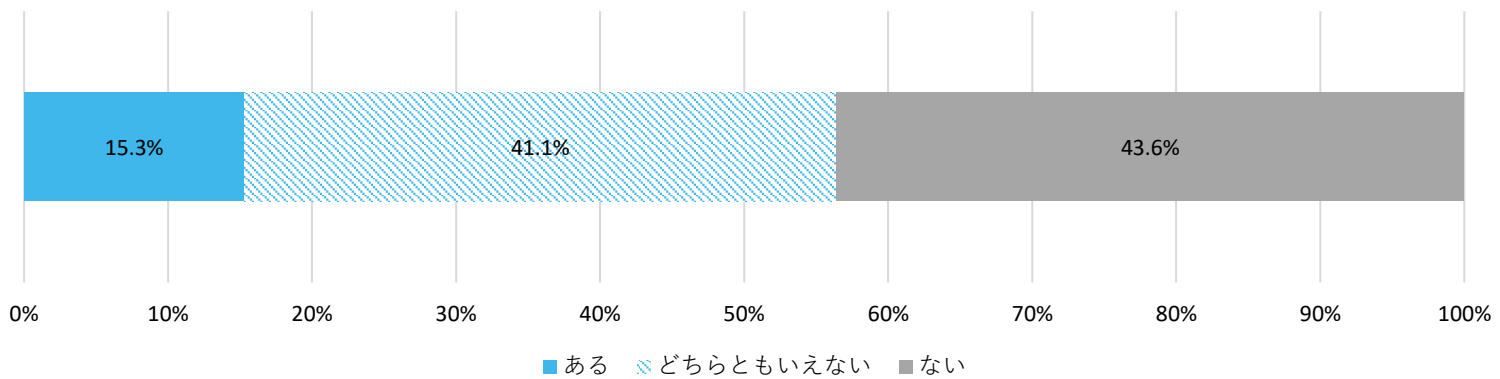
【図2】平均内々定保有社数 前年比較



◆AI技術などの新しいテクノロジーの登場が、就職観や志望先に影響したという学生は15.3%。

先進的なAI技術などの新しいテクノロジーの登場によって、就職観や志望業種・志望職種・志望企業などに影響を受けたことはあるかを聞いたところ、影響を受けたことが「ある」と回答した学生は15.3%で、最も多かったのは「ない」で43.6%あった。【図3】

【図3】 先進的なAI技術などの新しいテクノロジーの登場によって、就職観や志望業種・志望職種・志望企業などに影響を受けたことはあるか



影響が「ある」と答えた学生からは「企業を選ぶ際にITの活用やDX化に対応しているかは意識していた」のようにテクノロジーの導入に積極的かどうかを企業選びの際に注目していたという声や、「AIではできない、対人ならではの仕事をしたいと考えようになった」や「AIに置き換わられない、エッセンシャルワーカーの仕事に興味を持つようになった」のようにAIやロボットに代替される可能性が低い仕事を視野に入れているというコメントも見られた。また、テクノロジーと密接な関係があるとイメージされるIT職種・IT業界については「システムエンジニアを志望していたが、プログラミングスキルを社会が重視しなくなるのではないかと考えて志望度を下げた」という声がある一方、「ITの素養が身に付けられる業界、職種、具体的にはIT業界やコンサルティング業界に惹かれるようになった」のような好意的な見方をする意見もあるなど、学生が様々な視点からテクノロジーの進展について考えていることが読み取れる。【表1】

【表1】先進的なAI技術などの新しいテクノロジーの登場によって、就職観や志望業種・志望職種・志望企業などに影響を受けたことが「ある」と答えた理由

影響	属性	内容
ある	理系男子	システムエンジニアを志望していたが、プログラミングスキルを社会が重視しなくなるのではないかと考えて志望度を下げた
	理系女子	ITの素養が身に付けられる業界、職種、具体的にはIT業界やコンサルティング業界に惹かれるようになった。
	文系女子	AI技術の進歩により、事務など単純作業が人が行う必要が無くなる可能性があるという聞き、事務職の採用は今後どんどん少なくなると考え、事務職採用で内々定を貰おうとするのは半ば諦めようという気持ちになった。そのため、他の職種の採用情報をよく見るようになった。
	文系男子	物流だと人手不足や24年問題でどんどんセンターの機械化が進むこともあり、募集人員の減少や将来のキャリアが描けないのではないかと、思い始めたから。
	文系女子	AIではできない、対人ならではの仕事をしたいと考えようになった。
	文系女子	翻訳業を志望していたが、ChatGPTの出現で少し考え直し中である。
	文系女子	スーパーマーケット業界においてもAI技術を導入する企業が増え、それによって今まで人間の手で行ってきた日々の作業を機械に任せる時代がくるということをいくつかの企業の会社説明会で聞き、以来スーパーマーケット業に興味を湧きました。
	文系女子	銀行窓口を志望し入社予定ですが、今後AIの影響を受けて必要なくなる業種ではないかと少し不安がある
	理系男子	企業を選ぶ際にITの活用やDX化に対応しているかは意識していた。
	理系女子	AIに置き換わられない、エッセンシャルワーカーの仕事に興味を持つようになった。

影響が「ない」と答えた学生からは「自分のやりたい仕事に応募するだけだから。それに取って代わる可能性があると思うのなら、自分にしかできないことを入社後に磨けば良いと考えるから。また、それを考えていては切りが無いと思った」や「就職先に求める最も重要なことはその会社の社風であったため、AIなどの存在は加味しなかった」のようにあくまで自身の当初の志望や企業の社風などを優先したという声や、「技術の進歩よりもまだ人材不足のほうが切実な課題であるように感じ、特に技術の進歩によって自分のみている職が失われることに対する危機感はまだ感じなかったから」のように人手不足問題を加味した意見、「営業職であるため対人の接客が必要不可欠であり、AIに代替されづらいと考えたため」や「研究職の仕事がAIによって行われることはしばらくないと感じていたため」のように志望する職種に対しては影響は少ないと判断しているコメントも見られた。【表2】

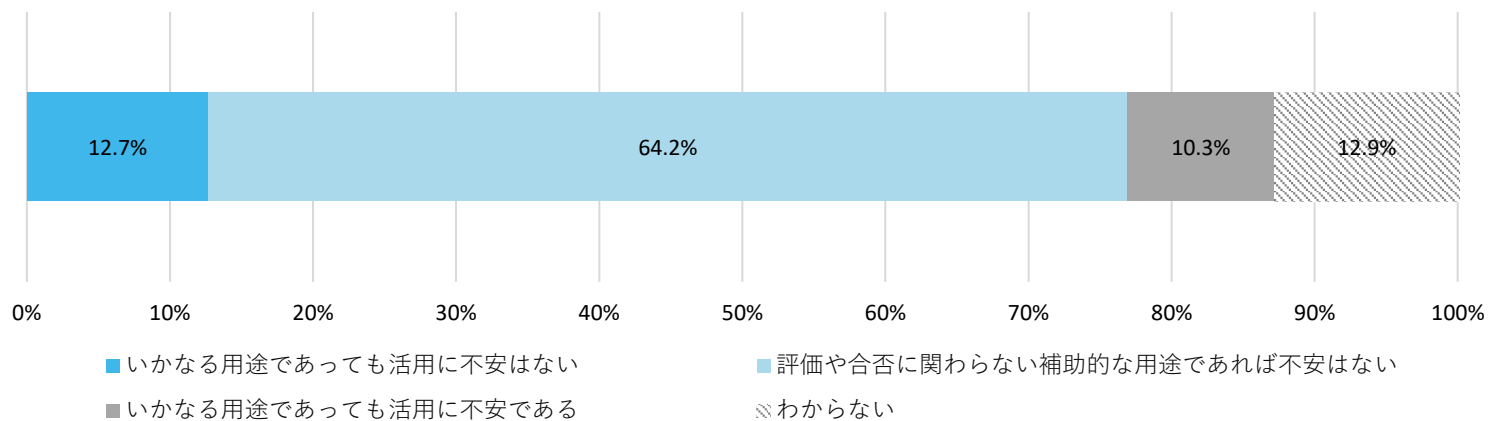
【表2】先進的なAI技術などの新しいテクノロジーの登場によって、就職観や志望業種・志望職種・志望企業などに影響を受けたことは「ない」と答えた理由

影響	属性	内容
ない	文系女子	自分のやりたい仕事に応募するだけだから。それに取って代わる可能性があると思うのなら、自分にしかできないことを入社後に磨けば良いと考えるから。また、それを考えていては切りが無いと思ったから。
	文系女子	就職先に求める最も重要なことはその会社の社風であったため、AIなどの存在は加味しなかった。
	文系女子	就活を進めていく中で、技術の進歩よりもまだ人材不足のほうが切実な課題であるように感じ、特に技術の進歩によって自分のみている職が失われることに対する危機感はまだ感じなかったから。
	理系女子	研究職の仕事がAIによって行われることはしばらくないと感じていたため
	文系男子	営業職であるため対人の接客が必要不可欠であり、AIに代替されづらいと考えたため。
	文系女子	志望する業種はウエディングと決まっていて、現時点ではあまり新しいテクノロジーに関係ないと考えるから。
	理系女子	ATMができたときに銀行員はもういなくなるといわれていたそうだが、現在も縮小するどころか増えている。何が縮小されて何が生まれるかなんてわからないものだから、自分がやりたいことをやろうと考えているので影響はなかった。
	文系女子	志望していたホテル業界では滞在されるお客様に対してリラックスできるような対面での接客を基本としており、機械に関してはSDGsの取り組みや宿泊予約等へ導入しているので、影響はないと感じました。

◆企業がAIツールを導入する採用選考について「評価や合否に関わらない補助的な用途であれば不安はない」という学生が64.2%で最多。「いかなる用途であっても不安である」という学生は1割。

採用選考において企業がAIツールを導入しているケースについて応募者としてどのように感じるかを聞いたところ、「いかなる用途であっても活用に不安である」は10.3%でもっとも少なく、次いで「いかなる用途であっても活用に不安はない」が12.7%、「わからない」が12.9%で、最も多かったのは「評価や合否に関わらない補助的な用途であれば不安はない」で64.2%だった。【図4】採用や合否といった重要な局面を除けば、企業が採用選考にAIツールを補助的に活用することについて一定の理解をしている学生が多いようである。

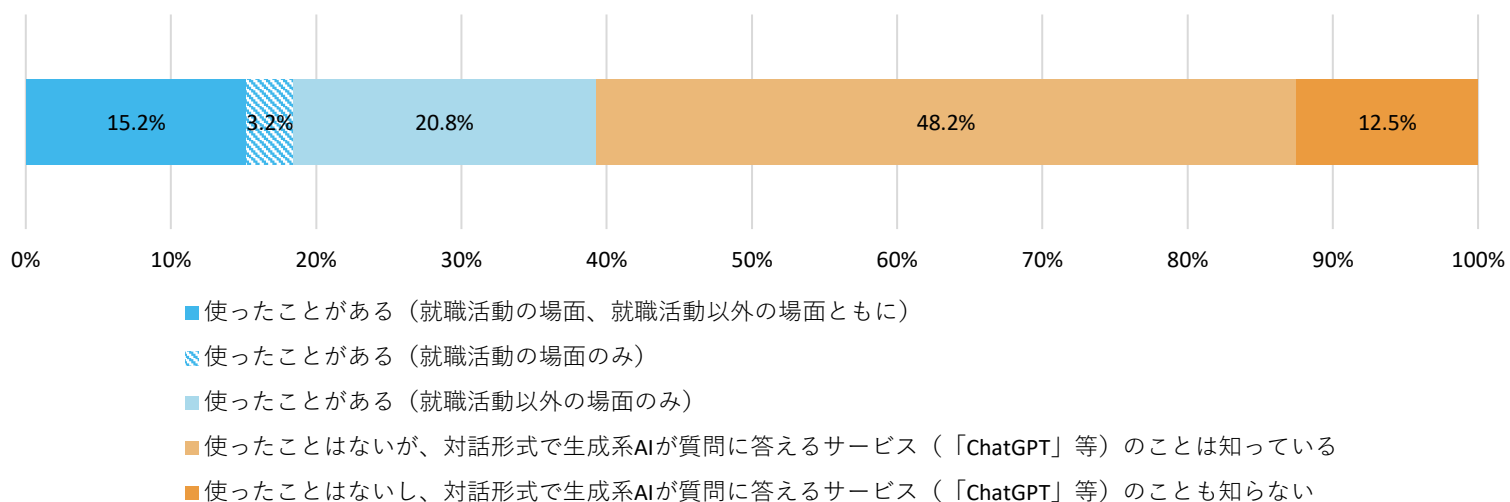
【図4】 企業がAIツールを導入した採用選考について、どのように感じるか



◆生成系AIによるチャットサービスを利用した経験がある学生は約4割。就職活動で利用した経験がある学生は18.4%。

「ChatGPT」に代表される、対話形式で生成系AIが質問に答えたり文章を生成するサービスの利用経験を聞いたところ、利用経験がある（「使ったことがある（就職活動の場面、就職活動以外の場面ともに）」と「使ったことがある（就職活動の場面のみ）」と「使ったことがある（就職活動以外の場面のみ）」の合計）という回答は39.2%で約4割となった。【図5】最も多かったのは「使ったことはないが、対話形式で生成系AIが質問に答えるサービス（「ChatGPT」等）のことは知っている」で48.2%であった。

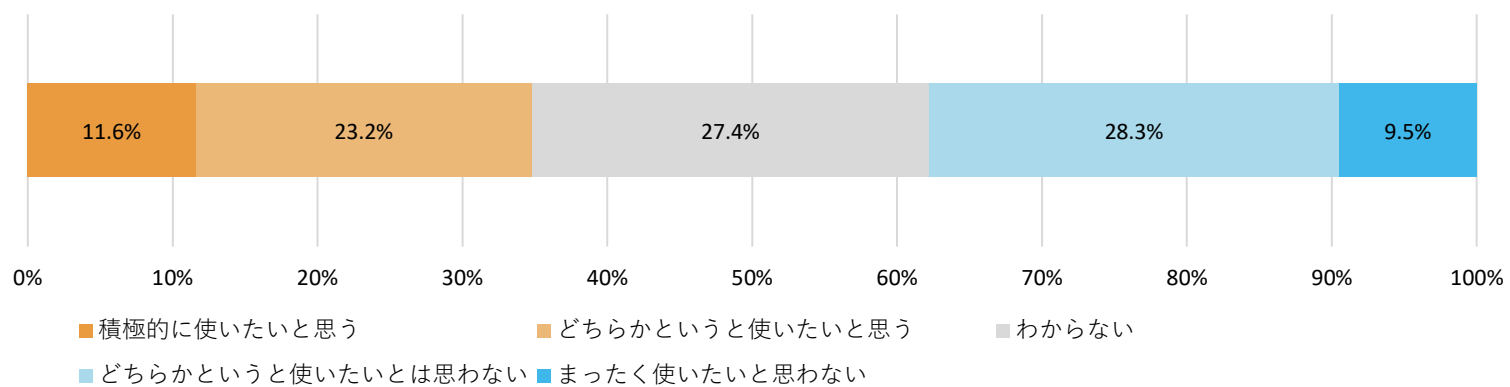
【図5】 対話形式で生成系AIが質問に答えるサービス（「ChatGPT」等）の利用経験



◆生成系AIによるチャットサービスを就職活動において「使いたい」という学生は3割。「使いたいと思わない」という学生も同程度おり、意見が分かれる。

生成系AIによるチャットサービス(ChatGPT等)を就職活動で活用することについての考えについて最も多かったのは「どちらかというと思いたいとは思わない」(28.3%)、次いで「わからない」(27.4%)、「どちらかというと思いたいと思う」(23.2%)が僅差で続いている。【図6】「使いたい」(「積極的に使いたいと思う」と「どちらかというと思いたいと思う」の合計)は34.8%、「使いたいと思わない」(「どちらかというと思いたいとは思わない」と「まったく使いたいと思わない」の合計)は37.8%と同程度であり、学生の間でも考えにばらつきがあることがわかる。

【図6】 生成系AIによるチャットサービス(ChatGPT等)を就職活動で活用することについての考え (サービスを知っている学生限定)



就職活動で「使ってみよう」と回答した学生からは「志望動機などを自分でまとめられない時に、ChatGPTに箇条書きで自分で志望理由を書いてまとめてもらうことに利用したい。まとめてもらったものを参考にすることで、効率化を図ることが出来ると思う」や「文章の推敲や拡大(400文字から600文字にするなど)など、就職活動の補助的なものとして使いたい」、「ES添削の場面において使いたい。人に添削してもらうには日中しかできないが、AIを使えば24時間いつでも添削してもらえ、添削待ちの時間を削減できるため」のようにエントリーシートの作成に活用したいという声や、「ガクチカや自己PRに対するの深堀質問や、添削に使用してみたいと考えます」や「企業の情報と自身のエントリーシート記入内容を読み込ませ、面接で聞かれそうな設問を想定させている。自分では思いつかない角度からの質問は実際の面接でも役立つ」のように面接準備で活用しているというコメントも見られた。自分の考えた内容を添削・修正したり、自分では思いつかなかった言い回しを発見するといった補助的な用途を想定している学生が多く見られた。また「自己PRなどの推敲など他人に頼むしかない事柄で活用している。相手の時間を取らなくて済むので心情的に楽」のように、他人にチェック依頼するよりも心理的なハードルが低い、といった声もあり、活用の動機も単に便利であるというものだけではなく、さまざまなものがあるようだ。

【表3】生成系AIによるチャットサービスを就職活動において使いたい理由や場面

属性	使いたい場面	内容
文系男子	エントリーシート	ES添削の場面において使いたい。人に添削してもらうには日中しかできないが、AIを使えば24時間いつでも添削してもらえ、添削待ちの時間を削減できるため。
理系女子	エントリーシート	文章の推敲や拡大(400文字から600文字にするなど)など、就職活動の補助的なものとして使いたい。
文系女子	エントリーシート	志望動機などを自分でまとめられない時に、ChatGPTに箇条書きで自分で志望理由を書いてまとめてもらうことに利用したい。まとめてもらったものを参考にすることで、効率化を図ることが出来ると思う。
理系女子	エントリーシート	エントリーシートなどで自分の強みを言い換えて弱みを作ってくれるなど、自分では盲点だったところを教えてくれるため
文系女子	面接	ガクチカや自己PRに対するの深堀質問や、添削に使用してみたいと考えます。
文系女子	面接	企業の情報と自身のエントリーシート記入内容を読み込ませ、面接で聞かれそうな設問を想定させている。自分では思いつかない角度からの質問は実際の面接でも役立つ。

文系女子	面接	面接の逆質問を考える際や競合他社との比較の場面で使ってみたいです。自分で調べるよりも効率的に情報を得られると思うからです。
文系女子	その他	自己PRなどの推敲など他人に頼むしかない事柄で活用している。相手の時間を取らなくて済むので心情的に楽
理系男子	その他	企業に送るメールなどに利用したい。 1から自分で考えていると時間がかかるため、特に早く伝えたいことがある場面では助かると思う。

就職活動で「使ってみたいと思わない」と回答した学生からは「AIによる分析も手段の一つであると思うが、やはり人と話すことで心が整理されたり癒されたりすることもあり、また、人と話す練習が面接にも活かされると考えたためメインとして使いたいのと思えなかった」や「AIに相談するくらいなら人間に相談した方が良いから」のようにAIではなく人間に相談したほうが良いという考えや、「生成系AIは、あくまでAIであるため自分の経験や考えを完全に反映できるというわけではなく、オリジナリティーに欠けてしまうというデメリットが予想されます」や「自分らしさが表現できず、他の就活生との差別化ができないと考えるから。」のように自分らしさやオリジナリティーを出しづらいのではないかという意見、また「一度就職活動で自分で調べる方法以外に情報を入手したいと思い使用したが、その情報が間違っており確実に信用はできないため、自分で調べて情報収集するのが一番確実だと思った」や「まだセキュリティ面で不安であること、チャットサービスを使ったことが企業側にばれたときに不利にならないか不安であるため」のように情報の信ぴょう性やセキュリティ面の不安、企業が受ける心象などを考慮する声もあった。

【表3】生成系AIによるチャットサービスを就職活動において使いたいのと思わない理由

属性	内容
理系女子	AIによる分析も手段の一つであると思うが、やはり人と話すことで心が整理されたり癒されたりすることもあり、また、人と話す練習が面接にも活かされると考えたためメインとして使いたいのと思えなかった。
文系女子	一度就職活動で自分で調べる方法以外に情報を入手したいと思い使用したが、その情報が間違っており確実に信用はできないため、自分で調べて情報収集するのが一番確実だと思った。
文系女子	まだセキュリティ面で不安であること、チャットサービスを使ったことが企業側にばれたときに不利にならないか不安であるため。
文系男子	エントリーシートを下書きしている際にChatGPTを用いて文章の作成に試みたことがある。いくつかのキーワードと条件を与えて生成したところ、案外筋の通ったものが出来上がった。しかし、完璧に自分の伝えたいことがその文章に反映されているかと言えばそうではない。論理的な文章の構成は参考になるが、自分の頭で考え、自分の手でキーボードを打ち込む方が結果的には効率的であるとする。現時点ではChatGPTは参考程度に用いるのが自分の中ではベストな使い方であるとする。
文系男子	AIに相談するくらいなら人間に相談した方が良いから
文系女子	自分らしさが表現できず、他の就活生との差別化ができないと考えるから。
理系男子	自分のことや考えたことを自分の言葉で述べるのが大事なので、あくまでAIのような第三者が考えたものをそのままパクリするのは、他の就職活動者との違いが出てこないおそれがあるから。
理系男子	たしかにChatGPT等のAIサービスを使うことで履歴書作成や面接対策をより効率的に進めることができるようになります。しかしながら、生成系AIは、あくまでAIであるため自分の経験や考えを完全に反映できるというわけではなく、オリジナリティーに欠けてしまうというデメリットが予想されます。このことから、生成系AIを選考に使用することで、どこの企業でも当てはまるような「ありきたりな履歴書」ばかりが作られてしまうのではないかと懸念しています。ですから、生成系AIを使うのであれば、選考に関わらないような場面で使った方が無難なのではないかと思えます。

<INDEX>

1. 内々定状況

- (1) 内々定率
- (2) 内々定保有社数

2. 内々定保有者の状況

- (1) 内々定を得た企業の業種(複数回答)
- (2) 内々定を得た企業のうち、入社意思の最も高い企業の業種
- (3) 内々定を得た企業のうち、入社意思の最も高い企業の従業員規模
- (4) 内々定を得た企業のうち、入社意思の最も高い企業の活動開始時点の志望順位
- (5) 入社意思の最も高い企業から得た内々定の満足度
- (6) 入社意思の最も高い企業のインターンシップに参加したことはあるか
- (7) 入社意思の低い企業に対して、辞退の意思は伝えているか
- (8) 就職活動継続意向

3. 現在の活動状況

- (1) これまでに全部で何社の選考を受けたか(※選考…ES提出・適性・筆記・面接等可否の出るものを指す)
- (2) 現在、何社の選考を残しているか
- (3) 現在、就職活動で最も注力して行っていること
- (4) 現在、選考を受けている企業群のおおよその従業員規模
- (5) 現時点で希望する業種を絞り込んでいるか
- (6) 現在、就職活動で内々定を得る自信があるか

4. 今後の活動予定

- (1) 今後、何社ぐらい選考を受けようと考えているか
- (2) 今後どのような方法で選考に参加する企業を見つけるか(複数回答)
- (3) 次月以降の面接・選考はどのように進めるか
- (4) 今後の活動の方向性(複数回答)
- (5) 就職活動をいつまで続ける予定か

5. 5月の学生の特徴

- (1) インターンシップ・ワンデー仕事体験に初めて参加した時期
- (2) 何社のインターンシップ・ワンデー仕事体験に参加したことがあるか
- (3) 先進的なAI技術などの新しいテクノロジーの登場によって、就職観や志望業種・志望職種・志望企業などに影響を受けたことはあるか
- (4) 前問で「影響を受けたことがある」と答えた理由(影響を受けた業種・職種とその影響の内容等)、「影響を受けたことはない」と答えた
- (5) 企業がAIツールを導入した採用選考について、どのように感じるか
- (6) 対話形式で生成系AIが質問に答えるサービス(「ChatGPT」等)の利用経験
- (7) 生成系AIによるチャットサービス(ChatGPT等)を就職活動で活用することについての考え
- (8) 生成系AIのチャットサービス(ChatGPT等)を就職活動で使ってみたい場面とその理由、使いたくない理由

■調査概要

- 調査目的 : 2023年5月25日～5月31日時点の就職活動状況を明らかにする
- 調査対象 : 2024年3月卒業見込みの全国の大学生、大学院生
- 調査期間 : 2023年5月25日～5月31日
- 調査方法 : マイナビ2024の会員に対するWEBアンケート
- 有効回答 : 5,062名
- 集計方法

文理男女別の全体の数値を算出するにあたり、文理男女別の構成比を2024年3月卒業予定の大学生・大学院生の構成比と等しくする為、文部科学省の学校基本調査を基に、ウエイトバック集計を行っている。基準数値は令和4年度学校基本調査(2022年12月公表)の大学3年生・院1年生在籍数を参照し、文理男女比を算出している。

※ウエイトバック集計とは…アンケート回答者の属性構成比率が実際の属性比率と乖離している場合、構成比に合わせるように重み付けして集計すること。

※%を表示する際に小数点第二位を四捨五入しているため、%の合計が100.0%とならない場合があります。予めご了承ください。

※各種平均社数の21年卒データは昨年調査時と異なる集計方法のため、昨年レポートと数値が異なります。

※各月ごとに回答者が異なるため、前月調査から数値が減少する場合もございます。

<回答者データ>

文理男女

	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	計
回答数	3,109	1,953	1,038	2,071	1,009	944	5,062

現住所エリア

	北海道	東北	関東	甲信越	東海	北陸	関西	中国	四国	九州	計
回答数	134	276	2,089	159	525	127	1,017	265	92	373	5,057

※海外居住を除く

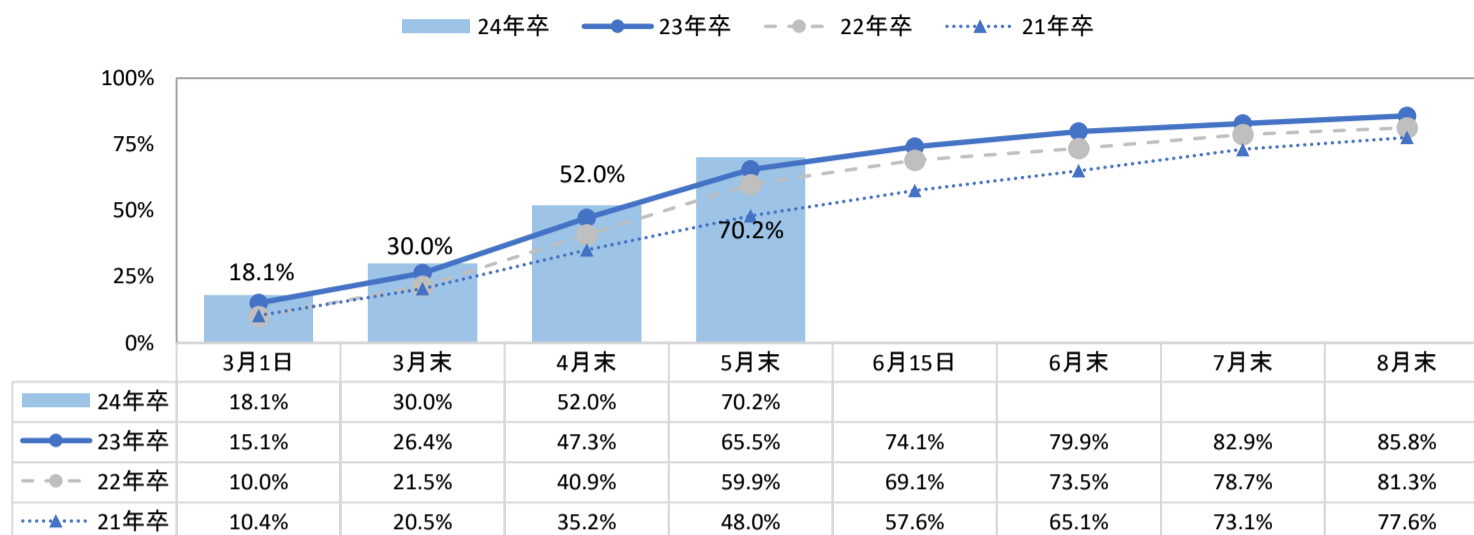
理系

	理系学部	理系院	計	機電系	情報系	土建系	化学系	薬学系	その他理系	計
回答数	1,174	779	1,953	359	314	153	259	192	676	1,953

1. 内々定状況

1-(1) 内々定率

内々定率 経年比較



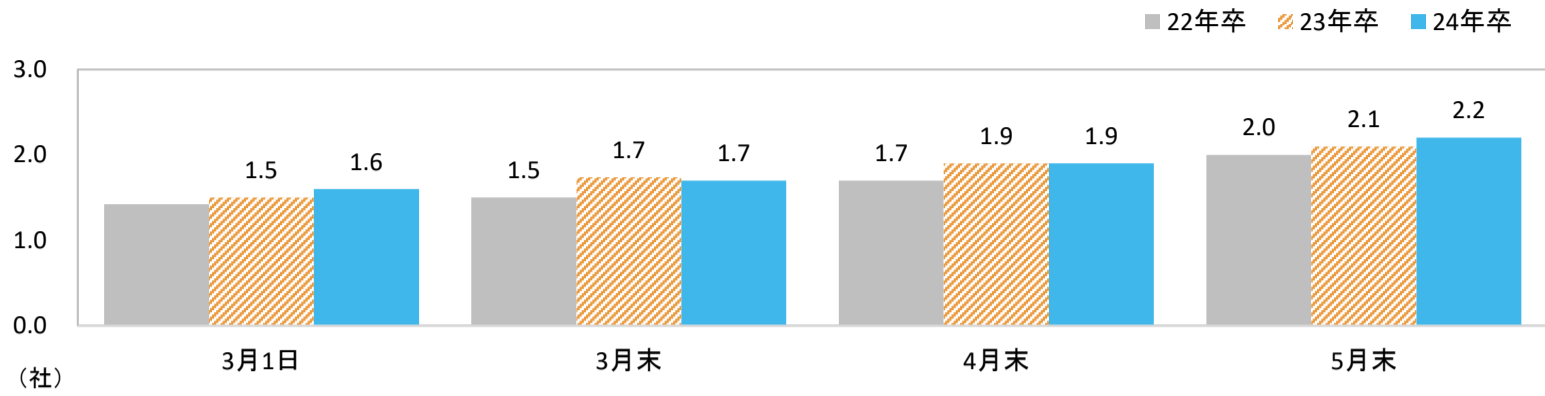
	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	5,062	3,109	1,953	1,038	2,071	1,009	944
24年卒	70.2%	66.7%	76.0%	66.1%	67.3%	75.6%	76.7%
23年卒	65.5%	-	-	62.0%	59.3%	74.0%	71.9%
22年卒	59.9%	-	-	55.5%	53.6%	70.7%	65.3%
21年卒	48.0%	-	-	43.8%	37.9%	61.1%	53.3%
20年卒	61.8%	-	-	57.8%	56.0%	70.2%	70.0%
前月比	+18.2pt	-	-	+19.4pt	+20.9pt	+14.9pt	+16.0pt
前年比	+4.7pt	-	-	+4.1pt	+8.0pt	+1.6pt	+4.8pt

	北海道	東北	関東	甲信越	東海	北陸	関西	中国	四国	九州
回答数	134	276	2,089	159	525	127	1,017	265	92	373
24年卒	62.6%	69.2%	71.5%	67.3%	72.6%	85.5%	69.0%	67.2%	73.1%	64.6%
23年卒	63.6%	64.7%	65.2%	67.2%	67.3%	76.1%	64.7%	65.8%	70.3%	60.6%
22年卒	54.9%	62.2%	60.5%	62.1%	65.1%	70.6%	56.5%	58.5%	61.1%	56.5%
21年卒	45.1%	48.6%	47.5%	51.4%	50.4%	53.2%	41.0%	46.0%	44.6%	37.8%
20年卒	61.5%	62.9%	60.8%	63.3%	62.7%	69.1%	59.6%	66.7%	64.4%	55.9%
前月比	+15.5pt	+18.2pt	+16.7pt	+10.9pt	+14.1pt	+21.7pt	+21.1pt	+19.3pt	+16.9pt	+26.2pt
前年比	-1.0pt	+4.5pt	+6.3pt	+0.1pt	+5.3pt	+9.4pt	+4.3pt	+1.4pt	+2.8pt	+4.0pt

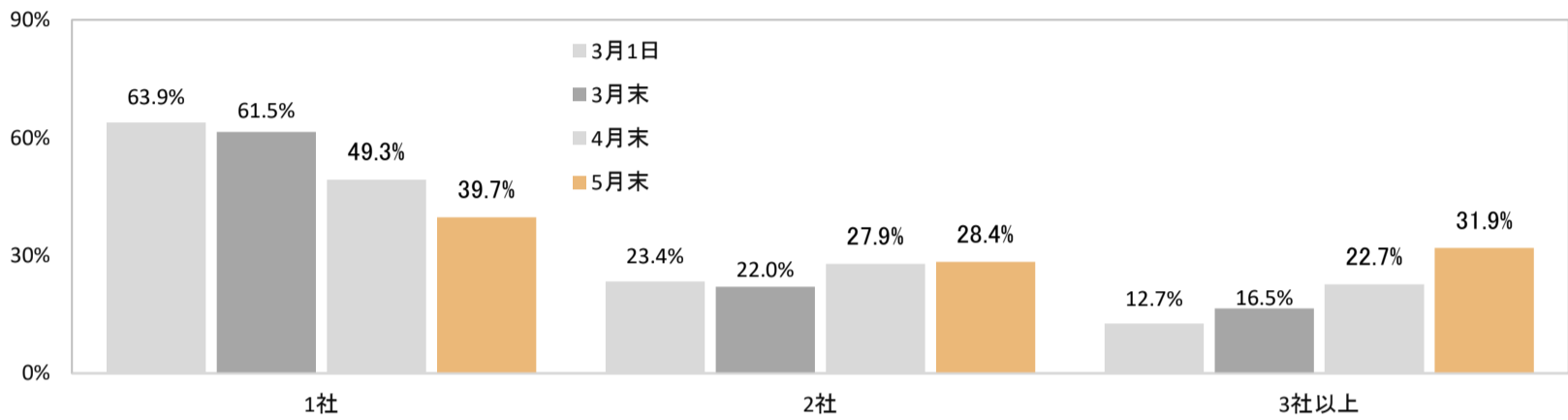
	理系全体	理系学部	理系院	機電系	情報系	土建系	化学系	薬学系	その他理系
回答数	1,953	1,174	779	359	314	153	259	192	676
24年卒	76.0%	67.6%	87.7%	81.2%	72.8%	79.3%	82.1%	81.2%	69.4%
23年卒	73.3%	68.4%	81.9%	80.3%	72.9%	77.2%	75.9%	83.9%	65.1%
22年卒	68.8%	64.0%	78.6%	74.0%	72.3%	74.4%	71.4%	79.4%	58.8%
21年卒	57.1%	51.6%	67.5%	68.1%	59.3%	58.4%	59.7%	70.6%	48.4%
20年卒	70.1%	65.2%	77.6%	73.3%	69.5%	67.3%	69.6%	77.6%	67.7%
前月比	+15.3pt	+13.6pt	+14.8pt	+13.1pt	+16.4pt	+21.5pt	+14.5pt	+13.7pt	+14.4pt
前年比	+2.7pt	-0.8pt	+5.8pt	+0.9pt	-0.1pt	+2.1pt	+6.2pt	-2.7pt	+4.3pt

※各月ごとに回答者が異なるため、前月調査から数値が減少する場合がございます。

内々定保有社数(平均)経年比較



内々定保有社数分布



<全体>

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	3,530	2,057	1,473	674	1,383	757	716
1社	39.7%	39.9%	39.5%	39.2%	40.6%	40.3%	38.0%
2社	28.4%	28.0%	28.9%	26.9%	29.2%	28.4%	29.9%
3社以上	31.9%	32.1%	31.6%	34.0%	30.2%	31.3%	32.1%
内々定保有社数(平均)	2.2	2.2	2.2	2.3	2.2	2.2	2.2

<23年卒 全体>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	3,039	559	1,243	609	628
1社	43.1%	39.2%	45.1%	45.6%	42.0%
2社	27.3%	28.8%	27.7%	25.1%	27.9%
3社以上	29.6%	32.0%	27.2%	29.2%	30.1%
内々定保有社数(平均)	2.1	2.2	2.1	2.2	2.1

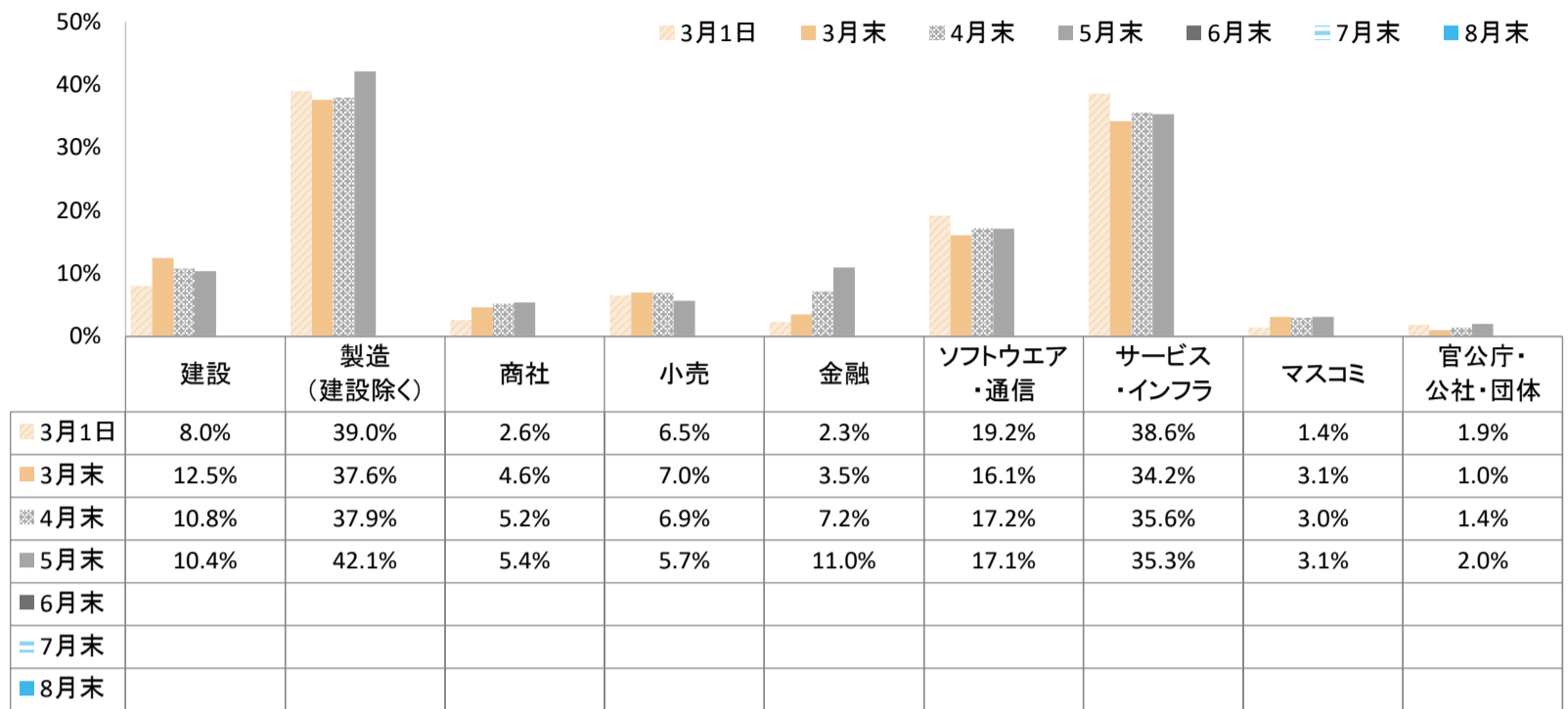
<22年卒 全体>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	4,048	698	1,699	806	845
1社	47.6%	47.7%	50.0%	44.3%	49.5%
2社	27.5%	26.2%	26.3%	30.4%	26.4%
3社以上	24.9%	26.1%	23.7%	25.3%	24.1%
内々定保有社数(平均)	2.0	2.1	1.9	2.0	1.9

■2. 内々定保有者の状況

2-(1) 内々定を得た企業の業種(複数回答)

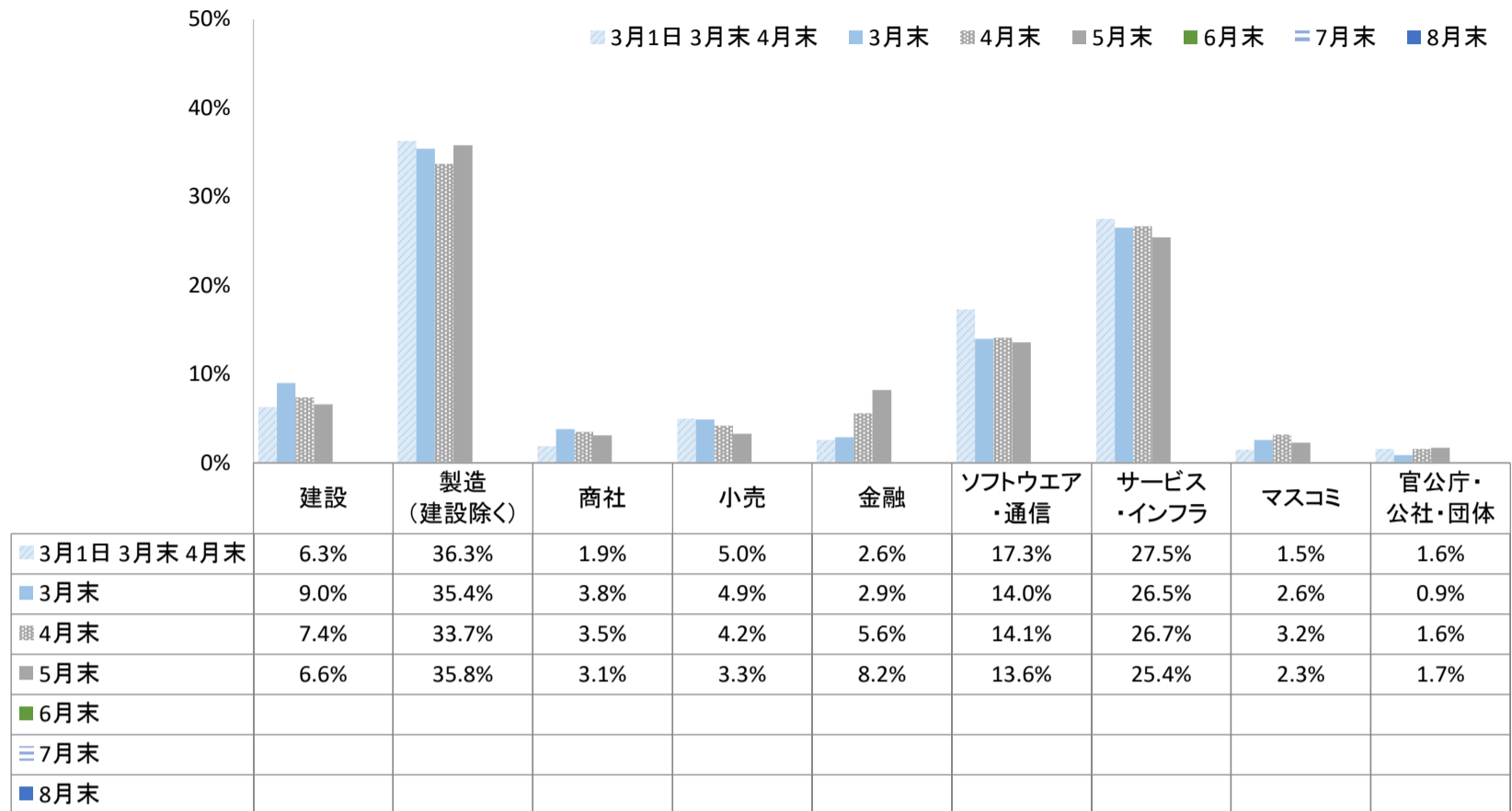
内々定を得た企業の業種(複数回答)



<23年卒>

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子		全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	3,528	2,058	1,470	674	1,384	754	716		3,035	559	1,241	607	628
建設	10.4%	10.4%	10.2%	12.5%	8.5%	11.7%	7.7%		10.9%	12.2%	8.2%	11.9%	11.5%
製造(建設除く)	42.1%	31.2%	57.7%	35.2%	27.2%	59.2%	55.0%		39.9%	32.2%	25.8%	56.8%	49.5%
商社	5.4%	7.7%	2.1%	10.2%	5.1%	1.9%	2.7%		6.8%	11.8%	8.5%	2.1%	2.5%
小売	5.7%	8.1%	2.3%	7.3%	9.0%	1.6%	3.5%		7.8%	12.7%	10.2%	2.3%	4.3%
金融	11.0%	17.3%	2.0%	17.1%	17.6%	2.3%	1.7%		7.8%	11.1%	13.1%	1.8%	2.5%
ソフトウェア・通信	17.1%	16.9%	17.4%	16.0%	17.8%	18.8%	14.8%		18.0%	14.5%	17.2%	23.1%	16.6%
サービス・インフラ	35.3%	40.4%	28.0%	36.4%	44.3%	24.8%	33.8%		34.7%	39.7%	42.8%	22.2%	33.3%
マスコミ	3.1%	4.5%	1.2%	3.1%	5.9%	0.8%	1.8%		2.5%	3.0%	4.4%	0.8%	1.0%
官公庁・公社・団体	2.0%	2.7%	0.9%	3.3%	2.2%	0.5%	1.7%		1.8%	1.8%	2.8%	1.0%	1.1%

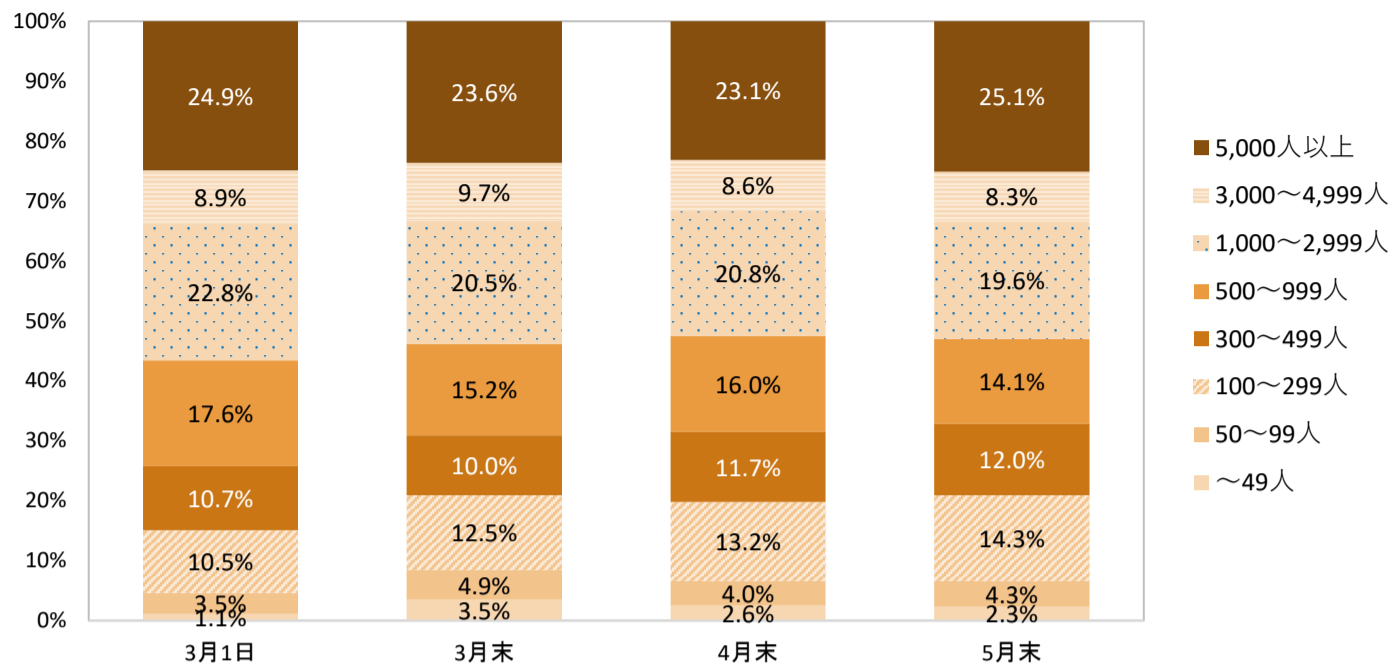
内々定を得た企業のうち、入社意思の最も高い企業の業種



<23年卒>

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子		全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	3,451	2,004	1,447	656	1,348	744	703		2,990	549	1,218	602	621
建設	6.6%	6.1%	7.4%	7.2%	5.0%	8.1%	6.1%		7.6%	8.0%	5.5%	8.5%	8.9%
製造(建設除く)	35.8%	23.7%	52.6%	27.0%	20.5%	54.8%	48.5%		34.0%	24.8%	20.4%	51.7%	44.4%
商社	3.1%	4.2%	1.5%	5.2%	3.2%	1.2%	2.0%		3.8%	6.2%	5.3%	1.0%	1.4%
小売	3.3%	4.6%	1.5%	4.3%	5.0%	1.3%	1.8%		4.5%	7.3%	5.7%	1.5%	2.7%
金融	8.2%	13.2%	1.2%	12.5%	13.8%	1.5%	0.7%		6.3%	9.5%	10.3%	1.5%	2.1%
ソフトウェア・通信	13.6%	13.1%	14.3%	12.8%	13.4%	15.3%	12.4%		14.7%	11.5%	14.4%	18.9%	13.2%
サービス・インフラ	25.4%	29.5%	19.8%	26.4%	32.5%	16.5%	25.6%		25.6%	28.4%	32.9%	15.4%	25.8%
マスコミ	2.3%	3.3%	0.9%	2.3%	4.4%	0.8%	1.1%		2.1%	3.1%	3.3%	0.8%	0.3%
官公庁・公社・団体	1.7%	2.3%	0.9%	2.4%	2.2%	0.4%	1.7%		1.3%	1.3%	2.2%	0.7%	1.1%

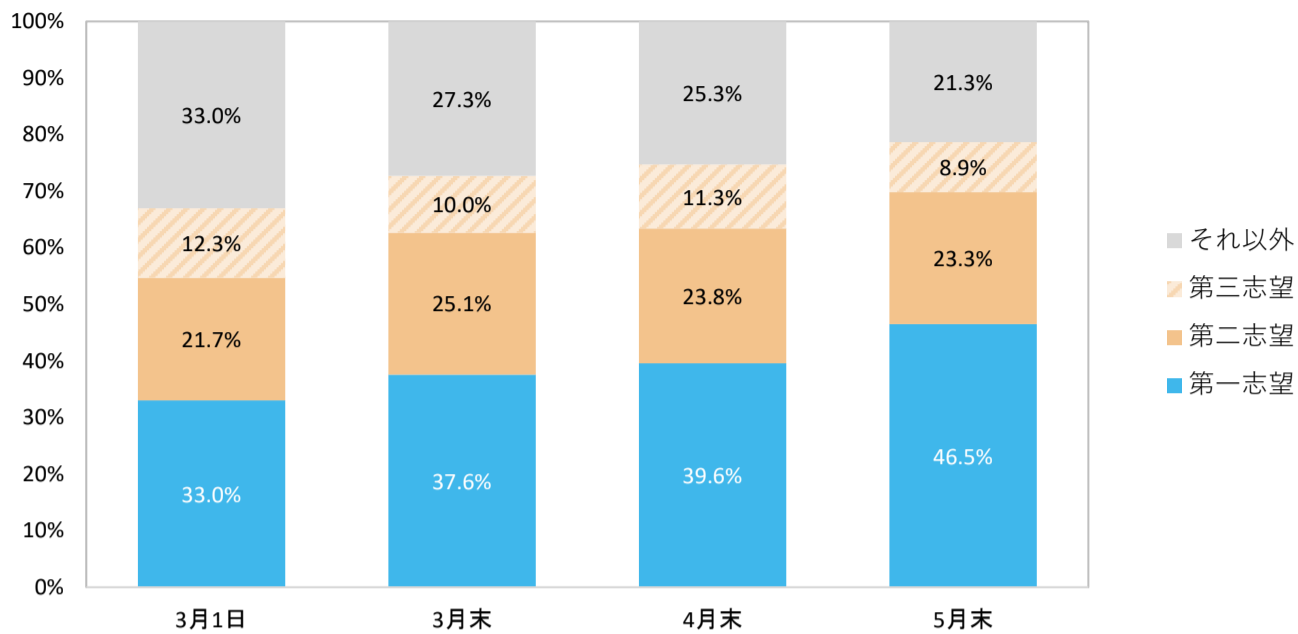
2-(3) 内々定を得た企業のうち、入社意思の最も高い企業の従業員規模
内々定を得た企業のうち、入社意思の最も高い企業の従業員規模



<23年卒>

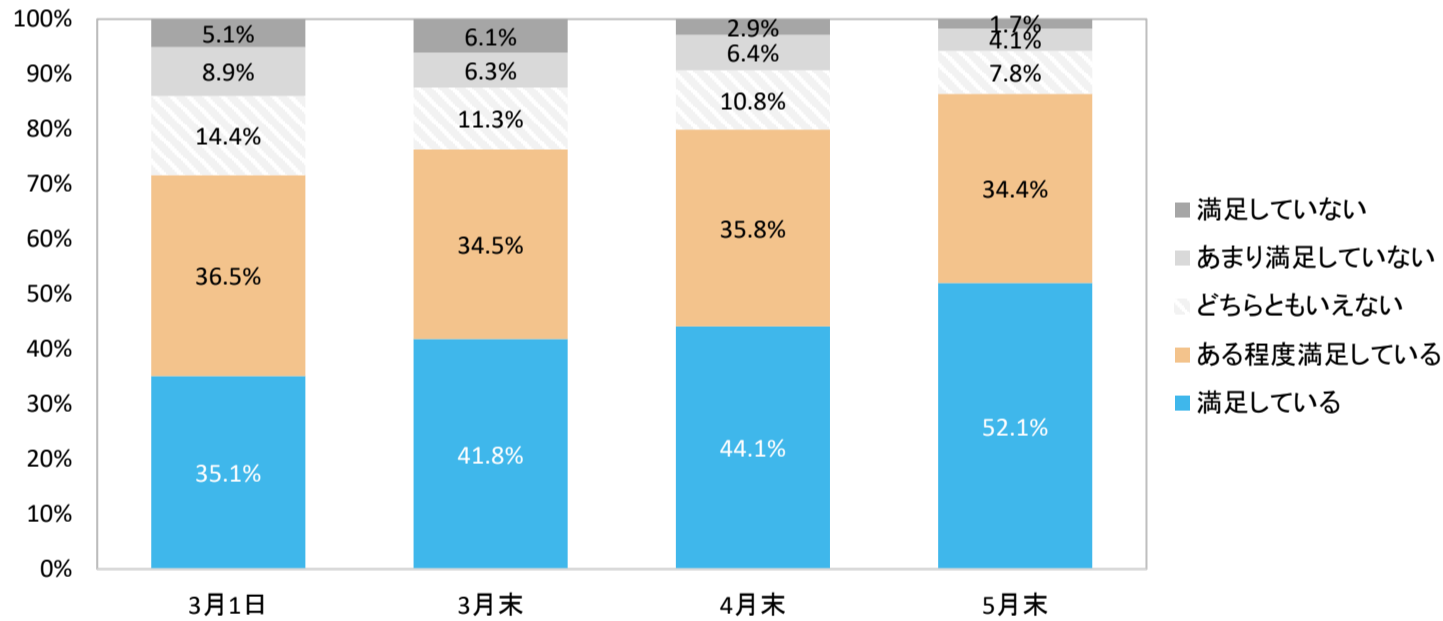
	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子		全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	3,470	2,023	1,447	665	1,358	744	703		2,969	548	1,203	597	621
~49人	2.3%	2.8%	1.6%	2.4%	3.2%	1.5%	1.8%		2.3%	2.2%	4.1%	1.0%	1.8%
50~99人	4.3%	5.0%	3.4%	4.8%	5.2%	3.1%	3.8%		4.4%	6.6%	5.5%	1.7%	3.5%
100~299人	14.3%	16.8%	10.9%	17.6%	16.1%	10.1%	12.2%		17.0%	19.7%	20.9%	12.2%	13.2%
300~499人	12.0%	12.2%	11.6%	12.0%	12.4%	11.7%	11.4%		13.0%	12.6%	15.3%	11.1%	13.4%
500~999人	14.1%	14.5%	13.5%	13.7%	15.4%	12.4%	15.5%		15.2%	13.3%	14.5%	16.4%	18.0%
1,000~2,999人	19.6%	20.5%	18.2%	19.7%	21.3%	17.1%	20.3%		21.7%	23.5%	20.4%	19.8%	24.0%
3,000~4,999人	8.3%	8.8%	7.6%	8.7%	8.9%	7.3%	8.3%		9.2%	7.8%	8.0%	12.1%	8.7%
5,000人以上	25.1%	19.3%	33.2%	21.1%	17.5%	37.0%	26.6%		17.1%	14.2%	11.3%	25.8%	17.4%

2-(4) 内々定を得た企業のうち、入社意思の最も高い企業の活動開始時点の志望順位
内々定を得た企業のうち、入社意思の最も高い企業の活動開始時点の志望順位



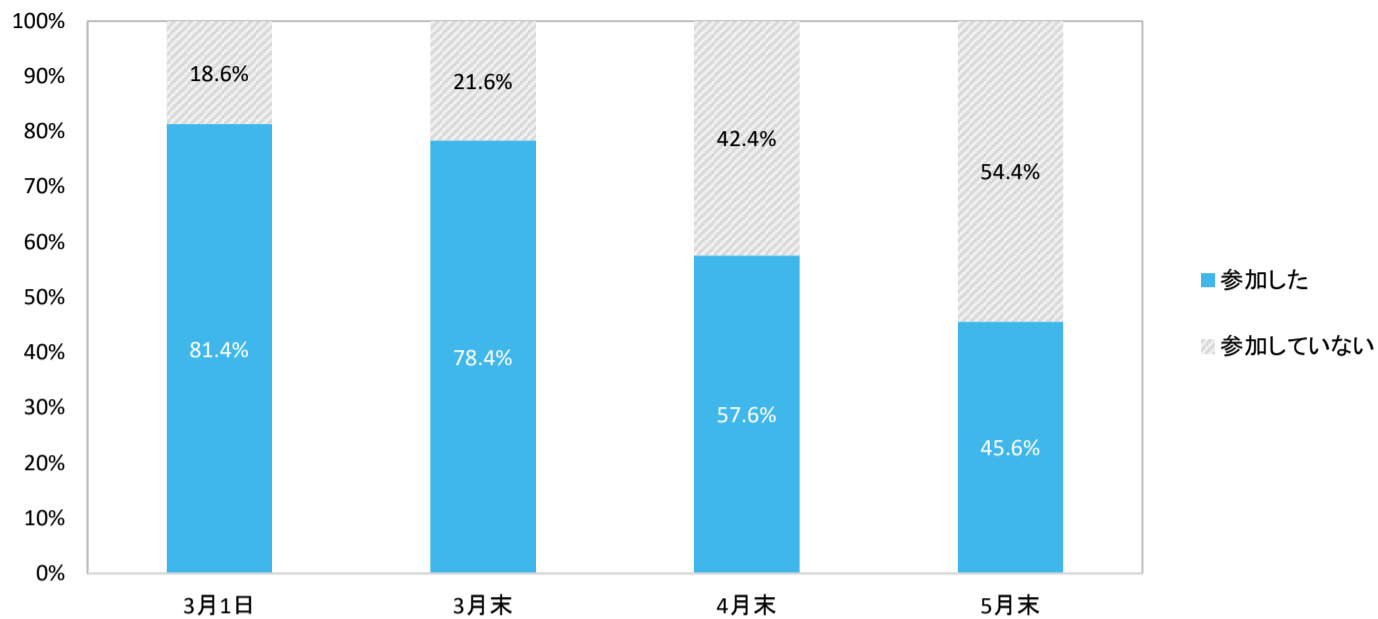
	<全体>							<23年卒>				
	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	3,477	2,026	1,451	664	1,362	744	707	2,988	552	1,213	600	623
第一志望	46.5%	42.6%	52.0%	46.4%	39.0%	53.8%	48.8%	43.5%	41.1%	37.4%	52.3%	43.2%
第二志望	23.3%	23.2%	23.4%	21.5%	24.7%	24.1%	22.3%	24.1%	25.7%	22.8%	23.2%	24.7%
第三志望	8.9%	9.6%	8.0%	8.0%	11.2%	7.1%	9.5%	11.0%	12.3%	12.8%	8.3%	10.1%
それ以外	21.3%	24.6%	16.6%	24.1%	25.1%	15.1%	19.4%	21.4%	20.8%	27.0%	16.2%	22.0%

2-(5) 入社意思の最も高い企業から得た内々定の満足度
入社意思の最も高い企業から得た内々定の満足度



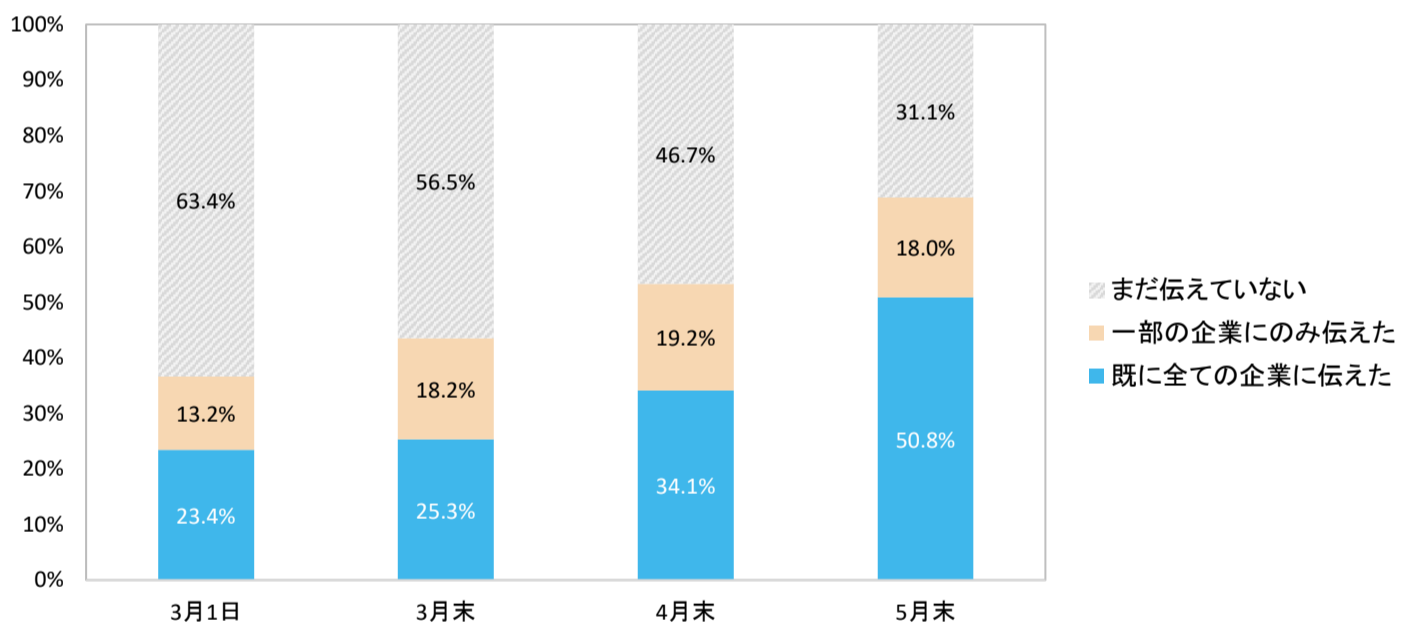
	<全体>							<23年卒>				
	全体	文系男子	文系女子	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	3,479	2,026	1,453	666	1,360	746	707	2,973	552	1,202	600	619
十分満足している	52.1%	46.3%	60.2%	48.5%	44.2%	61.8%	57.3%	51.9%	47.6%	44.5%	63.2%	52.5%
ある程度満足している	34.4%	37.8%	29.6%	36.5%	39.2%	27.9%	32.7%	34.2%	35.9%	38.7%	26.8%	36.2%
どちらともいえない	7.8%	9.0%	6.1%	8.4%	9.5%	5.5%	7.1%	8.0%	10.3%	8.3%	6.0%	6.5%
あまり満足していない	4.1%	5.0%	2.8%	4.5%	5.4%	3.1%	2.4%	4.4%	4.3%	6.6%	2.5%	3.9%
まったく満足していない	1.7%	1.9%	1.3%	2.1%	1.7%	1.7%	0.6%	1.6%	1.8%	1.9%	1.5%	1.0%

2-(6) 入社意思の最も高い企業のインターンシップに参加したことはあるか
入社意思の最も高い企業のインターンシップに参加したことはあるか



								<23年卒>				
	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	3,478	2,025	1,453	665	1,360	749	704	3,002	551	1,226	600	625
参加した	45.6%	42.1%	50.7%	42.6%	41.6%	48.7%	54.1%	48.5%	47.2%	42.7%	53.7%	52.2%
参加していない	54.4%	57.9%	49.3%	57.4%	58.4%	51.3%	45.9%	51.5%	52.8%	57.3%	46.3%	47.8%

2-(7) 入社意思の低い企業に対して、辞退の意思は伝えているか
入社意思の低い企業に対して、辞退の意思は伝えているか

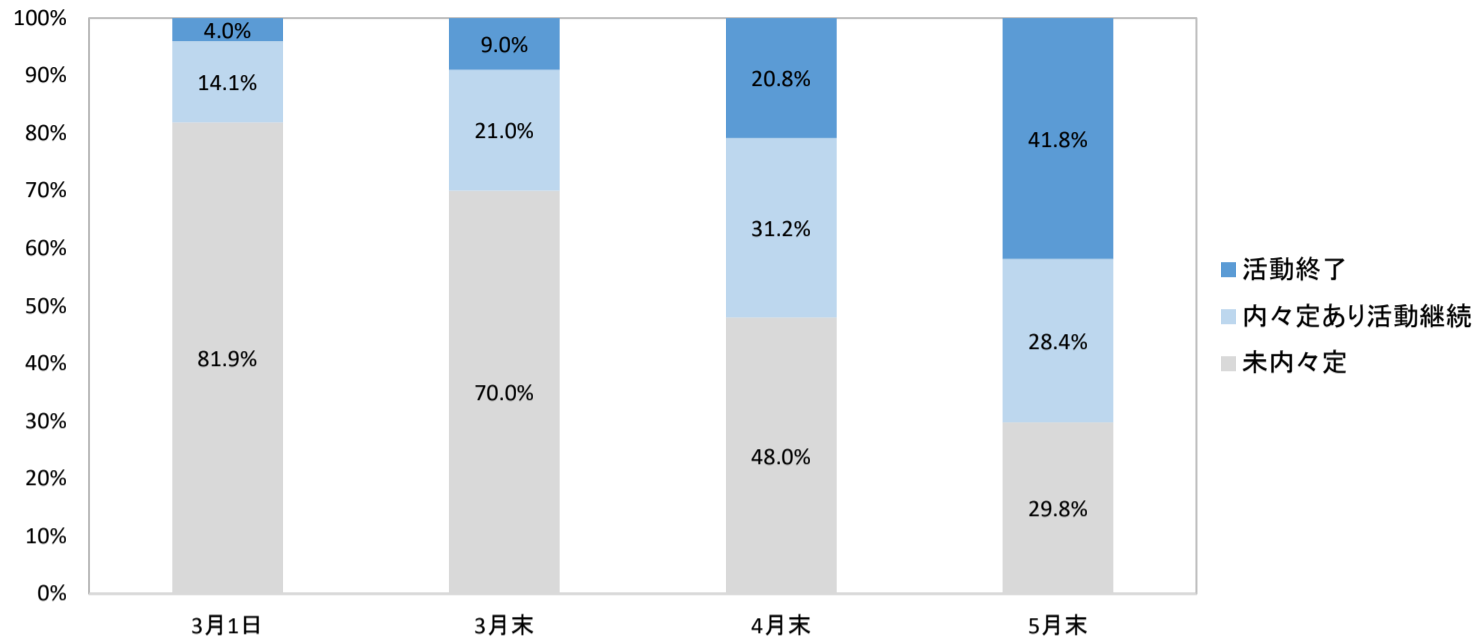


	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	3,447	2,006	1,441	664	1,342	741	700
既に全ての企業に伝えた	50.8%	43.0%	61.9%	44.4%	41.5%	64.9%	56.6%
一部の企業にのみ伝えた	18.0%	20.6%	14.4%	20.6%	20.6%	14.2%	14.9%
まだ伝えていない	31.1%	36.4%	23.7%	34.9%	37.9%	20.9%	28.6%

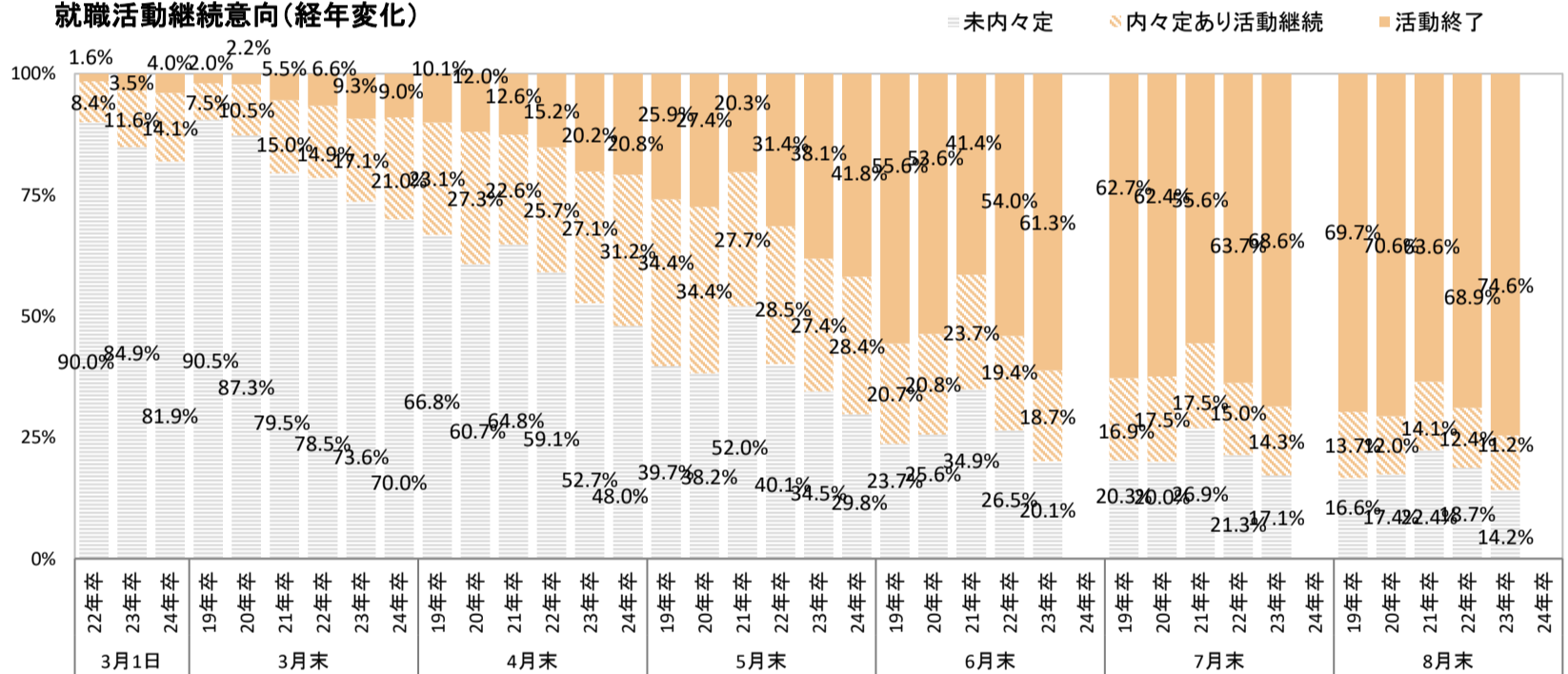
		<23年卒>			
	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	2,911	535	1,185	589	602
既に全ての企業に伝えた	47.7%	42.6%	36.2%	61.3%	53.7%
一部の企業にのみ伝えた	16.6%	18.7%	18.7%	13.2%	15.1%
まだ伝えていない	35.6%	38.7%	45.1%	25.5%	31.2%

2-(8) 就職活動継続意向

就職活動継続意向



就職活動継続意向(経年変化)



<全体>

	24年卒	23年卒	前年比
回答数	3,532	3,038	-
内々定先に満足したので終了する	57.1%	55.8%	+1.3pt
内々定先に不満だが活動は終了する	2.5%	2.4%	+0.1pt
内々定先に不満なので続行する	11.5%	11.9%	-0.4pt
内々定先に不満ではないが、他の企業も見たいので続行する	28.0%	29.2%	-1.2pt
その他	0.9%	0.7%	+0.2pt
内々定を保有しているが活動継続(その他含む)	40.4%	41.8%	-1.4pt
活動終了	59.6%	58.2%	+1.4pt
未内々定	29.8%	34.5%	-4.7pt
保有継続	28.4%	27.4%	+1.0pt
活動終了	41.8%	38.1%	+3.7pt

※保有継続率=内々定率×内々定を保有しているが活動継続(その他含む)

※活動終了率=内々定率×活動終了

<23年卒>

文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
559	1,243	608	628
48.3%	45.5%	72.0%	59.7%
3.6%	1.9%	2.1%	1.8%
14.3%	14.8%	8.2%	8.4%
33.3%	36.9%	17.1%	29.0%
0.5%	0.9%	0.5%	1.1%
48.1%	52.6%	25.8%	38.5%
51.9%	47.4%	74.1%	61.5%
38.0%	40.7%	26.0%	28.1%
29.8%	31.2%	19.1%	27.7%
32.2%	28.1%	54.8%	44.2%

<文理男女別>

	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	2,061	1,471	674	1,387	755	716
内々定先に満足したので終了する	49.5%	67.8%	51.5%	47.6%	70.5%	63.0%
内々定先に不満だが活動は終了する	2.3%	2.7%	2.7%	1.9%	2.9%	2.2%
内々定先に不満なので続行する	13.3%	9.1%	12.8%	13.8%	9.3%	8.7%
内々定先に不満ではないが、他の企業も見たいので続行する	34.1%	19.5%	32.3%	35.8%	16.4%	24.9%
その他	0.8%	1.0%	0.7%	0.9%	0.9%	1.3%
内々定を保有しているが活動継続(その他含む)	48.2%	29.6%	45.8%	50.5%	26.6%	34.9%
活動終了	51.8%	70.5%	54.2%	49.5%	73.4%	65.2%
未内々定	33.3%	24.0%	33.9%	32.7%	24.4%	23.3%
保有継続	32.1%	22.5%	30.3%	34.0%	20.1%	26.8%
活動終了	34.6%	53.6%	35.8%	33.3%	55.5%	50.0%

※保有継続率=内定率×内々定を保有しているが活動継続(その他含む)

※活動終了率=内定率×活動終了

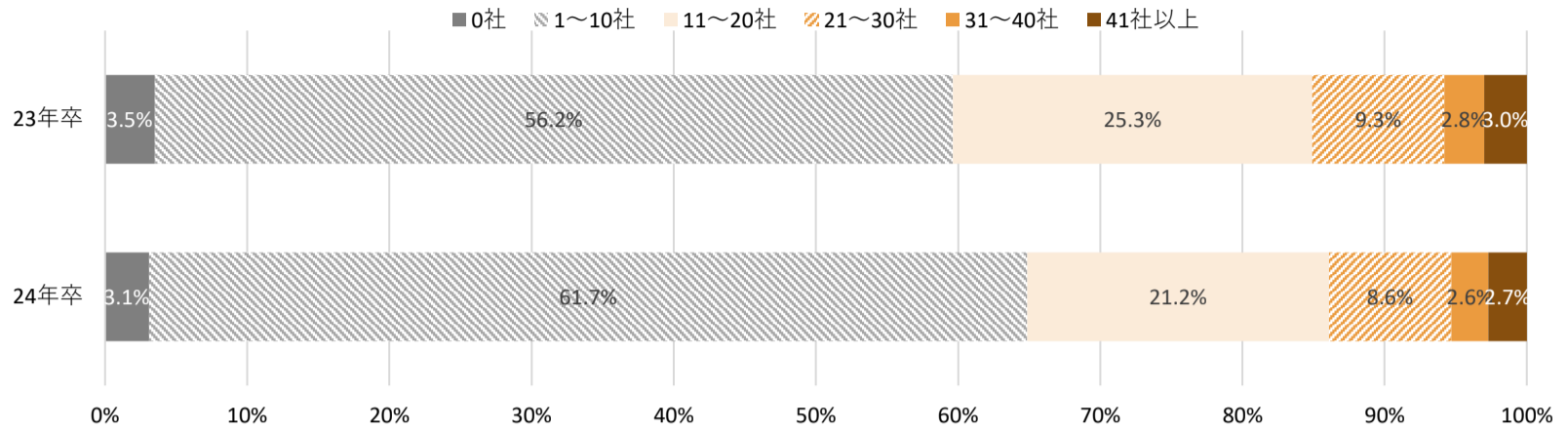
<前年比>

	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
内々定先に満足したので終了する	+3.2pt	+2.1pt	-1.5pt	+3.3pt
内々定先に不満だが活動は終了する	-0.9pt	±0.0pt	+0.8pt	+0.4pt
内々定先に不満なので続行する	-1.5pt	-1.0pt	+1.1pt	+0.3pt
内々定先に不満ではないが、他の企業も見たいので続行する	-1.0pt	-1.1pt	-0.7pt	-4.1pt
その他	+0.2pt	±0.0pt	+0.4pt	+0.2pt
内々定を保有しているが活動継続(その他含む)	-2.3pt	-2.1pt	+0.8pt	-3.6pt
活動終了	+2.3pt	+2.1pt	-0.7pt	+3.7pt
未内々定	-4.1pt	-8.0pt	-1.6pt	-4.8pt
保有継続	+0.5pt	+2.8pt	+1.0pt	-0.9pt
活動終了	+3.6pt	+5.2pt	+0.7pt	+5.8pt

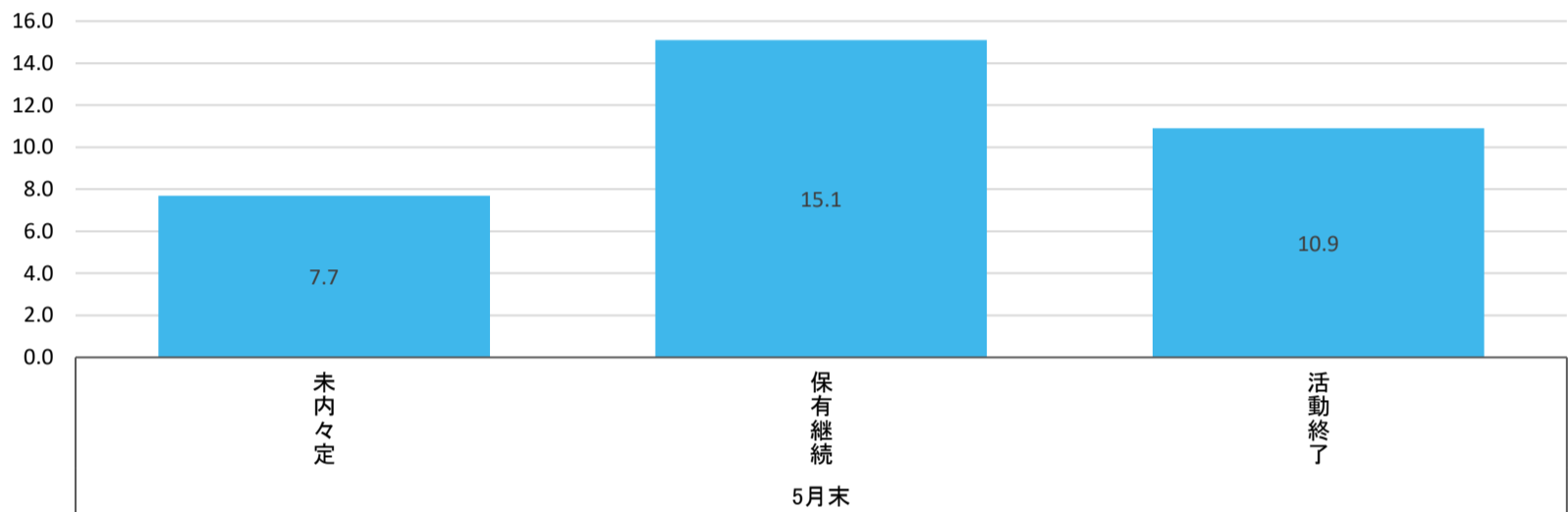
■3. 現在の活動状況

3-(1) これまでに全部で何社の選考を受けたか (※選考…ES提出・適性・筆記・面接等可否の出るものを指す)

選考受験社数分布



平均選考受験社数



※保有継続…内々定あり、かつ活動継続

<全体>	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	23年卒
回答数	5,062	3,109	1,953	1,038	2,071	1,009	944	4,719
0社(これまでに選考を受けたことはない)	3.1%	2.8%	3.7%	2.5%	3.1%	3.6%	3.9%	3.5%
1~10社	61.7%	57.5%	68.6%	59.9%	55.0%	70.5%	65.4%	56.2%
11~20社	21.2%	23.6%	17.4%	22.4%	24.8%	16.2%	19.6%	25.3%
21~30社	8.6%	10.3%	6.0%	8.8%	11.8%	5.5%	6.9%	9.3%
31~40社	2.6%	2.8%	2.2%	2.7%	2.8%	2.0%	2.6%	2.8%
41社以上	2.7%	3.1%	2.1%	3.8%	2.4%	2.4%	1.6%	3.0%
選考受験社数(平均)	11.1	12.2	9.5	11.9	12.3	9.3	9.7	12.2

<内々定保有状況別>

□未内々定

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	1,496	1,030	466	352	678	246	220
0社(これまでに選考を得たことはない)	10.4%	8.4%	15.0%	7.4%	9.4%	14.2%	16.4%
1~10社	67.6%	68.5%	65.4%	71.0%	65.9%	64.2%	67.7%
11~20社	14.8%	16.4%	11.3%	15.3%	17.6%	11.8%	10.5%
21~30社	4.5%	4.5%	4.6%	3.7%	5.3%	4.9%	4.1%
31~40社	1.3%	1.1%	1.8%	1.1%	1.0%	2.0%	1.4%
41社以上	1.3%	1.1%	1.9%	1.4%	0.7%	2.8%	-
選考受験社数(平均)	7.7	7.9	7.1	7.7	8.1	7.9	6.1

■内々定あり活動継続

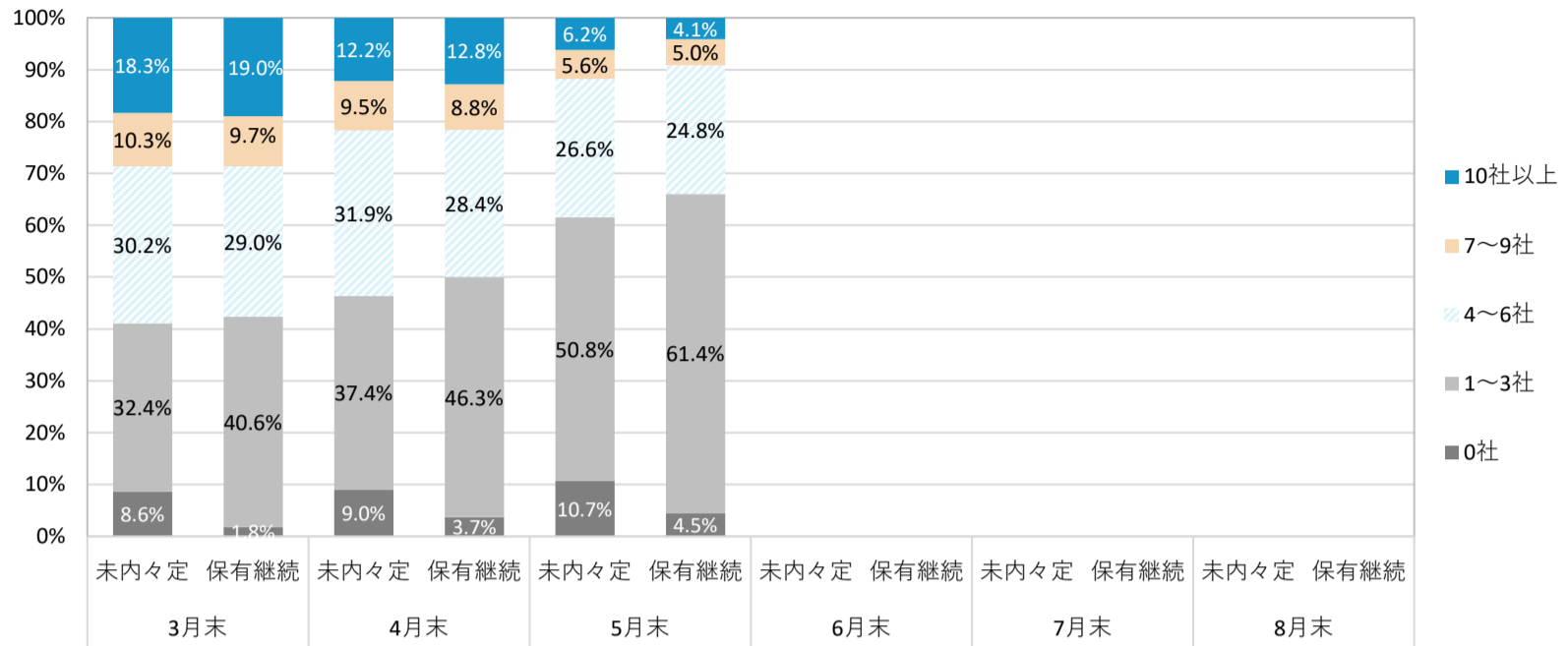
	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	1,426	992	434	304	688	194	240
0社(これまでに選考を得たことはない)	-	-	-	-	-	-	-
1~10社	46.6%	41.7%	58.1%	41.4%	41.9%	59.8%	55.8%
11~20社	31.0%	33.3%	25.6%	34.2%	32.4%	25.8%	25.4%
21~30社	13.9%	15.7%	9.7%	14.1%	17.0%	8.2%	11.7%
31~40社	4.4%	5.0%	3.0%	4.6%	5.4%	3.1%	2.9%
41社以上	4.1%	4.4%	3.5%	5.6%	3.3%	3.1%	4.2%
選考受験社数(平均)	15.1	16.1	13.0	16.2	16.0	12.6	13.2

●活動終了

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	2,073	1,052	1,021	365	687	554	467
0社(これまでに選考を得たことはない)	0.0%	-	0.1%	-	-	-	0.2%
1~10社	67.6%	61.0%	74.5%	64.4%	57.4%	77.3%	69.0%
11~20社	19.2%	21.6%	16.7%	19.2%	24.2%	14.6%	20.8%
21~30社	8.2%	11.1%	5.1%	9.3%	13.1%	4.7%	5.8%
31~40社	2.2%	2.3%	2.2%	2.5%	2.2%	1.6%	3.2%
41社以上	2.8%	4.0%	1.6%	4.7%	3.2%	1.8%	1.1%
選考受験社数(平均)	10.9	12.7	9.1	12.2	12.9	8.7	9.6

3-2) 現在、何社の選考を残しているか

現在の選考予定受験社数分布



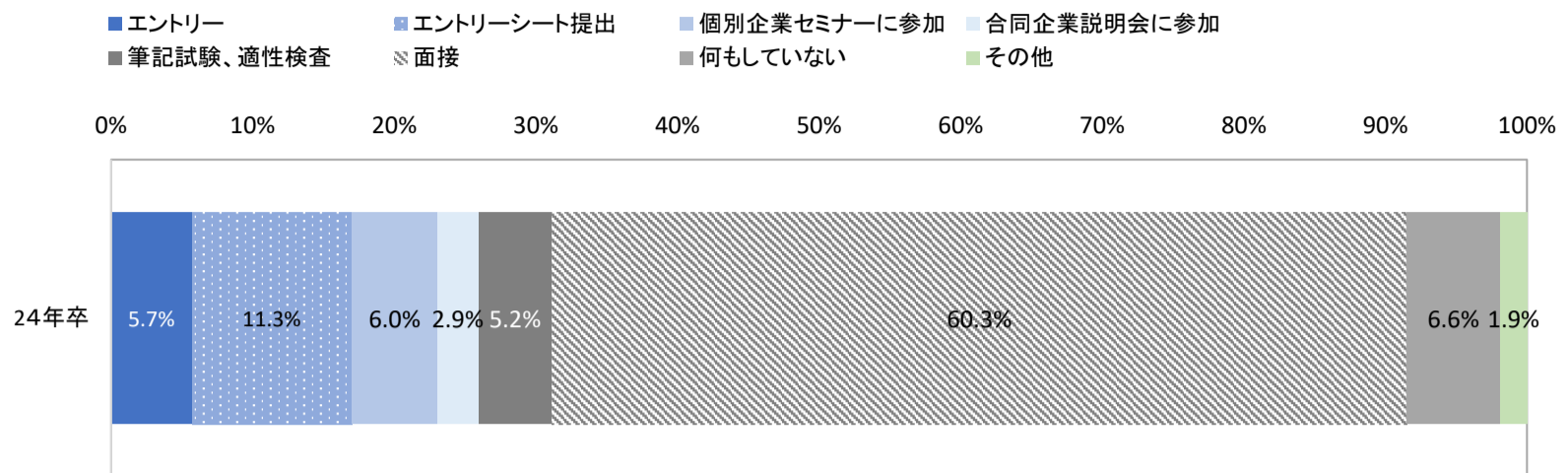
<内々定状況別>

<23年卒>

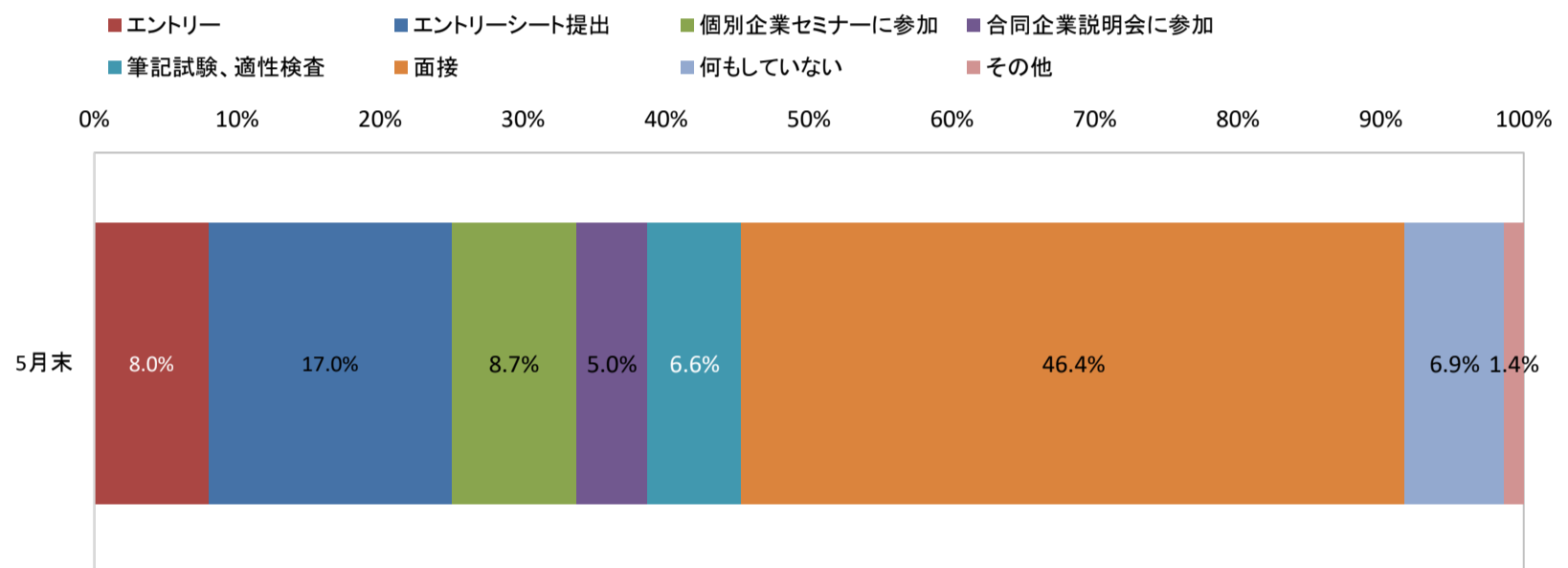
	未内々定		保有継続	
回答数	1,289	1,385	1,444	1,265
0社(選考予定の企業はない)	10.7%	4.5%	10.0%	3.7%
1社	14.2%	22.3%	13.1%	18.7%
2社	18.1%	20.6%	14.9%	21.7%
3社	18.5%	18.5%	18.2%	17.4%
4社	11.6%	9.4%	10.0%	10.5%
5社	11.5%	10.4%	14.0%	10.9%
6社	3.5%	5.0%	6.2%	4.7%
7社	3.1%	2.9%	2.7%	2.9%
8社	1.8%	1.6%	2.6%	2.3%
9社	0.7%	0.5%	0.3%	1.1%
10社以上	6.2%	4.1%	7.9%	6.0%
現在の選考予定社数(平均)※0社含む	3.5	3.2	3.9	3.5

	未内々定						内々定あり活動継続					
	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	879	410	298	581	214	196	963	422	290	673	188	234
0社(選考予定の企業はない)	9.1%	14.3%	9.4%	8.8%	13.6%	15.8%	4.3%	5.1%	3.1%	5.3%	3.2%	7.7%
1社	13.4%	15.9%	11.4%	15.5%	14.5%	18.4%	19.1%	30.0%	16.9%	21.0%	28.2%	32.5%
2社	17.8%	18.8%	15.8%	19.8%	18.2%	19.9%	20.1%	21.9%	20.3%	19.9%	24.5%	18.4%
3社	17.7%	20.4%	18.5%	16.9%	22.9%	15.8%	18.7%	18.1%	19.0%	18.4%	17.0%	19.7%
4社	12.2%	10.4%	11.7%	12.7%	10.7%	9.7%	9.2%	10.0%	8.6%	9.7%	9.6%	10.7%
5社	13.4%	7.3%	16.8%	10.0%	4.7%	12.2%	12.6%	5.2%	14.8%	10.7%	5.9%	4.3%
6社	3.7%	2.8%	3.0%	4.5%	3.3%	2.0%	6.1%	2.3%	6.9%	5.5%	2.1%	2.6%
7社	3.3%	2.8%	3.0%	3.6%	3.7%	1.0%	3.2%	2.3%	2.8%	3.6%	2.7%	1.7%
8社	2.0%	1.4%	2.0%	1.9%	1.9%	0.5%	1.9%	0.8%	2.8%	1.2%	1.1%	0.4%
9社	0.6%	0.9%	0.7%	0.5%	1.4%	-	0.6%	0.5%	0.3%	0.7%	0.5%	0.4%
10社以上	6.8%	4.9%	7.7%	5.9%	5.1%	4.6%	4.2%	3.8%	4.5%	4.0%	5.3%	1.7%
現在の選考予定社数(平均)※0社含む	3.6	3.1	4.0	3.5	3.3	2.8	3.4	2.7	3.6	3.3	3.1	2.4

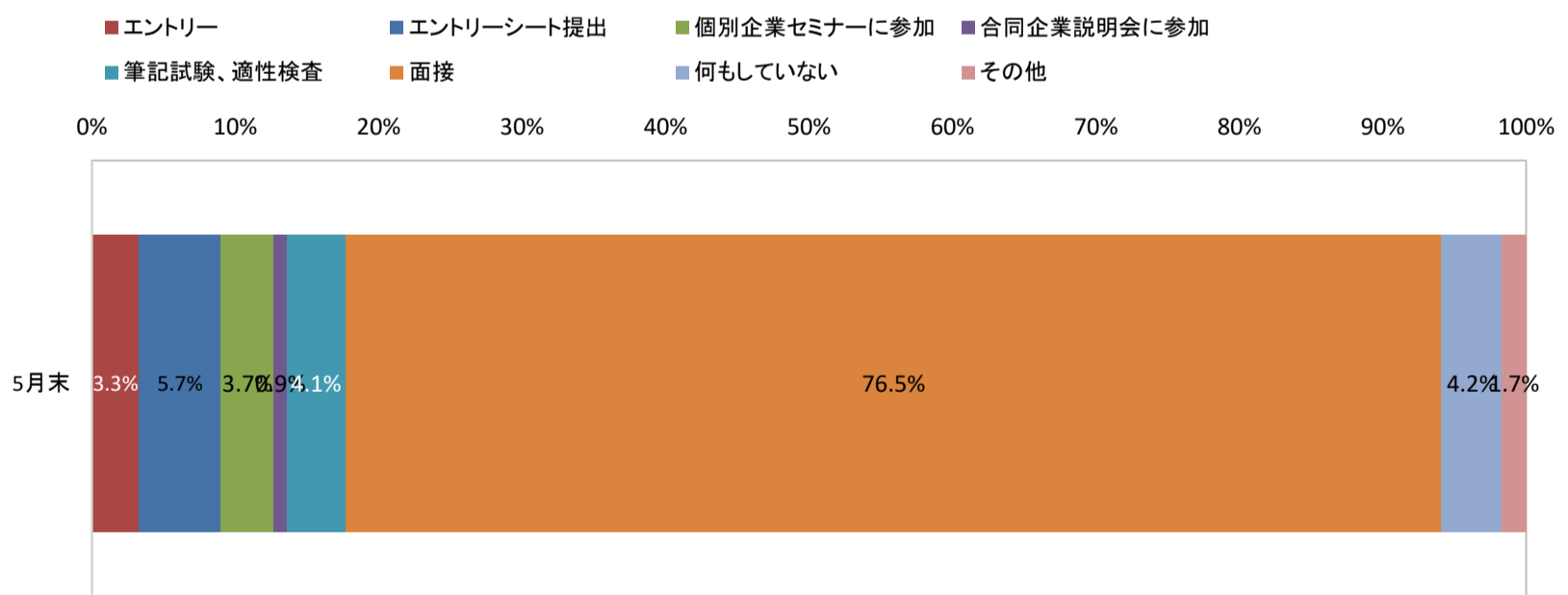
3-(3) 現在、就職活動で最も注力していること
現在就職活動で最も注力していること



【未内々定】現在就職活動で最も注力していること



【内々定あり活動継続】現在就職活動で最も注力していること



<全体>

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子		23年卒	前年比
回答数	3,128	2,163	965	722	1,441	476	489		3,180	-
エントリー(プレエントリー含む)	5.7%	5.5%	6.2%	6.4%	4.6%	7.6%	3.9%		5.0%	0.7%
エントリーシート提出	11.3%	11.5%	10.9%	12.5%	10.5%	11.8%	9.6%		11.5%	-0.2%
個別企業セミナーに参加	6.0%	6.7%	4.3%	5.7%	7.8%	4.0%	4.9%		4.7%	1.3%
合同企業説明会に参加	2.9%	2.6%	3.5%	2.6%	2.6%	4.8%	1.4%		3.2%	-0.3%
筆記試験、適性検査	5.2%	5.3%	4.8%	5.0%	5.7%	4.0%	6.1%		5.0%	0.2%
面接	60.3%	60.8%	59.4%	60.5%	61.0%	57.8%	62.0%		61.8%	-1.5%
なにもしていない	6.6%	5.7%	8.8%	5.5%	5.8%	8.6%	9.2%		6.4%	0.2%
その他	1.9%	1.9%	2.0%	1.8%	1.9%	1.5%	2.9%		2.3%	-0.4%
面接より前の段階	31.1%	31.6%	29.7%	32.2%	31.2%	32.2%	25.9%		29.4%	1.7%

<内々定保有状況別>

<23年卒>

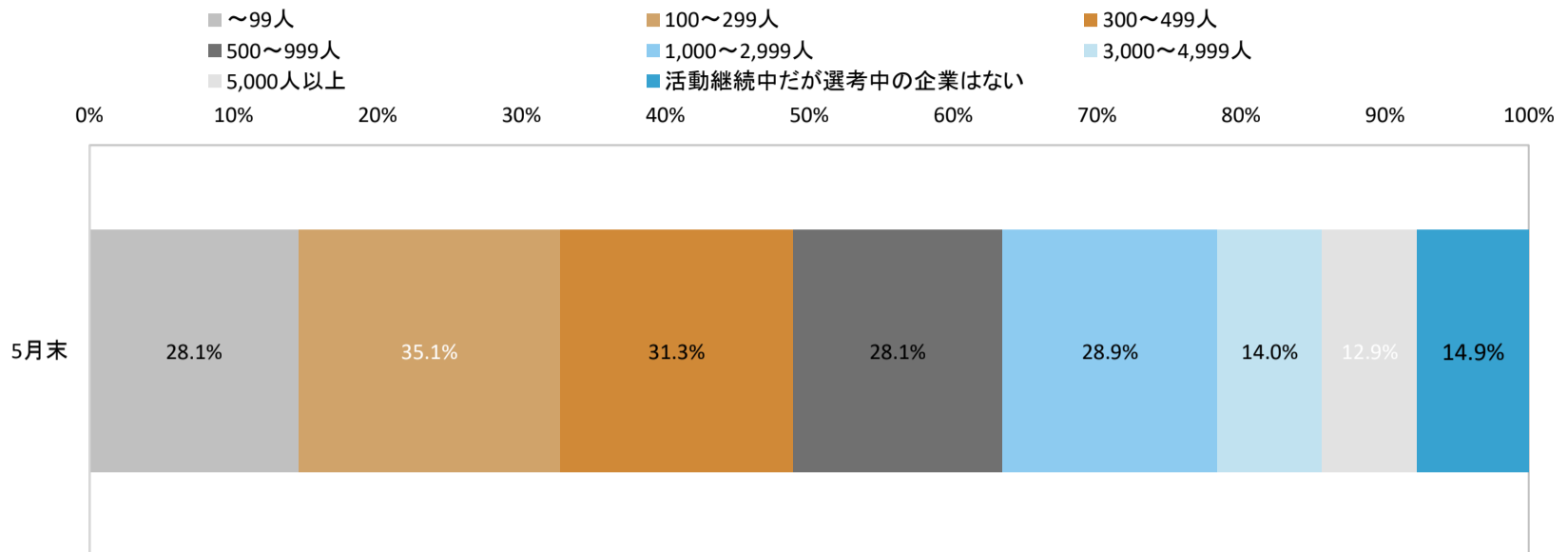
	未内々定	保有継続		未内々定	保有継続
回答数	1,468	1,397		1,644	1,271
エントリー(プレエントリー含む)	8.0%	3.3%		7.7%	1.9%
エントリーシート提出	17.0%	5.7%		16.9%	5.7%
個別企業セミナーに参加	8.7%	3.7%		6.7%	2.9%
合同企業説明会に参加	5.0%	0.9%		5.0%	0.8%
筆記試験、適性検査	6.6%	4.1%		6.6%	3.5%
面接	46.4%	76.5%		48.9%	80.4%
なにもしていない	6.9%	4.2%		6.1%	3.5%
その他	1.4%	1.7%		2.1%	1.3%
面接より前の段階	45.3%	17.7%		42.9%	14.8%

	未内々定						内定あり・活動継続					
	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	1,022	446	349	673	234	212	975	422	301	674	188	234
エントリー(プレエントリー含む)	8.0%	8.0%	8.6%	7.4%	10.3%	3.8%	3.1%	3.8%	4.0%	2.2%	3.7%	3.8%
エントリーシート提出	17.4%	15.9%	18.6%	16.2%	15.8%	16.0%	5.4%	6.3%	6.0%	4.9%	7.4%	4.7%
個別企業セミナーに参加	9.8%	6.3%	8.3%	11.3%	5.1%	8.5%	4.2%	2.7%	3.3%	4.9%	3.2%	2.1%
合同企業説明会に参加	4.7%	5.8%	4.6%	4.8%	7.7%	2.4%	0.8%	1.3%	0.7%	0.9%	1.6%	0.9%
筆記試験、適性検査	6.8%	6.0%	6.6%	7.0%	4.7%	8.5%	4.2%	4.0%	3.7%	4.6%	3.7%	4.3%
面接	46.3%	46.5%	46.7%	45.9%	46.2%	47.2%	76.8%	75.6%	77.4%	76.3%	75.0%	76.5%
なにもしていない	5.5%	10.4%	5.4%	5.5%	9.8%	11.3%	4.3%	3.9%	3.7%	4.9%	2.7%	5.6%
その他	1.5%	1.1%	1.1%	1.9%	0.4%	2.4%	1.3%	2.4%	1.3%	1.3%	2.7%	2.1%
面接より前の段階	46.7%	42.0%	46.7%	46.7%	43.6%	39.2%	17.7%	18.1%	17.7%	17.5%	19.6%	15.8%

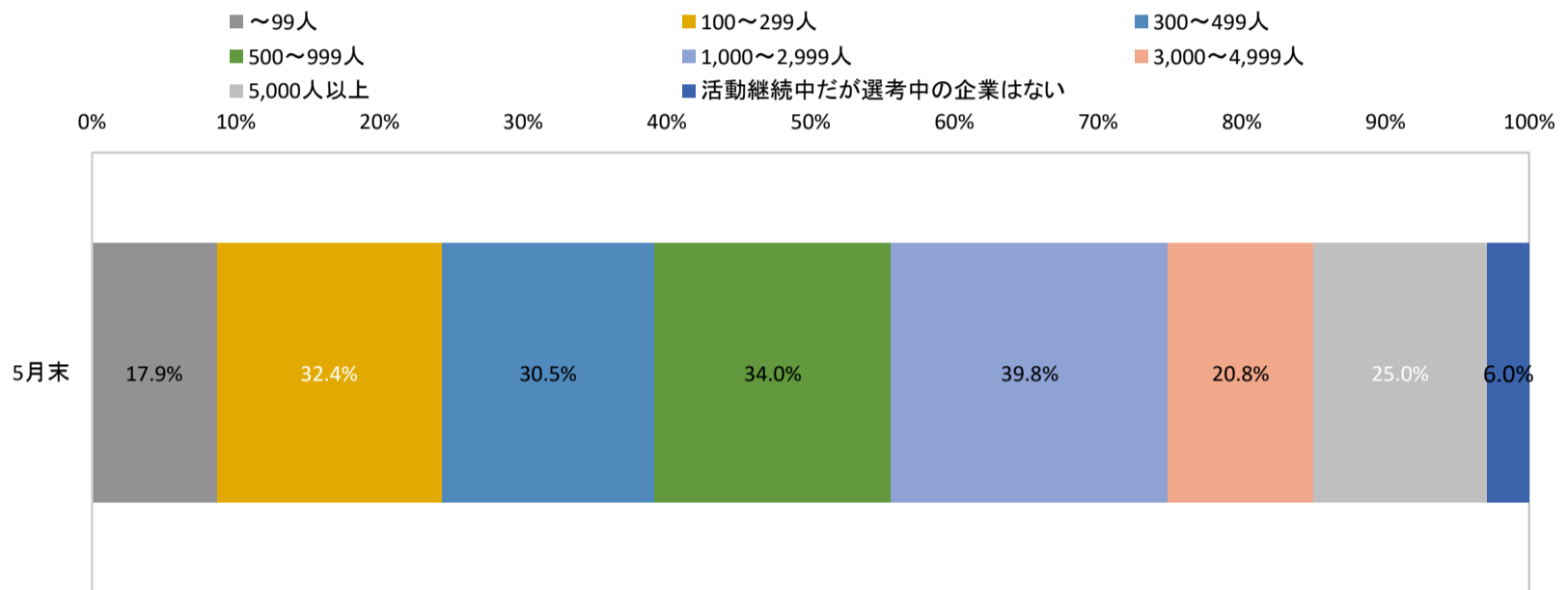
<23年卒>

	未内々定				内々定あり活動継続			
	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	343	852	207	242	259	631	151	230
エントリー	7.9%	7.6%	8.2%	6.6%	2.3%	1.3%	2.6%	1.3%
エントリーシート提出	17.8%	16.5%	17.9%	13.6%	5.8%	5.2%	6.6%	5.2%
個別企業セミナーに参加	6.1%	8.2%	5.8%	5.0%	3.9%	3.2%	0.7%	2.6%
合同企業説明会に参加	7.0%	3.4%	3.9%	5.8%	1.2%	0.5%	1.3%	0.4%
筆記試験、適性検査	8.2%	6.9%	2.9%	7.0%	2.3%	3.8%	2.6%	7.0%
面接	44.3%	50.5%	52.2%	52.5%	81.5%	80.7%	81.5%	76.1%
なにもしていない	6.4%	4.9%	6.8%	7.9%	1.9%	3.6%	4.0%	6.1%
その他	2.3%	1.9%	2.4%	1.7%	1.2%	1.7%	0.7%	1.3%
面接より前の段階	47.0%	42.6%	38.7%	38.0%	15.5%	14.0%	13.8%	16.5%

【未内々定】現在、選考を受けている企業群のおおよその従業員規模



【内々定あり活動継続】現在、選考を受けている企業群のおおよその従業員規模



<全体>	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	3,350	2,277	1,073	778	1,499	536	537
～99人	22.2%	24.0%	18.0%	24.0%	24.0%	19.4%	15.8%
100～299人	32.9%	35.4%	27.4%	35.1%	35.8%	27.6%	27.0%
300～499人	30.1%	31.3%	27.3%	30.8%	31.8%	27.4%	27.2%
500～999人	29.9%	30.3%	28.9%	31.0%	29.6%	28.2%	30.2%
1,000～2,999人	32.7%	32.7%	32.8%	34.4%	31.0%	32.6%	33.0%
3,000～4,999人	16.1%	15.6%	17.3%	16.8%	14.2%	18.1%	16.0%
5,000人以上	18.9%	17.3%	22.4%	18.8%	15.7%	24.1%	19.6%
活動継続中だが選考中の企業はない	9.9%	9.3%	11.0%	9.0%	9.7%	10.6%	11.7%

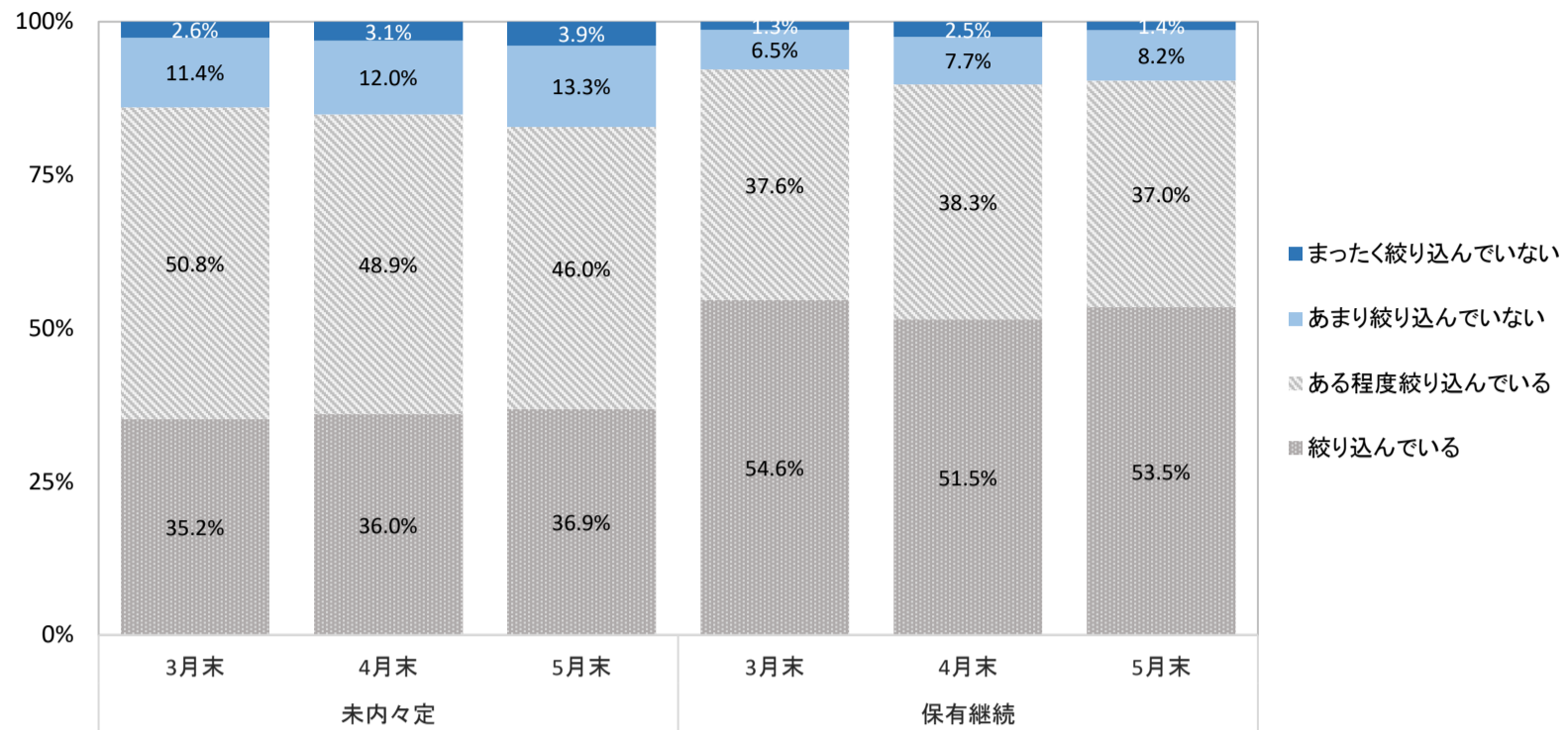
2024年卒 マイナビ大学生 活動実態調査(5月末) <データ編>

<内々定保有状況別>

	未内々定	保有継続
回答数	1,466	1,409
～99人	28.1%	17.9%
100～299人	35.1%	32.4%
300～499人	31.3%	30.5%
500～999人	28.1%	34.0%
1,000～2,999人	28.9%	39.8%
3,000～4,999人	14.0%	20.8%
5,000人以上	12.9%	25.0%
活動継続中だが選考中の企業はない	14.9%	6.0%

	未内々定						内定あり・活動継続					
	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	1,020	446	348	672	232	214	981	428	301	680	190	238
～99人	29.2%	25.6%	31.6%	26.6%	27.2%	22.9%	19.8%	13.6%	17.3%	21.9%	15.2%	11.3%
100～299人	37.4%	30.0%	37.1%	37.6%	31.0%	28.0%	34.8%	26.9%	34.6%	35.0%	26.3%	27.7%
300～499人	32.9%	27.5%	33.9%	31.8%	29.3%	24.3%	31.5%	28.2%	29.6%	33.2%	26.3%	30.7%
500～999人	28.0%	28.3%	30.7%	25.1%	29.7%	25.7%	34.9%	31.8%	35.2%	34.6%	31.1%	32.8%
1,000～2,999人	27.7%	31.7%	29.6%	25.7%	33.2%	29.0%	40.4%	38.5%	43.2%	37.9%	38.4%	38.7%
3,000～4,999人	12.4%	17.7%	14.4%	10.4%	20.7%	12.1%	21.5%	18.9%	24.6%	18.8%	18.9%	18.9%
5,000人以上	11.1%	16.9%	11.8%	10.4%	17.2%	16.4%	24.3%	26.5%	28.9%	20.3%	30.0%	21.8%
活動継続中だが選考中の企業はない	13.7%	17.8%	12.6%	14.7%	17.2%	18.7%	5.8%	6.5%	6.0%	5.6%	6.3%	6.7%

3-(5) 現時点で希望する業種を絞り込んでいるか
現時点で希望する業種を絞り込んでいるか



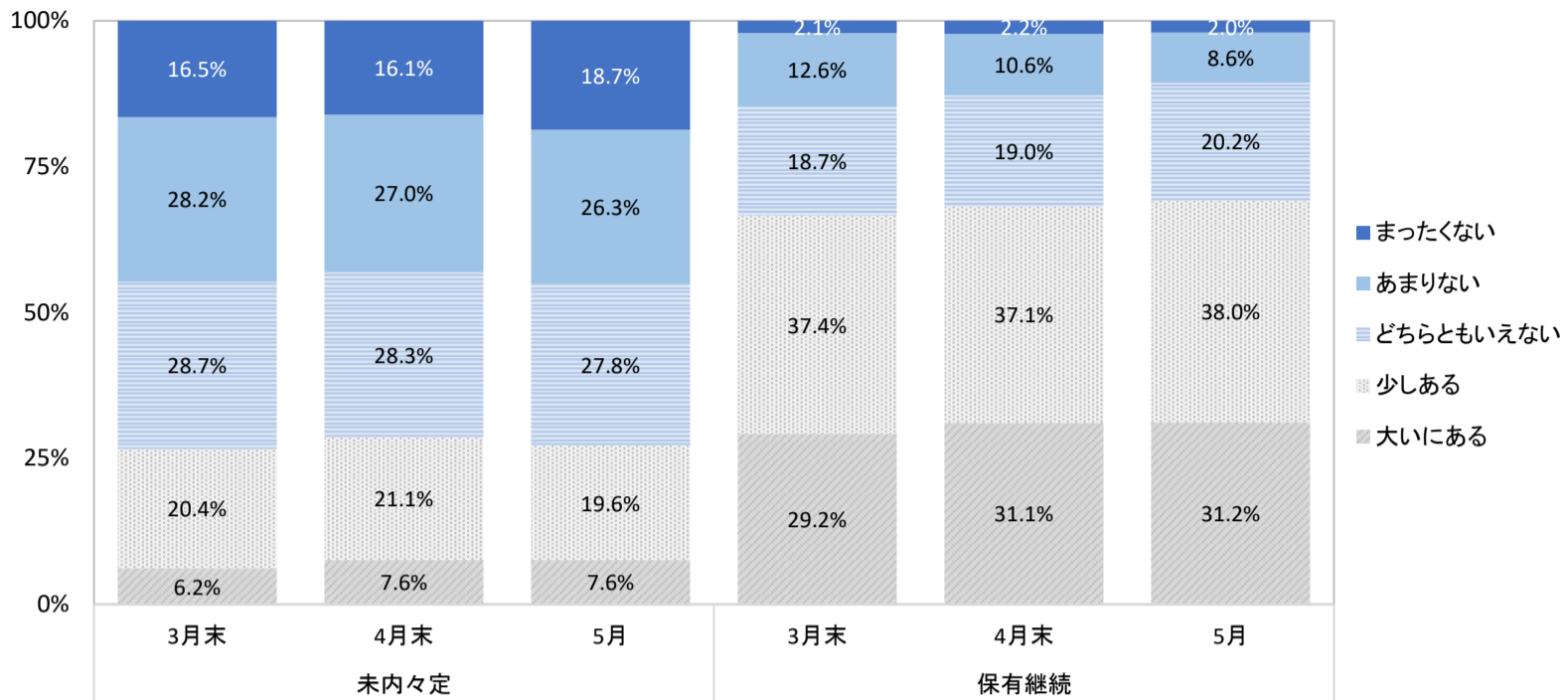
<内々定保有状況別>

<23年卒>

	未内々定	保有継続	未内々定	保有継続
回答数	1,466	1,412	1,640	1,285
絞り込んでいる	36.9%	53.5%	37.3%	55.0%
ある程度絞り込んでいる	46.0%	37.0%	46.9%	36.7%
あまり絞り込んでいない	13.3%	8.2%	12.3%	7.5%
まったく絞り込んでいない	3.9%	1.4%	3.5%	0.7%

	未内々定						内定あり・活動継続					
	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	1,018	448	347	671	235	213	983	429	302	681	190	239
絞り込んでいる	33.7%	44.2%	35.2%	32.2%	43.4%	45.5%	49.0%	64.0%	57.3%	41.7%	63.7%	64.4%
ある程度絞り込んでいる	47.2%	43.1%	45.8%	48.7%	44.3%	40.8%	39.7%	30.6%	34.8%	44.1%	30.0%	31.4%
あまり絞り込んでいない	14.7%	10.0%	16.1%	13.3%	9.8%	10.3%	9.8%	4.3%	7.0%	12.3%	4.7%	3.8%
まったく絞り込んでいない	4.3%	2.8%	2.9%	5.8%	2.6%	3.3%	1.5%	1.1%	1.0%	1.9%	1.6%	0.4%

3-(6) 現在、就職活動で内々定を得る自信があるか
現在、就職活動で内々定を得る自信があるか



<内々定保有状況別>

<23年卒>

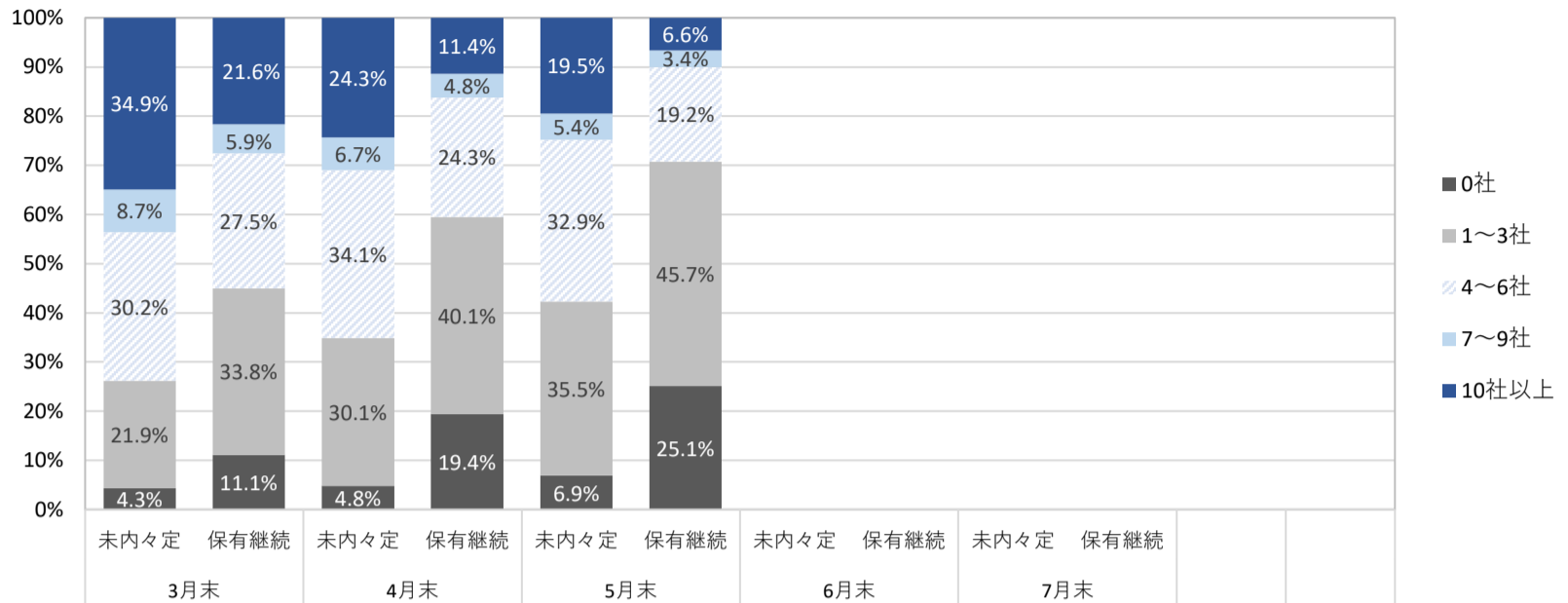
	未内々定		保有継続	
回答数	1,496	1,426	1,664	1,298
大いにある	7.6%	31.2%	7.7%	32.4%
少しある	19.6%	38.0%	20.3%	33.8%
どちらともいえない	27.8%	20.2%	24.7%	20.1%
あまりない	26.3%	8.6%	25.1%	11.2%
まったくない	18.7%	2.0%	22.1%	2.4%

	未内々定						内定あり・活動継続					
	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	1,030	466	352	678	246	220	992	434	304	688	194	240
大いにある	7.5%	7.9%	10.2%	4.7%	10.2%	3.6%	31.3%	30.9%	39.1%	24.4%	30.9%	30.8%
少しある	20.5%	17.6%	19.6%	21.4%	17.1%	18.6%	37.8%	38.5%	35.2%	40.1%	39.2%	37.5%
どちらともいえない	25.8%	32.3%	26.1%	25.5%	32.5%	31.8%	20.5%	19.3%	18.1%	22.7%	18.6%	20.4%
あまりない	27.8%	22.9%	26.1%	29.5%	20.3%	27.7%	8.3%	9.2%	5.3%	11.0%	9.3%	9.2%
まったくない	18.4%	19.3%	17.9%	18.9%	19.9%	18.2%	2.0%	2.1%	2.3%	1.7%	2.1%	2.1%

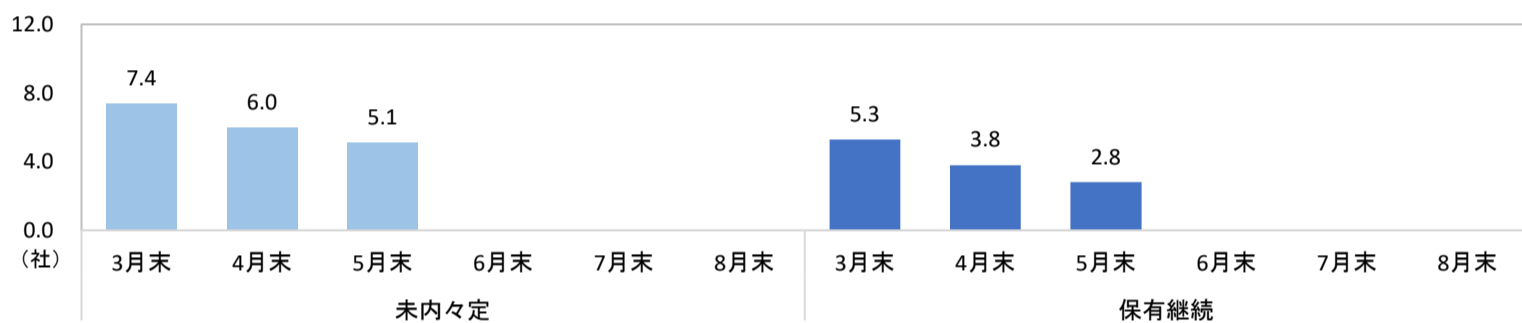
■4. 今後の活動予定

4-(1) 今後、何社ぐらい選考を受けようと考えているか

選考受験予定社数分布



選考受験予定社数(平均)



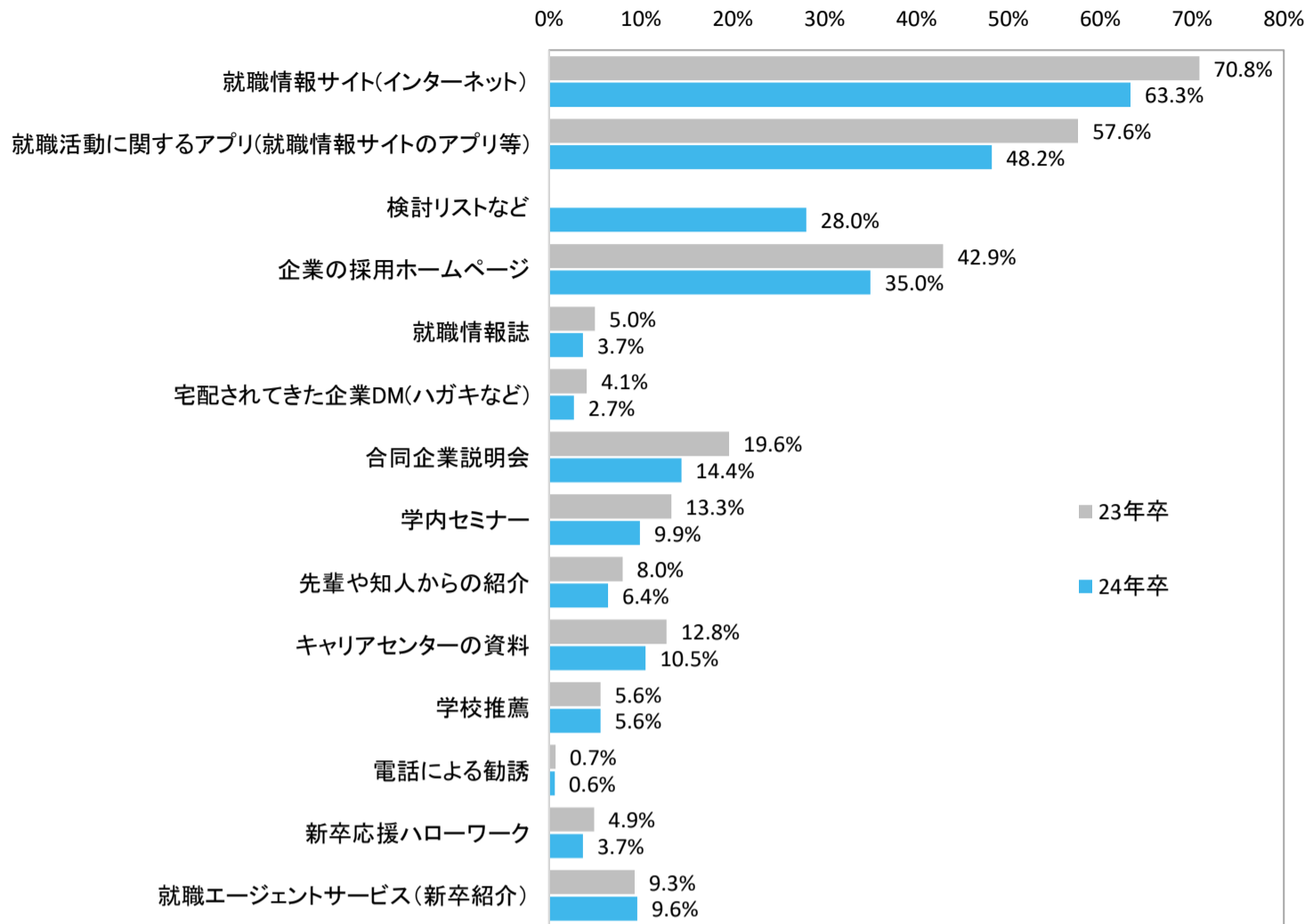
<内々定保有状況別>

<23年卒>

回答数	未内々定		保有継続		未内々定		保有継続	
	割合	社数	割合	社数	割合	社数	割合	社数
0社	6.9%	1,302	25.1%	1,366	5.9%	1,457	20.9%	1,248
1社	6.8%	1,302	15.5%	1,366	6.7%	1,457	14.4%	1,248
2社	11.2%	1,302	15.7%	1,366	11.0%	1,457	17.1%	1,248
3社	17.5%	1,302	14.5%	1,366	16.3%	1,457	14.4%	1,248
4社	6.9%	1,302	6.2%	1,366	7.0%	1,457	6.9%	1,248
5社	21.8%	1,302	9.5%	1,366	22.6%	1,457	12.3%	1,248
6社	4.2%	1,302	3.5%	1,366	4.7%	1,457	2.4%	1,248
7社	2.1%	1,302	1.6%	1,366	2.4%	1,457	2.3%	1,248
8社	2.3%	1,302	1.2%	1,366	3.4%	1,457	2.0%	1,248
9社	1.0%	1,302	0.6%	1,366	0.6%	1,457	0.4%	1,248
10社以上	19.5%	1,302	6.6%	1,366	19.5%	1,457	6.8%	1,248
選考受験予定社数(平均) ※0社含む	5.1	1,302	2.8	1,366	5.3	1,457	3.0	1,248

回答数	未内々定						内定あり・活動継続					
	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
0社	4.8%	11.5%	2.7%	6.9%	12.1%	10.3%	23.9%	28.0%	26.0%	22.1%	23.8%	33.8%
1社	6.0%	8.6%	5.4%	6.7%	7.9%	9.7%	13.2%	20.7%	11.8%	14.5%	20.0%	21.6%
2社	10.7%	12.1%	11.4%	10.1%	7.5%	20.5%	15.0%	17.4%	12.8%	16.9%	20.0%	13.9%
3社	16.6%	19.4%	17.4%	15.8%	22.9%	12.8%	15.3%	12.8%	14.5%	15.9%	13.0%	12.6%
4社	6.9%	6.8%	5.0%	8.7%	6.1%	8.2%	6.6%	5.2%	6.2%	7.0%	4.9%	5.6%
5社	23.7%	17.5%	21.8%	25.5%	17.3%	17.9%	10.8%	6.6%	11.4%	10.3%	7.6%	5.2%
6社	4.2%	4.3%	4.0%	4.4%	4.7%	3.6%	4.3%	1.5%	5.5%	3.2%	1.1%	2.2%
7社	2.5%	1.1%	2.3%	2.7%	1.4%	0.5%	1.7%	1.2%	1.4%	2.0%	2.2%	-
8社	2.7%	1.4%	3.4%	2.0%	1.4%	1.5%	1.1%	1.5%	0.7%	1.5%	1.6%	1.3%
9社	1.3%	0.3%	2.0%	0.5%	0.5%	-	0.8%	0.2%	1.0%	0.6%	-	0.4%
10社以上	20.6%	17.0%	24.5%	16.6%	18.2%	14.9%	7.3%	4.9%	8.7%	6.1%	5.9%	3.5%
選考受験予定社数(平均) ※0社含む	5.4	4.5	6.2	5.0	4.7	4.3	3.1	2.3	3.3	3.0	2.6	2.0

今後どのような方法で選考に参加する企業を見つけるか(複数回答)



<全体>

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	23年卒	前年比
回答数	2,593	1,790	803	605	1,185	408	395	2,711	-
就職情報サイト(インターネット)	63.3%	61.8%	66.8%	65.3%	58.1%	72.8%	56.5%	70.8%	-7.5%
就職活動に関するアプリ(就職情報サイトのアプリ等)	48.2%	50.1%	43.9%	46.6%	53.6%	44.6%	42.8%	57.6%	-9.4%
検討リストなど	28.0%	28.3%	27.3%	26.1%	30.5%	26.7%	28.4%	-	-
企業の採用ホームページ	35.0%	33.3%	38.9%	32.1%	34.5%	37.7%	41.0%	42.9%	-7.9%
就職情報誌	3.7%	3.5%	4.1%	3.6%	3.4%	4.9%	2.8%	5.0%	-1.3%
宅配されてきた企業DM(ハガキなど)	2.7%	2.8%	2.6%	3.0%	2.6%	3.4%	1.3%	4.1%	-1.4%
合同企業説明会	14.4%	15.2%	12.7%	15.0%	15.3%	14.5%	9.6%	19.6%	-5.2%
学内セミナー	9.9%	9.3%	11.3%	7.8%	10.8%	12.5%	9.1%	13.3%	-3.4%
先輩や知人からの紹介	6.4%	5.4%	8.7%	5.8%	5.1%	8.8%	8.6%	8.0%	-1.6%
キャリアセンターの資料	10.5%	11.7%	7.7%	9.3%	14.2%	6.6%	9.6%	12.8%	-2.3%
学校推薦	5.6%	4.9%	7.2%	4.3%	5.5%	7.6%	6.6%	5.6%	0.0%
電話による勧誘	0.6%	0.5%	0.9%	0.5%	0.4%	1.2%	0.3%	0.7%	-0.1%
新卒応援ハローワーク	3.7%	4.2%	2.5%	3.6%	4.7%	2.2%	3.0%	4.9%	-1.2%
就職エージェントサービス(新卒紹介)	9.6%	9.6%	9.5%	8.6%	10.7%	10.3%	8.1%	9.3%	0.3%

※「就職情報サイト(インターネット)」「就職活動に関するアプリ(就職情報サイトのアプリ等)」:新たに企業を検索して見つける

※「検討リストなど」:就職情報サイトやインターンシップ情報サイト等ですでにチェックしていた企業から見つける(今年から追加した選択肢)

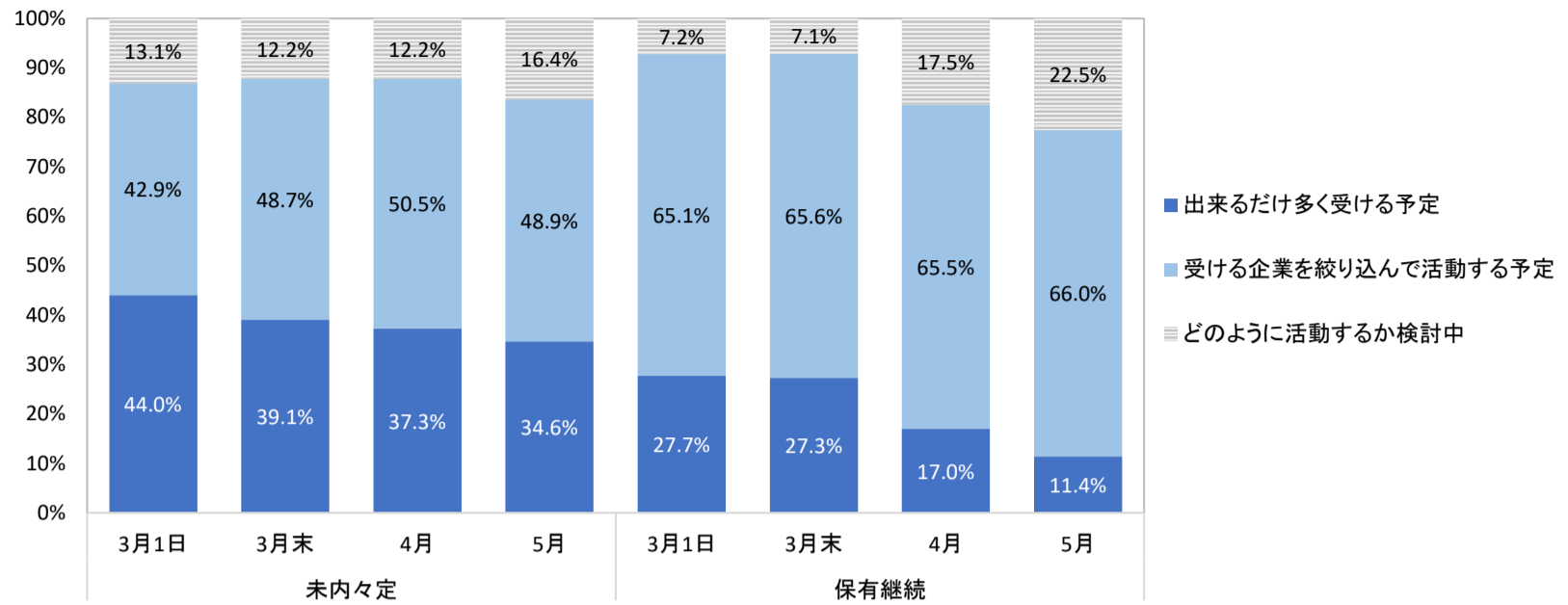
<内々定保有状況別>

<23年卒>

	未内々定	保有継続		未内々定	保有継続
回答数	1,287	1,142		1,446	1,097
就職情報サイト(インターネット)	68.6%	57.6%		73.2%	68.8%
就職活動に関するアプリ(就職情報サイトのアプリ等)	52.7%	45.7%		59.8%	57.3%
検討リストなど	30.2%	26.4%		-	-
企業の採用ホームページ	36.5%	35.9%		45.6%	41.3%
就職情報誌	4.2%	2.9%		5.4%	4.0%
宅配されてきた企業DM(ハガキなど)	3.3%	2.4%		4.8%	2.6%
合同企業説明会	19.0%	10.1%		23.9%	14.2%
学内セミナー	13.9%	5.6%		16.3%	8.5%
先輩や知人からの紹介	7.9%	4.7%		9.1%	6.7%
キャリアセンターの資料	14.1%	6.9%		16.5%	8.6%
学校推薦	8.2%	3.0%		7.3%	3.1%
電話による勧誘	0.5%	0.7%		0.7%	0.4%
新卒応援ハローワーク	5.5%	2.1%		6.9%	2.5%
就職エージェントサービス(新卒紹介)	12.0%	7.7%		12.0%	6.3%

	未内々定						内定あり・活動継続					
	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	886	401	301	585	208	193	803	339	249	554	160	179
就職情報サイト(インターネット)	68.2%	69.5%	72.4%	63.8%	75.0%	59.6%	55.0%	63.7%	59.0%	51.4%	70.0%	54.2%
就職活動に関するアプリ(就職情報サイトのアプリ等)	54.3%	49.2%	51.8%	56.9%	50.0%	47.7%	47.8%	40.7%	43.8%	51.4%	42.5%	38.0%
検討リストなど	30.0%	30.7%	27.6%	32.5%	30.8%	30.6%	27.1%	24.8%	24.9%	29.1%	23.1%	27.4%
企業の採用ホームページ	35.7%	38.1%	34.2%	37.3%	36.5%	40.9%	32.8%	43.5%	32.9%	32.7%	43.8%	43.0%
就職情報誌	3.8%	5.1%	4.3%	3.2%	5.3%	4.7%	3.1%	2.5%	2.4%	3.8%	3.8%	0.6%
宅配されてきた企業DM(ハガキなど)	3.4%	3.2%	3.3%	3.4%	3.8%	2.1%	2.6%	2.1%	3.2%	2.0%	3.1%	0.6%
合同企業説明会	20.1%	16.4%	19.6%	20.7%	18.3%	13.0%	10.6%	8.6%	11.2%	10.1%	10.6%	5.6%
学内セミナー	13.3%	15.3%	12.0%	14.7%	16.8%	12.4%	5.0%	6.9%	2.8%	7.0%	8.1%	5.0%
先輩や知人からの紹介	6.5%	11.2%	6.6%	6.3%	9.6%	14.0%	4.0%	6.4%	4.4%	3.6%	8.8%	2.8%
キャリアセンターの資料	15.3%	11.3%	12.6%	18.1%	10.1%	13.5%	8.1%	4.2%	5.2%	10.6%	2.5%	6.7%
学校推薦	7.6%	9.5%	7.6%	7.5%	9.6%	9.3%	2.2%	5.1%	0.8%	3.4%	6.3%	3.4%
電話による勧誘	0.3%	0.8%	0.3%	0.3%	1.0%	0.5%	0.7%	0.8%	0.8%	0.5%	1.3%	-
新卒応援ハローワーク	6.1%	3.9%	6.0%	6.3%	2.9%	5.7%	2.4%	1.3%	1.2%	3.4%	1.9%	0.6%
就職エージェントサービス(新卒紹介)	12.1%	11.8%	10.6%	13.7%	12.0%	11.4%	7.8%	7.6%	7.2%	8.3%	9.4%	5.0%

4-(3) 次月以降の面接・選考はどのように進めるか
次月以降の面接・選考はどのように進めるか



<内々定保有状況別>

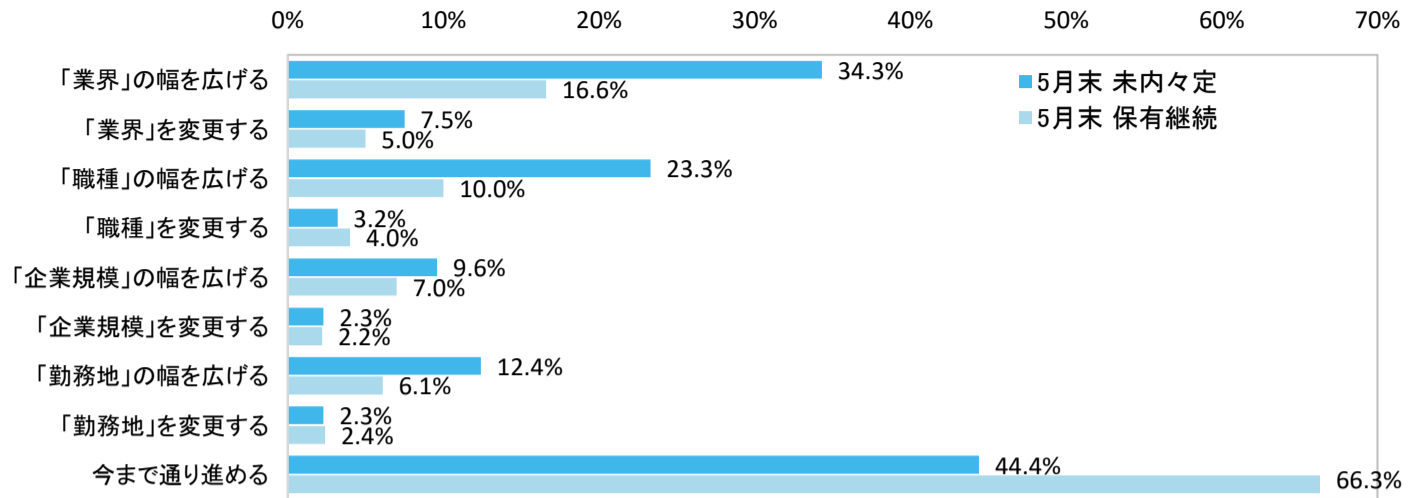
<23年卒>

	未内々定		保有継続	
	回答数	割合	回答数	割合
出来るだけ多く受ける予定	1,298	34.6%	1,130	12.8%
受ける企業を絞り込んで活動する予定	1,298	48.9%	1,130	66.4%
どのように活動するか検討中	1,298	16.4%	1,130	20.7%

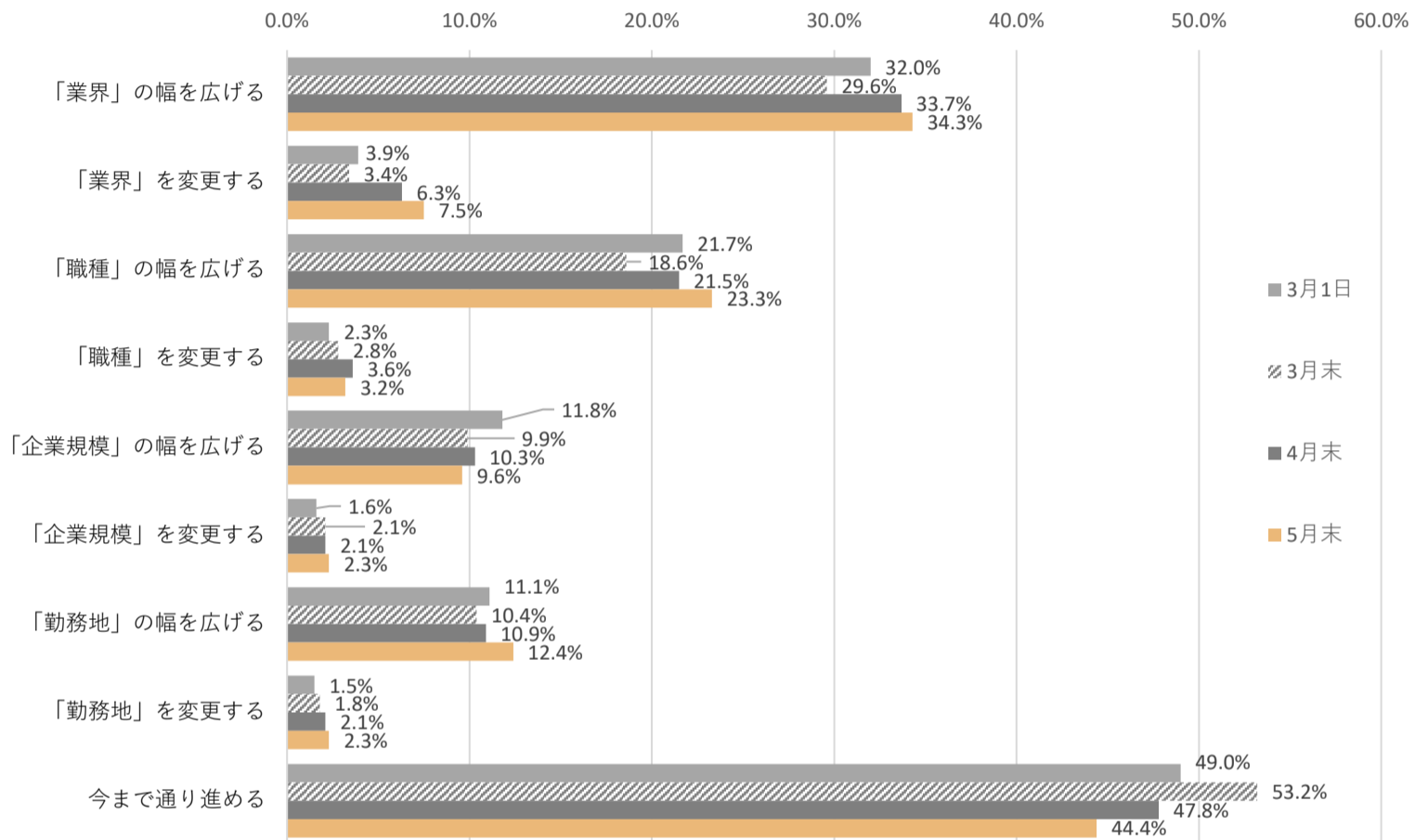
	未内々定						内定あり・活動継続					
	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	894	404	304	590	209	195	867	368	267	600	169	199
出来るだけ多く受ける予定	37.3%	28.5%	42.4%	32.0%	30.1%	25.6%	12.4%	9.0%	14.2%	10.8%	10.1%	7.5%
受ける企業を絞り込んで活動する予定	48.0%	51.0%	45.4%	50.7%	51.2%	50.8%	64.9%	68.8%	64.4%	65.3%	71.6%	64.8%
どのように活動するか検討中	14.7%	20.4%	12.2%	17.3%	18.7%	23.6%	22.7%	22.2%	21.3%	23.8%	18.3%	27.6%

4-(4) 今後の活動の方向性(複数回答)

今後の活動の方向性



【未内々定者のみ】今後の活動の方向性月別推移



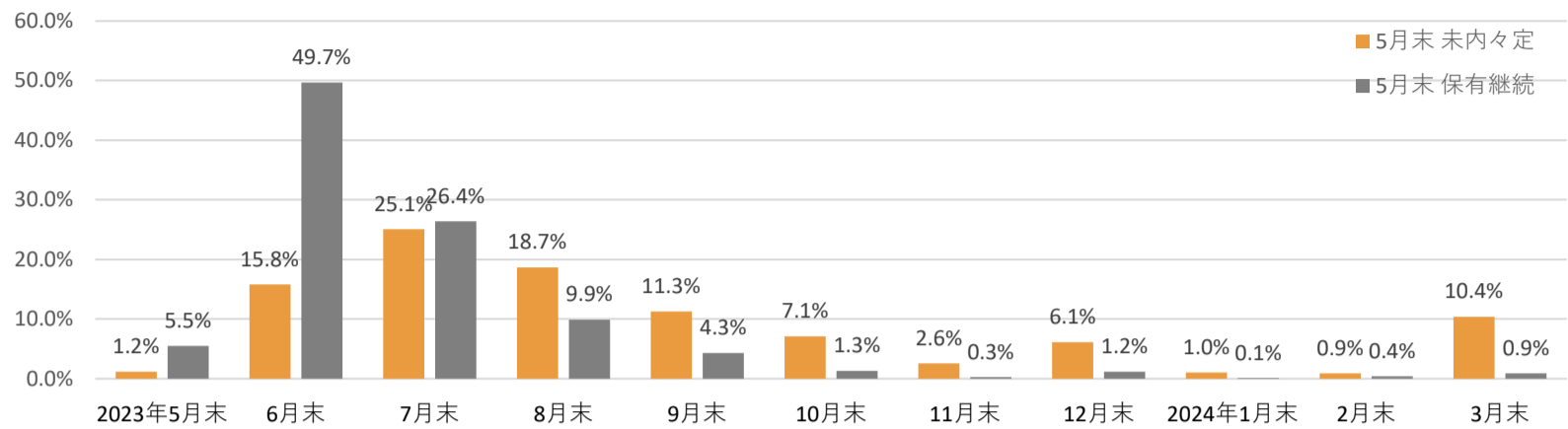
<内々定保有状況別>

<23年卒>

回答数	未内々定		保有継続	
	未内々定	保有継続	未内々定	保有継続
「業界」の幅を広げる	34.3%	16.6%	37.6%	16.5%
「業界」を変更する	7.5%	5.0%	7.4%	5.2%
「職種」の幅を広げる	23.3%	10.0%	23.4%	10.9%
「職種」を変更する	3.2%	4.0%	5.4%	2.6%
「企業規模」の幅を広げる	9.6%	7.0%	11.6%	7.0%
「企業規模」を変更する	2.3%	2.2%	2.7%	1.8%
「勤務地」の幅を広げる	12.4%	6.1%	13.5%	5.1%
「勤務地」を変更する	2.3%	2.4%	1.8%	2.4%
今まで通り進める	44.4%	66.3%	44.8%	67.4%

回答数	未内々定						内定あり・活動継続					
	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
「業界」の幅を広げる	37.7%	26.8%	36.4%	39.0%	29.4%	22.2%	18.4%	12.0%	18.2%	18.6%	13.9%	9.5%
「業界」を変更する	8.5%	5.1%	10.3%	6.8%	5.7%	4.1%	5.1%	4.9%	4.8%	5.3%	6.6%	2.5%
「職種」の幅を広げる	23.0%	24.0%	20.5%	25.6%	24.6%	22.7%	9.2%	11.8%	6.7%	11.4%	13.9%	9.0%
「職種」を変更する	3.7%	2.3%	4.3%	3.1%	2.4%	2.1%	4.6%	2.7%	4.8%	4.3%	1.8%	4.0%
「企業規模」の幅を広げる	9.7%	9.4%	11.6%	7.8%	10.9%	6.7%	7.9%	4.8%	8.9%	7.0%	6.0%	3.0%
「企業規模」を変更する	2.4%	2.0%	3.0%	1.9%	1.9%	2.1%	2.1%	2.4%	3.0%	1.3%	3.0%	1.5%
「勤務地」の幅を広げる	11.2%	15.2%	9.6%	12.9%	16.1%	13.4%	5.8%	6.7%	5.9%	5.6%	7.2%	6.0%
「勤務地」を変更する	2.2%	2.4%	2.3%	2.0%	2.4%	2.6%	2.2%	2.8%	1.9%	2.5%	3.0%	2.5%
今まで通り進める	41.9%	50.0%	41.7%	42.0%	46.9%	55.7%	65.1%	69.3%	65.1%	65.2%	64.5%	76.0%

4-(5) 就職活動をいつまで続ける予定か
就職活動をいつまで続ける予定か



<全体>

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	3,189	2,202	987	734	1,468	483	504
2023年5月末	8.2%	7.7%	9.2%	8.3%	7.2%	8.1%	10.9%
2023年6月末	32.4%	30.6%	36.4%	29.3%	31.9%	37.5%	34.7%
2023年7月末	23.8%	25.1%	20.9%	24.4%	25.7%	21.7%	19.4%
2023年8月末	13.4%	13.6%	13.1%	13.2%	13.9%	13.7%	12.1%
2023年9月末	7.3%	7.3%	7.3%	7.6%	6.9%	6.2%	8.9%
2023年10月末	4.0%	4.4%	3.0%	4.5%	4.3%	2.7%	3.6%
2023年11月末	1.3%	1.5%	0.9%	1.6%	1.4%	1.0%	0.8%
2023年12月末	3.4%	3.9%	2.2%	4.2%	3.5%	1.7%	3.0%
2024年1月末	0.5%	0.4%	0.7%	0.3%	0.5%	0.8%	0.6%
2024年2月末	0.6%	0.5%	0.9%	0.5%	0.4%	1.0%	0.8%
2024年3月末	5.2%	5.1%	5.4%	6.0%	4.3%	5.6%	5.2%

<未内々定>

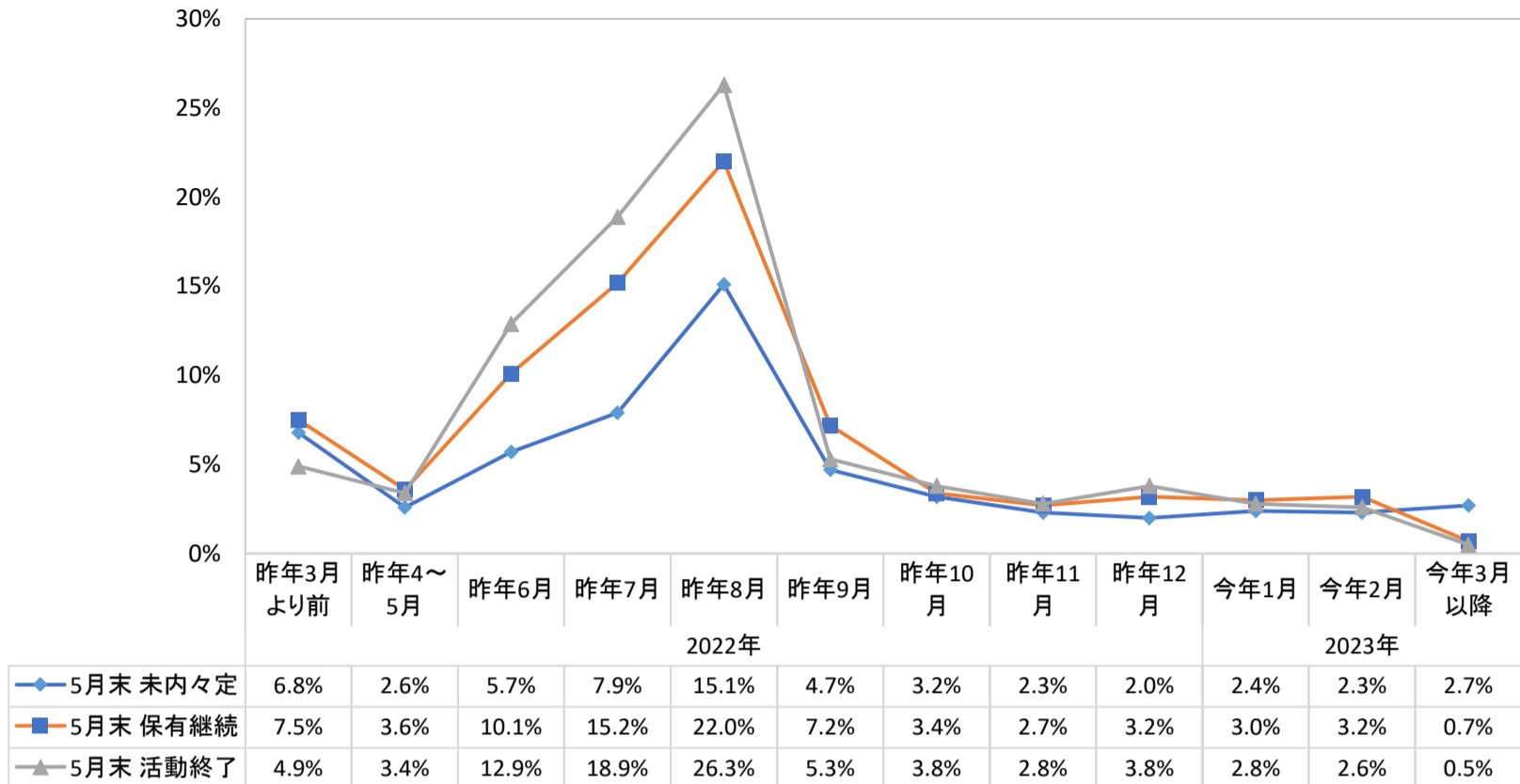
	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	1,455	1,013	442	345	668	228	214
2023年5月末	1.2%	1.0%	1.5%	1.4%	0.6%	1.3%	1.9%
2023年6月末	15.8%	14.3%	19.4%	13.3%	15.3%	23.2%	12.6%
2023年7月末	25.1%	25.4%	24.3%	26.4%	24.4%	23.2%	26.2%
2023年8月末	18.7%	18.7%	18.6%	16.8%	20.7%	18.9%	18.2%
2023年9月末	11.3%	11.0%	11.8%	10.4%	11.7%	10.1%	15.0%
2023年10月末	7.1%	7.9%	5.2%	8.1%	7.6%	4.4%	6.5%
2023年11月末	2.6%	2.9%	1.9%	3.2%	2.5%	2.2%	1.4%
2023年12月末	6.1%	7.1%	3.7%	7.2%	7.0%	2.6%	5.6%
2024年1月末	1.0%	0.7%	1.6%	0.6%	0.7%	1.8%	1.4%
2024年2月末	0.9%	0.7%	1.3%	0.6%	0.7%	1.3%	1.4%
2024年3月末	10.4%	10.3%	10.6%	11.9%	8.7%	11.0%	9.8%

<内定あり・活動継続>

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	1,417	988	429	303	685	191	238
2023年5月末	5.5%	5.3%	5.9%	5.3%	5.4%	3.1%	9.7%
2023年6月末	49.7%	47.8%	54.3%	47.2%	48.3%	53.4%	55.5%
2023年7月末	26.4%	28.1%	22.4%	25.7%	30.2%	26.2%	17.2%
2023年8月末	9.9%	10.0%	9.7%	10.9%	9.2%	11.0%	8.0%
2023年9月末	4.3%	4.4%	4.1%	5.9%	3.1%	3.7%	4.6%
2023年10月末	1.3%	1.4%	1.0%	1.3%	1.5%	0.5%	1.7%
2023年11月末	0.3%	0.4%	-	0.3%	0.4%	-	-
2023年12月末	1.2%	1.3%	0.8%	2.0%	0.7%	0.5%	1.3%
2024年1月末	0.1%	0.2%	-	-	0.3%	-	-
2024年2月末	0.4%	0.4%	0.5%	0.7%	0.1%	0.5%	0.4%
2024年3月末	0.9%	0.7%	1.3%	0.7%	0.7%	1.0%	1.7%

5-(1) インターンシップ・ワンデー仕事体験に初めて参加した時期

インターンシップに初めて参加した時期



<活動状況別>

	未内々定	保有継続	活動終了
回答数	1,496	1,426	2,073
昨年3月より前	6.8%	7.5%	4.9%
昨年4～5月	2.6%	3.6%	3.4%
昨年6月	5.7%	10.1%	12.9%
昨年7月	7.9%	15.2%	18.9%
昨年8月	15.1%	22.0%	26.3%
昨年9月	4.7%	7.2%	5.3%
昨年10月	3.2%	3.4%	3.8%
昨年11月	2.3%	2.7%	2.8%
昨年12月	2.0%	3.2%	3.8%
今年1月	2.4%	3.0%	2.8%
今年2月	2.3%	3.2%	2.6%
今年3月以降	2.7%	0.7%	0.5%
インターンシップには参加していない	42.3%	18.1%	12.0%

インターンシップに参加した	57.7%	81.9%	88.0%
---------------	-------	-------	-------

	未内々定						内定あり・活動継続					
	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	1,030	466	352	678	246	220	992	434	304	688	194	240
昨年3月より前	6.4%	7.6%	6.0%	6.9%	6.5%	9.5%	8.1%	6.2%	8.2%	8.0%	4.6%	8.3%
昨年4～5月	2.7%	2.4%	2.3%	3.1%	2.4%	2.3%	3.9%	2.9%	3.9%	3.9%	2.6%	3.3%
昨年6月	5.9%	5.2%	5.4%	6.5%	6.5%	2.7%	12.0%	5.6%	10.2%	13.7%	5.2%	6.2%
昨年7月	7.7%	8.3%	8.0%	7.4%	8.5%	7.7%	15.9%	13.6%	14.8%	16.9%	14.4%	12.5%
昨年8月	14.9%	15.6%	14.8%	15.0%	16.7%	13.6%	21.9%	22.1%	21.4%	22.4%	21.1%	23.3%
昨年9月	5.3%	3.4%	5.1%	5.5%	4.1%	2.3%	6.6%	8.7%	5.6%	7.6%	7.7%	10.0%
昨年10月	3.3%	2.9%	4.8%	1.8%	3.7%	1.4%	3.6%	3.0%	4.6%	2.8%	2.1%	4.2%
昨年11月	2.6%	1.7%	2.6%	2.7%	1.6%	1.8%	2.5%	3.2%	2.6%	2.3%	1.5%	5.4%
昨年12月	2.3%	1.4%	2.0%	2.7%	1.2%	1.8%	2.3%	5.3%	3.3%	1.5%	6.2%	4.2%
今年1月	2.6%	2.1%	3.1%	2.1%	2.4%	1.4%	3.2%	2.7%	3.6%	2.8%	3.1%	2.1%
今年2月	1.7%	3.5%	1.4%	2.1%	3.7%	3.2%	3.5%	2.5%	3.9%	3.1%	3.1%	1.7%
今年3月以降	2.3%	3.6%	2.3%	2.4%	2.8%	5.0%	0.5%	1.3%	0.3%	0.6%	1.0%	1.7%
インターンシップには参加していない	42.2%	42.4%	42.3%	42.0%	39.8%	47.3%	16.0%	23.0%	17.4%	14.7%	27.3%	17.1%

	活動終了					
	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	1,052	1,021	365	687	554	467
昨年3月より前	4.8%	5.0%	4.9%	4.7%	4.2%	6.6%
昨年4～5月	4.2%	2.5%	3.8%	4.7%	1.8%	3.9%
昨年6月	15.4%	10.2%	12.1%	18.9%	8.3%	14.1%
昨年7月	19.7%	18.1%	18.1%	21.4%	19.0%	16.3%
昨年8月	22.5%	30.2%	25.2%	19.7%	31.9%	26.8%
昨年9月	4.5%	6.1%	4.1%	4.9%	6.3%	5.6%
昨年10月	3.5%	4.0%	4.1%	2.9%	4.0%	4.1%
昨年11月	2.5%	3.2%	2.5%	2.6%	2.7%	4.1%
昨年12月	3.2%	4.4%	3.8%	2.6%	4.9%	3.4%
今年1月	2.7%	2.9%	3.0%	2.3%	3.1%	2.6%
今年2月	3.0%	2.3%	3.3%	2.6%	2.2%	2.6%
今年3月以降	0.6%	0.5%	0.3%	0.9%	0.5%	0.4%
インターンシップには参加していない	13.3%	10.7%	14.8%	11.8%	11.2%	9.6%

何社のインターンシップに参加したことがあるか

<活動状況別>

<23年卒>

	未内々定	保有継続	活動終了		未内々定	保有継続	活動終了
回答数	852	1,183	1,839		985	1,098	1,552
1社	28.9%	12.4%	9.5%		26.7%	9.2%	9.0%
2社	20.1%	12.5%	10.3%		17.8%	10.9%	9.5%
3社	15.2%	13.3%	10.6%		13.2%	9.8%	12.2%
4社	8.1%	10.2%	8.5%		8.4%	9.3%	8.2%
5社	8.3%	12.2%	11.7%		10.8%	12.8%	11.1%
6社	4.5%	4.2%	6.4%		5.1%	6.3%	6.6%
7社	3.1%	5.6%	5.7%		2.9%	6.1%	4.8%
8社	2.0%	2.7%	3.9%		3.2%	5.0%	4.5%
9社	0.8%	1.8%	1.2%		1.8%	1.1%	1.3%
10社以上	9.0%	25.0%	32.2%		10.0%	29.7%	32.8%
参加社数(平均)	2.2	5.4	6.7		2.6	6.2	7.2

回答数	未内々定						内定あり・活動継続					
	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	591	261	200	391	148	113	837	346	250	587	144	202
1社	28.4%	30.0%	29.5%	27.4%	28.4%	33.6%	10.8%	16.7%	9.6%	11.8%	21.5%	10.9%
2社	20.0%	20.3%	20.0%	19.9%	20.3%	20.4%	11.7%	14.6%	10.8%	12.4%	16.0%	12.9%
3社	15.2%	15.1%	14.5%	15.9%	15.5%	14.2%	13.6%	12.5%	14.8%	12.6%	11.8%	13.4%
4社	8.3%	7.6%	8.0%	8.7%	7.4%	8.0%	10.2%	10.1%	10.4%	10.1%	11.1%	8.9%
5社	8.5%	7.8%	8.0%	9.0%	8.1%	7.1%	12.0%	12.9%	12.4%	11.6%	10.4%	15.8%
6社	4.2%	5.1%	5.0%	3.3%	5.4%	4.4%	4.1%	4.4%	4.4%	3.9%	5.6%	3.0%
7社	2.9%	3.6%	3.5%	2.3%	4.1%	2.7%	6.5%	3.4%	7.6%	5.6%	2.1%	5.0%
8社	2.3%	1.5%	2.0%	2.6%	1.4%	1.8%	2.7%	2.7%	1.2%	3.9%	2.1%	3.5%
9社	0.8%	0.9%	1.0%	0.5%	1.4%	-	1.5%	2.6%	2.0%	1.0%	1.4%	4.0%
10社以上	9.5%	8.1%	8.5%	10.5%	8.1%	8.0%	27.0%	20.2%	26.8%	27.1%	18.1%	22.8%
参加社数(平均)	2.3	2.1	2.1	2.3	2.4	1.8	5.7	4.7	5.5	5.8	4.0	5.2

回答数	活動終了					
	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	915	924	309	606	495	429
1社	9.6%	9.4%	11.0%	8.3%	9.1%	10.0%
2社	9.6%	10.9%	11.0%	8.3%	12.1%	8.6%
3社	8.1%	13.1%	8.4%	7.8%	14.1%	11.0%
4社	7.6%	9.4%	6.8%	8.4%	10.5%	7.2%
5社	11.5%	11.9%	12.0%	11.1%	11.7%	12.4%
6社	6.3%	6.5%	7.1%	5.4%	6.3%	7.0%
7社	5.6%	5.8%	5.5%	5.6%	5.5%	6.5%
8社	3.1%	4.7%	1.3%	5.0%	5.3%	3.5%
9社	1.3%	1.1%	0.6%	2.0%	1.0%	1.4%
10社以上	37.3%	27.1%	36.2%	38.3%	24.4%	32.4%
参加社数(平均)	7.2	6.1	6.6	7.5	5.6	6.7

5-(3) 先進的なAI技術などの新しいテクノロジーの登場によって、就職観や志望業種・志望職種・志望企業などに影響を受けたことはあるか

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	5,062	3,109	1,953	1,038	2,071	1,009	944
ある	15.3%	14.8%	16.2%	15.2%	14.4%	17.1%	14.5%
どちらともいえない	41.1%	40.5%	42.0%	43.0%	38.0%	46.0%	35.0%
ない	43.6%	44.7%	41.7%	41.8%	47.7%	36.9%	50.5%

5-(4) 前問で「影響を受けたことがある」と答えた理由(影響を受けた業種・職種とその影響の内容等)、「影響を受けたことはない」と答えた理由
※別シートに記載

5-(5) 企業がAIツールを導入した採用選考について、どのように感じるか

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	5,062	3,109	1,953	1,038	2,071	1,009	944
いかなる用途であっても活用に不安はない	12.7%	12.0%	13.7%	16.2%	7.7%	17.4%	7.1%
評価や合否に関わらない補助的な用途であれば不安はない	64.2%	63.8%	64.7%	60.4%	67.2%	61.8%	69.9%
いかなる用途であっても活用に不安である	10.3%	11.0%	9.1%	10.4%	11.7%	8.1%	10.8%
わからない	12.9%	13.2%	12.4%	13.0%	13.4%	12.6%	12.2%

5-(6) 対話形式で生成系AIが質問に答えるサービス(「ChatGPT」等)の利用経験

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	5,062	3,109	1,953	1,038	2,071	1,009	944
使ったことがある(就職活動の場面、就職活動以外の場面ともに)	15.2%	14.4%	16.6%	16.2%	12.6%	18.5%	13.0%
使ったことがある(就職活動の場面のみ)	3.2%	3.5%	2.8%	3.3%	3.8%	2.9%	2.5%
使ったことがある(就職活動以外の場面のみ)	20.8%	19.0%	23.7%	22.5%	15.5%	26.3%	19.0%
使ったことはないが、対話形式で生成系AIが質問に答えるサービス(「ChatGPT」等)のことは知っている	48.2%	49.8%	45.6%	45.6%	54.1%	43.6%	49.3%
使ったことはないし、対話形式で生成系AIが質問に答えるサービス(「ChatGPT」等)のことも知らない	12.5%	13.2%	11.4%	12.4%	14.0%	8.7%	16.2%

5-(7) 生成系AIによるチャットサービス(ChatGPT等)を就職活動で活用することについての考え

※サービスを知らない学生は除外

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	4,580	2,794	1,786	935	1,859	945	841
積極的に使いたいと思う	11.6%	10.8%	12.9%	13.6%	8.1%	14.6%	9.8%
どちらかというと思いたいと思う	23.2%	22.0%	25.0%	21.7%	22.4%	26.5%	22.2%
わからない	27.4%	28.1%	26.3%	28.3%	27.9%	24.6%	29.5%
どちらかというと思いたくはない	28.3%	28.9%	27.2%	25.1%	32.8%	25.7%	30.0%
まったく使いたくはない	9.5%	10.1%	8.6%	11.2%	8.9%	8.7%	8.6%

5-(8) 生成系AIのチャットサービス(ChatGPT等)を就職活動で使ってみたい場面とその理由、使いたくはない理由

※別シートに記載

5-(4) 先進的なAI技術などの新しいテクノロジーの登場によって、就職観や志望業種・志望職種・志望企業などに影響を受けたことはあるか

「影響を受けたことがある」と答えた理由

属性	内容
理系男子	システムエンジニアを志望していたが、プログラミングスキルを社会が重視しなくなるのではないかと考えて志望度を下げた
理系女子	同じ半導体関連会社でも、最新機器の導入や新技術への関心が大きい企業の方が新しい会社の社風を感じて志望が上がった。
理系女子	筆記具メーカーなので、少なからずペーパーレス社会の影響は受けると思うが、企業を選ぶ時点でそういった社会への変革についていけそうな会社を選択しているため、大きく不安視はしていない。
理系女子	プログラミングの知識が必要だと考え、IT系の会社のインターンにも参加したから。
文系女子	事務職を元々志望していたが、AI等の登場によりこれらの仕事も徐々に減っていくのではないかと思い、将来を見据え志望職種を変更することにした。
理系女子	AIに取って代わられる業種は将来への不安が大きいため、そのような業種への就職活動を控えるようにしている。
文系女子	元々英語を使える仕事を考えていたが、AIの登場により、いつかなくなってしまう仕事かもしれないと考えたから。
文系男子	物流だと人手不足や24年問題でどんどんセンターの機械化が進むこともあり、募集人員の減少や将来のキャリアが描けないのではないかと心配したから。
理系女子	ITの素養が身に着けられる業界、職種、具体的にはIT業界やコンサルティング業界に惹かれるようになった。
理系女子	化粧品業界から医療ITの企業に興味に移った。
理系男子	この仕事はなくなるかを考えることが増えた
理系女子	接客業、事務などはAIの普及によって必要な人員が減ると思う。また、エントリーシートをAIで作成できるため、企業の選考にも影響が出ていると思う。
文系女子	一般事務職の将来性に不安を感じ、少し避けるようになった。代わりにIT職種に興味を持つようになった。
理系女子	食品業界志望でITにはほとんど興味がありませんでしたが、ユーザー系ITであれば、システムエンジニアとして食品に携わっていることをしっかりと感じながらITの力で食に貢献できると知り、内定を得られるほどしっかりと志望理由も言えました。
文系女子	AI技術の進歩により、事務など単純作業が人が行う必要が無くなる可能性があるとき、事務職の採用は今後どんどん少なくなると考え、事務職採用で内々定を貰おうとするのは半ば諦めようという気持ちになった。そのため、他の職種の採用情報をよく見るようになった。
文系女子	漠然と金融系、IT系を希望していたが、新しいテクノロジーのニュースを目にする機会が増えて希望しなくなった。人間であることを生かせる業界や企業に希望を切り替えて就活した。
文系女子	元々、映像制作業界を重きを置いて就職活動をしてきたが、コロナ禍になり、より一層映像の需要が増えたことを実感し、映像制作業界で働きたいという気持ちが更に強くなった。ただ、携帯で動画を見ていると、AIがその人の趣味や嗜好を分析して、それに関連した動画を提案してくるようになったことで、自分が制作した映像を多くの人に見てもらいたいと思っても、AIのせいで動画が届きにくくなっていると思う。そう思うと、少し悲しく感じる。
文系男子	情報系への志望度が高まった
理系女子	機械系の職種を志望予定でしたが、機械科での学習の中でAIにも興味をもち、IT業界や鉄道の自動運転に関する職を志望するようになりました。
理系男子	人とAIの得意分野が何かを見極めて将来残る仕事を選びたいと考えるようになった。
理系女子	元々は、医療機器業界や薬品業界を見ていたが、これらはAIに取って代わられる存在であると感じた。そのため、それを作り出すITに興味を持つようになった。

文系女子	AIではできない、対人ならではの仕事をしたいと考えるようになった。
文系女子	少子高齢化による人材不足によって、製造業界における生産性の低下が懸念されている。AIなどの新しいテクノロジーはそういった課題を解決するため、それらを扱っている業界・企業はとても将来性があると感じる。
理系男子	事務職などは将来性が怪しいと考えたため、志望度が少しですが下がりました。また、建築関係の施工管理などはまったく逆の理由で志望度が上がりました。
理系男子	働き方改革(安全面や健康面・業務効率化)に対して有効な技術と考えるとともに、それらを積極的に取り入れることで、将来迎えるであろう人手不足・技術継承不足を解決することにつながると考えているため、企業を選ぶ際にHPやインターンシップなどで企業情報を集めることをした。
文系女子	銀行の融資関連事務を請け負う会社を受けたが、人間のやったことが今後機械に奪われていくのではないかと不安を抱いた。面接時にその思いをぶつけたところ、ただ事務を行うというだけでなく、行員の方にコンサルを行うという面もある会社であるため、完全に機械に移行するということはないから安心してほしいと言われた。
文系女子	翻訳業を志望していたが、ChatGPTの出現で少し考え直し中である。
文系女子	正社員の事務職を希望していたが、AIの普及によって事務職を派遣として採用する企業が多くなり、正社員ではないため職種を広げざるを得なくなった。AIが今後も普及する将来性がありそうなことから、IT業界やWeb業界への志望度が高まった。chatGPTの登場により人間にしかできない仕事はますます少なくなると感じ、不安感を覚えた。
文系女子	福祉業界、介護職 内容:介護を担う人材が少ないことや老老介護といった問題に対してAI技術を用いることで解決を図り、また介護者の負担軽減を目指している
文系女子	スーパーマーケット業界においてもAI技術を導入する企業が増え、それによって今まで人間の手で行なってきた日々の作業を機械に任せる時代がくるといことをいくつかの企業の会社説明会で聞き、以来スーパーマーケット業に興味が湧きました。
文系女子	飲食店でロボットが料理を運んでいるのを見て人間でなくてはいけない仕事が減ってくるのかと感じました。
理系女子	リモートで現場監督をしている企業があった。今まで、現場に向かい現場監督をしている企業しか知らなかったため、リモートで業務を行っていることで、時間効率が良く、とてもいいなと感じた。
理系男子	IT業種 自分の専門はバイオや生物系であるため、IT業界とは無縁でした。ですが、様々な企業を見ていくうちにIT企業の数の多さに圧倒され、今後必要になっていく分野になると考えたため、チャレンジしようと選考に参加しました。
理系女子	薬局や病院の業務内容にAIが補助で入るか否かは確認していました。調剤や薬歴作成、基本的な用法用量の確認はAIを導入することでより安全で効率的な医療を提供できると思ったので、導入していると惹かれるポイントにはなりました。
文系女子	今後50年働いていく中で、AIに取られにくい職種とアピールしていた企業に魅力を感じたため。
文系女子	近い将来、テクノロジーの発展によって賃金格差の発生や会社の倒産・経営状況の悪化などが考えられる業界は避けるようにした。(マーケティング調査会社など、人間よりもAIが行った方が利益が出る業界)
文系女子	情報関連や物流など、AIが台頭してきても比較的失くなりにくい業種を見るようになった。
文系女子	銀行窓口を志望し入社予定ですが、今後AIの影響を受けて必要なくなる業種ではないかと少し不安がある
理系男子	企業を選ぶ際にITの活用やDX化に対応しているかは意識していた。
理系女子	繰り返し単純な作業だけを行う仕事はAIにとって変わられると感じた。そのためAIにはできない0から1を作り出す技術職を志望した。その中でも新商品の開発に携わる部門を志望するようになった。

文系男子	スマート農業によって農家の方々の負担を軽減することができることに興味を持ったため。
理系女子	AIに置き換わられない、エッセンシャルワーカーの仕事に興味を持つようになった。
文系男子	志望業界である陸運、海運はIT化の波が遅れていることやSDGsの影響をもろに受けている業界であり、この状況でどれほど会社資源をそれらイノベーションに費やしているのか考えることは多かった。
文系女子	教育業界において、映像授業やオンライン授業が幅を広げていくなか、生身の人間だからこそ可能な実践型教育の形態をとっている企業を選ぶようにしよう意識が変わった。
理系女子	調剤の機械化が進んでいる企業とそれほどの企業で差があった。やはり、将来的に機械化が進んで人員削減になる可能性がある企業よりは既に機械化が進んでおり、新たな薬剤師の働き方、あり方を見出し行っているところの方が就職したい。
理系男子	製造業において、AIやビックデータを活用したDXを推進することによって、将来訪れるであろう少子化による労働力不足や、コストダウンを図り競争力を上げる必要があると感じた。
文系女子	生保損保は、人の感情に寄り添う職業だからAIの登場でも、左右されにくいと思ったから。
文系男子	介護業界は肉体労働であるといった偏見があったものの、テクノロジーの進化によって職員の負担が軽減されることを知り業界を決めました。
理系男子	最初は薬学科に在籍していたが、薬剤師として働くことはこれからAIに取って替わられるのではないかという懸念を感じた。
文系男子	EV化の影響を受ける可能性のある、エンジン部品や排気、燃料系部品をメインに製造している会社は受けにくくなった。
理系男子	私は調剤薬局を志望しているのですが、業界研究を行なう中で、調剤ロボット、AIが登場しており、薬局内でもIT化が進んでいることを何度もお聞きしました。それを受けて、今後の薬局業界はより対人業務を重視する時代になるであろうということを実感させられました。
理系男子	ソフトウェア業界ではコーディングはAIに任せたりする面が増えると思う。現在下流工程を安く引き受けてくれる人が不足しているためAIの力によってこれから影響を受けるのではないかと思う。
文系女子	逆に、AIの台頭で数年後にはなくなるだろうとされている職業や人的サービスに対して興味を持つようになった。また、就活サイトの「あなたへのおすすめ企業」など、自分の選好を分析するシステムにもかなりお世話になったように感じるから。
文系女子	福祉業界で、新しいテクノロジーの発展によって介護が楽になってきていること。
理系女子	AIによる分析がリハビリテーション業務の効率性を上昇させる可能性がある。
理系男子	調剤薬局で、全自動分包機などの機械が導入されている場所が魅力的に感じた部分があった。

「影響を受けたことはない」と答えた理由

属性	内容
理系女子	仕事の内容は変化するだろうとは思いますが、それで志望業種などを変えようという理由にはならない。自分に合う仕事を見つけることが重要であるが、どうしても人間が行わなければならない仕事は残る。
理系女子	特に関係ないと思ったから
文系男子	そもそも自分の志望している業界が接客が多く、人間ならではの感情をもるに必要にされていると感じているため。
文系女子	サービス業を志望しているため、人の温かみはAIに奪えないと思ったから。
文系女子	自分のやりたい仕事に応募するだけだから。それに取って代わる可能性があると思うのなら、自分にしかできないことを入社後に磨けば良いと考えるから。また、それを考えていては切りが無いと思ったから。
理系女子	研究職の仕事がAIによって行われることはしばらくないと感じていたため
文系女子	接客に重きを置いた業種であり、リストラされにくい総合職での採用を見ていたので影響は受けていないと思います。
文系女子	志望していたホテル業界では滞在されるお客様に対してリラックスできるような対面での接客を基本としており、機械に関してはSDGsの取り組みにや宿泊予約等へ導入しているので、影響はないと感じました。
理系女子	医療関係の企業は、AIに代替できない業務も多く、その割合も未だ高いため、就職活動をとっても変化がほとんどないと感じるから。
理系女子	薬剤師の調剤業務において、新しいテクノロジーによって対物業務の機械化が図られ、スピード向上やミスの削減などが可能になるということは、医療・調剤薬局業界において起こり得る変化であるが、対人業務が重要であることは変わりがなく、それによって志望業種などに影響を受けたということはない。機械化が進んでも薬剤師として仕事を通してやるべきことは根本的には変わらないと考えている。
理系女子	ATMができたときに銀行員はもついでなくなるといわれていたそうだが、現存も縮小するところが増えている。何が縮小されて何が生まれるかなんてわからないものだから、自分がやりたいことをやろうと考えているので影響はなかった。
理系男子	研究職において、人間の経験と感覚というものが一番大切だと思っているから。また、官能評価であったり、感触というものは各個人の人間にしかわからないから。
文系女子	イラストやアニメーション分野にはAIによる何らかの影響があるとは思ったものの、デザイン領域では、共存する形でAIと良い付き合い方ができると思うため、左右されることなく業者や職種を考えました。
文系女子	就職先に求める最も重要なことはその会社の社風であったため、AIなどの存在は加味しなかった。
文系女子	就活を進めていく中で、技術の進歩よりもまだ人材不足のほうが切実な課題であるように感じ、特に技術の進歩によって自分のみている職が失われることに対する危機感はまだ感じなかったから。
理系男子	そもそもあまり興味を受けなかったため。データサイエンティストの説明会を何度か受けたが、全く自分に刺さらなかった。働く中で興味が出る可能性はあるが、現段階では就職活動に影響していない。
文系女子	文系ということもあり、大学入学当初から志望職種を金融系に絞っていたため、あまり影響は受けなかった。金融も受付などではAIなどIT技術を導入するようになってきたが、銀行の営業や損保の損害サービスはAIではなく人間でないと務まらない職であり、元々このような職種を志望していたことが大きい理由であると思う。
理系女子	薬のピッキングや散剤・水剤・一包化が機械化された分、患者様と接する時間が増え、今までより詳しく話を聞けたり生活のアドバイスをしたりすることができるため。
文系女子	志望する業種はウェディングと決まっていて、現時点ではあまり新しいテクノロジーに関係ないと考えるから。
理系男子	私は、志望企業を製造業に絞って就職活動を行っていたが、今人間が行なっている取引先のニーズに応えられるような製品や今社会にとって必要だと思われる製品の発想を生み出すことは、AIにとっては困難であると感じており、取って代わられることはないと思ったから。
文系男子	営業や保守・メンテナンスなどの活動は、現時点では人の領域であるため。
理系女子	自分のやりたいことをやりたいと考え続けているから。もし、AIになり代わられるような職種だったとしても、働いている期間に自分の中で新たな技術を身に付けようとしていたから。
文系男子	営業職であるため対人の接客が必要不可欠であり、AIに代替されづらいと考えたため。
理系男子	参入障壁が高いため、AI技術などの業務への活用が緩やかにしか進まない企業を志望していたから。
文系男子	対人スキルをある程度要求される職種を最初から志望していたため、AI等の技術による置換は進みづらいと考えているため。
文系男子	私は小売や営業を主に見ていて、これらはAIやロボットが普及しても衰退しないと感じたためです。確かに完全自動レジなど便利になったところはありますがやはり寄り添った接客ができるのは人間だけだと思います。
理系男子	建設コンサルタントを志望しているが、AIによって情報収集や資料の作成などの効率化が進むことは考えられるが、複数のステークホルダーとの合意形成や、前例のない開発計画の立案などはAIには代替されることはないと感じた。
文系男子	私の志望業界は児童福祉分野であり、AI等の先進技術が勤務を円滑にしてくれることはあると思うが、福祉は人と人との関係性の中で信頼感を持ち、相手のニーズに応えていく分野であるから、AI等の先進技術から大きな影響を受けることはないと思う。

5-(8) 生成系AIによるチャットサービス(ChatGPT等)を就職活動で活用することについての考え

「積極的に使いたい」と答えた理由

属性	内容
文系男子	ES添削の場面において使いたい。大学の就職担当の方に添削してもらうには日中しかできないが、AIを使えば24時間いつでも添削してもらえ、添削待ちの時間を削減できるため。
文系男子	特に、ESの誤字脱字添削に関しては非常に有効です。chatGPTは数年前の情報にしか対応していませんが、言語はそう簡単には変わらないものなので、十分に有効性を発揮しています。 また、企業研究とまでは行きませんが、業界研究をざっくりと行う部分であれば、利用することも可能です。非常に便器なもので、お金もかかりません。使わない手はないと思います。 ただし、情報が必ずしも正しい訳では無いので、最終的なチェックは自分の目でしっかり行うと思います。
理系女子	文章の推敲や拡大(400文字から600文字にするなど)など、就職活動の補助的なものとして使いたい。
文系男子	情報収集や正しい長文作成において、有用な補助ツールだと考えている。あくまで補助程度だと意識した上で、ChatGPTを用いて効率良く就職活動を進めたい。
文系女子	自分のアピールポイントやエントリーシートの内容を客観的に検討するために使用したい。友人同士では限界があると感じる上、AIの方が効率が良いと思うため
理系男子	添削などをしてもらうことができ、より時短できるから。従来の就職指導課でのESの添削は返却までに数日の時間を有していたが、AIの登場によってその時間は数分にまで削減することができた。
文系男子	ES作成、模擬面接(チャット形式)で使いたい。AI相手なので何度でも練習や指導をお願いできるから。実際にES作成にChatGPTを使ったところ、誤字脱字・敬語・言い回しの修正などでは有効に使えた。web検索の精度が上がれば企業研究にも活用したい。
文系女子	志望動機などを自分でまとめられない時に、ChatGPTに箇条書きで自分で志望理由を書いてまとめてもらうことに利用したい。まとめてもらったものを参考にすることで、効率化を図ることが出来ると思う。
文系女子	エントリーシートの添削、質問に対する応答の確認に使う。添削を人に頼む場合、メールなど事前に連絡する必要があるが、AIであれば時間や場所を選ばない。不完全なものでも添削させることができるため、気軽である。
理系女子	ネットには情報があふれすぎて困るから、選んでくれる機能がついて嬉しいと思うから。
文系女子	ガクチカや自己PRに対しての深掘り質問や、添削に使用してみたいと考えます。
理系女子	提出資料の誤字脱字の確認などに使いたいと感じる
理系男子	ESの添削やアイデアを出すのに使う。生成系AIが文章校正やコンサルティングに優れているため。
理系女子	エントリーシートなどで自分の強みを言い換えて弱みを作ってくれるなど、自分では盲点だったところを教えてくれるため
理系男子	実際に履歴書の添削でChatGPTを使用しました。理由は、履歴書提出までの期間が迫っており、学校の就職支援課などで添削を受けてもらう時間が取れなかったからです。ChatGPTに「次の文章を添削してください。『実際に書いた自己PRなどの文章』と入力すると、すぐに適切かつ読みやすいような日本語表現を提案してくれたため、非常に助かりました。ただし、一部おかしい表現になったりすることもあるため、過信は禁物であるとも思いました。
文系女子	企業への返信メールなどの言葉遣いの添削に使いたい。
文系男子	ESのたたき台等に使いたい。新しい表現方法を知れるため。
理系男子	志望動機を書くとき、他の就活生とやはり、差をつけたいと考えたとき、キャリアセンターに添削してもらうのも一つの手だが、今あるテクノロジーを有効活用して、書いてみたり、添削してみたりするという選択肢もあると感じたから。生成系AIは、出てきたばかりで法律の対応などが追いついていない今、生成系AIを使って選考を優位に持っていきは賢いやり方の一つでもあると感じる。
文系男子	就活のどのプロセスにおいても使用出来ると考えています。理由としては、短時間である程度妥当な意見を提示してくれるからです。
文系女子	使い方を気をつければ非常に便利な協力者だと思う。言語の学習量が豊富なのでアイデア出しや推敲に重宝している。
理系女子	ChatGPTを使っていて文章構成を0から考えるのに長けている技術だと思うので、ESの書き始めに使いたいと思う。しかし文章の内容や訂正は自分の手でしていきたい。
文系男子	BingのAIを用いて以下のような質問をしたことがある。 「〇〇株式会社の志望動機となりえるような情報を教えて欲しい。企業理念や独自性を教えてください。」 このような質問から、自分の志望動機のプロットを練って面接に挑み、通過したことがある。
理系女子	既にエントリーシートの記入に使っている。大枠を書いてもらい、修正するという方法を使っている。自力で書くよりも話運びが自然で、自己アピールを組み込みやすい。しかし、文章は上手いが内容はありきたりで空っぽなので、そこに自分の考え方や人間性を乗せていく。そうすると、時間はそれなりにかかるものの、クオリティは高いかと思う。
文系女子	〇〇の業務が含まれない仕事、などの検索は、今のチェック項目を入れるタイプの検索方法で不可能なので、そういった職業、企業検索や、自己分析のときに使いたいです。
文系女子	企業の情報と自身のエントリーシート記入内容を読み込ませ、面接で聞かれそうな設問を想定させている。自分では思いつかない角度からの質問は実際の面接でも役立った。
理系男子	エントリーシートの設問の中には、提案や企画の項目があり、ChatGPTの回答から閃きを得ています。恐らくどこからか元ネタを拾ってきているのではないかと思うので、そのまま採用することは憚れますが、その回答をヒントに形作っていくことは可能だと考えており、自分ひとりでは出なかったアイデアも、何人もの仲間と出し合って話し合っているような感じで使うには本当にいいツールだと思います。
文系女子	自己PRなどの推敲など他人に頼むしかない事柄で活用している。相手の時間を取らなくて済むので心情的に楽

「どちらかというと使いたい」と答えた理由

属性	内容
理系男子	ESを書く際の文字の校閲や表現の言い換えを考える際に使いたいと思う。自身では出せない考えを何度も出してくれるためこのように考えました。
理系女子	他人と喋ると自分の考えがまとまることある。生成系のAIは、志望動機や自己分析を考える際に「他人」の役割を担うことができる。
文系女子	自己分析で使ってみたい。なぜなら、AIからの質問を元に自分のことを深掘りできるからである。
文系女子	企業理解の調査が大変だったため、同業他社との比較などをまとめてもらうことができれば、使ってみたい。
理系女子	面接の想定質問を考える上で補助として使うと良いと思う。
理系男子	ESの添削や模擬面接に活用したいです。理由は第三者にすぐに見てもらえるからです。
文系女子	エントリーシートの添削や企業の強み等を把握するのに使用したい。エントリーシートの添削がチャットサービスで使えれば大学で添削を受ける必要がなく手間が省けるから。企業の情報は膨大なので要約した内容を知るために利用したい。
文系女子	面接の逆質問を考える際や競合他社との比較の場面で使ってみたいです。自分で調べるよりも効率的に情報を得られると思うからです。
文系女子	面接の補助として使ってみたい。人間と顔を合わせるよりAIに対して話した方が緊張しないだろうから。
理系女子	企業研究の場面で使ってみたいと思いました。多くのサイトをハンゴして企業の情報を得るより手軽に企業の概要などを知ることができると考えたからです。
理系男子	企業に送るメールなどに利用したい。1から自分で考えていると時間がかかるため、特に早く伝えたいことがある場面で助かると思う。
文系女子	エントリーシートを書くときに使ってみたい。一度エントリーシートを書いたことがあるが、内容を考えるのにかなりの時間をかけたにもかかわらず、あまり見られることなく面接をされた経験がある。面接重視の企業が増えているので、書類作成に費やす手間や時間を省くことができると思う。学生生活でも忙しい大学3年生から4年生が就活を始めると大変なので、参考程度にしか使わないのならば文章の自動生成は利用したいし利用を認めてほしいと思う。
理系女子	エントリーシートの添削や面接のアドバイスなど。ChatGPが書いたエントリーシートをそのまま使うのはどうかと思うが、添削や参考程度に使うのは、就活サイトのエントリーシートを参考にすると変わらないので、使ってみたいと思う。
理系女子	企業の強みや行っている事業を大まかに調査するために利用したいです。詳しく調べていくためのキーワード検索のようなイメージです。
文系女子	敬語や話し方がわからない場合に役立つ、自分の言いたいことを言語化してくれる
文系男子	たとえAIでも話すことで自分自身の考えもまとめることができるなど、気楽なパートナーとしていられると思うから。
理系女子	自分の気持ちを箇条書きにすると、いい感じの文章にしてくれること。同じことを聞いても違う答えが返ってくるので、自分の気持ちを伝えるための言葉が増える。この言葉の使い方いいなと思ったものを盗んで使える。
理系女子	エントリーシートの文章を添削したり、要約して文字数を減らすことに利用したい。
文系女子	志望動機やガクチカの作成に使用したい。chatGPTの内容をそのままそっくりエントリーシートに反映することには抵抗があるが、大体の話の流れとして参考程度に利用したい。
理系男子	実際、自分たちで0から1を作るのは難しい部分がある。1から10にするのは努力次第でどうにかになるので、無から有を生む作業を生成系AIなどで代用しその後伸ばせる部分を伸ばしていくことが有意義だと感じるため。
文系女子	文字制限がある設問に対して、自分が書いた文章を要約するのに使いたいです。どこの情報を削ることで、言いたいことを全て伝えられるのか勉強になるからです。また、に口に出す際にも頭の中でうまく要約して伝えられるようになると思うからです。
文系男子	私の知識や経験から生まれることがなかった表現を具現化してくれると感じたから。
文系男子	面接練習のときに使いたい。家で一人で質疑応答ができると思うのでいつでも練習できるため。
文系女子	友達と遊んで使ったが、文末表現が丁寧なので、ESの仕上げに使ってみたい。
文系女子	AIが考えることの中で、自分の中には無い考えを提案してもらえるのは便利だと考えたからです。
文系女子	エントリーシートの添削に使いたい。理由は、就活のプロでも思いつかないような良い言い回しを知ることができるから。
理系男子	自らが書いた自己PRや志望動機の校閲を行う場面で使いたいと考える。文章の流れや接続、就活生としての正しい言葉遣いに不安な面があるため、自ら確認するだけでなく、生成系AIにも確認してもらうことで、より正しい文章が書けると考える。

理系男子	研究内容等を専門性の含まれる内容を説明する際に、比較的わかりやすい文章を書くために使いたい。
文系女子	自分の強みなどから向いている職業、業界を知り、選択肢を広げる意味では使ってみたい。一方で、意思決定の場面で使うのには不安がある。
理系男子	学生時代に貴重な経験を積んでいたり、自身の企業に対する本気度が高くて、それをまとめた文章に起こして伝えるというのはかなり難しい。そういった場面でチャットサービスは手助けをしてくれると考えている。
文系女子	企業研究に使ってみたい。自分が細かく調べる前にある程度情報を知るツールとして活用したい。
理系男子	エントリーシートの添削に使ってみたい。理由としては他人に添削してもらうのは少し気が引けるので機械で出来るのであれば機械に添削してもらいたい。
理系男子	業界研究や企業研究で使用してみたい。情報量が多いという点で、AIの得意分野だと思うから。
理系男子	AIを活用して文章を0から生成することは自分の言葉といえないように思えるため、あくまで自分で書いた文章を整形する手段として用いたことがある。すると字数制限がある中で、自分の伝えたいことをより整った日本語で伝えられるようになるため、自分の気持ちを自然な日本語で伝えられたと思う。ただし言語力の向上意欲が下がるのも確かであると感じた。
理系男子	企業の情報集めに使いたい。ホームページなどから必要な情報を見つけるのは結構手間のかかる事だったので、AIが答えてくれるのであれば時間を有効に使えと思う。
文系女子	自分の思いつかない、自分を表すのに適した言葉を出してくれたりしうるので、補助的に語彙を増やすのに使いたい。
文系女子	初めの文章構成を考えるのが毎回大変だったので、アイデアや仮案としてchatGPTに提案して貰いたいと思った。丸写しするのではなく参考にして文章を書いたら就活のストレスが今より減りそうだなと感じた。
文系男子	「一般的に」述べられている就業観などの情報を収集するには有益なのではと思う。
文系男子	企業の強み弱みを簡略なものではあるが、知ることができるため、企業研究の場面で使うのはアリだと思う。ただ、面接などの問答については、参考にする程度ならアリだと思うが、回答を面接で全てそのまま採用してしまうと、本当に自分にあっているかわからないまま入社することになりかねないと思っている。
理系男子	面接対策としてガクチカなどに対してどのような深掘り質問がされるか準備するため
文系女子	検索エンジンで調べるよりも便利だから。
文系女子	業界や専門的な用語に関する質問に答えてもらうのに役立った。しかし、個人的なエピソードや価値観に基づく、ニュアンスを汲み取った高品質なESを書いてもらうのは難しく、またAIの教育に時間がかかりすぎて非効率的と感じた。ただ、生成された単語などから自力で文章を書く際のとっかかりにはなる。
文系女子	短期間に大量のESを作成しなくてはならない就職活動において、チャットサービスを使用すれば、時間の大幅な短縮につながり、より多くの企業を視野に入れられる余裕ができると考えるから。
理系男子	面接練習などを時間が場所に縛られず行うことができるので活用したいと思う。興味はあるがこれまで全く触れてこなかった業界などの下調べや基本的な知識を身に付ける目的でも利用したい。
文系男子	自身の原体験など、言語化しにくい部分を的確に整理、添削してくれるためESなどの作成に役立てることができるから
文系女子	使ってみたい場面は、「ES作成時」と「面接前の質問予想作成時」だ。前者の理由は、第三者にESは見せて添削してもらったほうが良いと言われる中で、やはり知り合いに頼んだり誰かに読まれることに抵抗を感じる人も多く、実行に移せないことが多い。その抵抗感なく添削してもらえるのはいいツールだと思う。後者の理由は、自分だけでは思いつかなかった質問を多く列挙してくれたり準備の役に非常に役立つと思うからだ。
理系男子	生成系AIの回答は信ぴょう性にこそやや欠けるものの、その文体や論理展開等は大いに参考になる。実際、エントリーシート設問をそのまま入力し、回答を参考にするといったことは何度か行ったことがあるし、今後もそういった機会があれば活用したい。

「わからない」と答えた理由

属性	内容
文系女子	IT格差が生まれそうなのが怖い、それを恐れて使いたくないと言い切ることも難しいので、わからないにしました。
理系男子	学生の個性が失われるのではないかと懸念があるので、どちらかといえば使いたくないが、便利な面もあると思うので、わからないと回答しました。
文系女子	使いこなせないと志望動機などが荒くなってしまいそう、本当に合ってるのかは自分で調べるしかない、という観点から使うことに不安がある。ただ、大まかな草案として使ったり、すぐに企業の事業などを挙げられるのをういたりするのは、効率的でいいと思う。上手な使い方を見つけるべきだと思うので、それが自分にできるかどうかわからないということから「わからない」を選択した。
文系男子	企業の社員の方の話を伺う中で、就職は企業とのマッチというところが非常に重要であると考えます。そのため、自分の言葉でないことを記したり、面接の際に暗記し話すことは、結果的に早期離職へと繋がるためです。また、自分自身ここまで自分を振り返ることやESを書くことで、就職活動当初より成長を実感できたため、壁にぶつかりながらも周りの協力とともに頑張ることに意味があると考えました。しかし、就職活動当初のESの枠組みや面接内容の枠組みを知るとい意味で利用するのは、少しありであるような気もします。
文系女子	文章構成が苦手だったが、履歴書を書くうちにコツを掴んだので、就活初期は使いたいと考えたかもしれないが、終盤では必要ないと感じた。

「どちらかというに使いたいとは思わない」と答えた理由

属性	内容
文系女子	A社のライバル企業はどこか尋ねた際、あまり有用な答えが返ってこなかったので萎えました。
理系女子	AIによる分析も手段の一つであると思うが、やはり人と話すことで心が整理されたり癒されたりすることもあり、また、人と話す練習が面接にも活かされると考えたためメインとして使いたいとは思えなかった。
文系女子	自分が考えていないもので合格することに抵抗があるし、自分が考えたものがAIで考えたものに負ける(不合格になる)のも嫌。
文系女子	一度就職活動で自分で調べる方法以外に情報を入手したいと思い使用したが、その情報が間違っており確実に信用はできないため、自分で調べて情報収集するのが一番確実だと思った。
理系男子	自分で書いたものではないため、チャットサービスを使用したことを見抜かれ、それによって選考に落ちてしまう危険があるのが怖いから。しかし、ESなどの内容を考える際に、ベースとなるアイデアをAIから取り入れるという使い方はするかもしれない。
文系男子	チャットGPTが考えた文章には自分らしさがでないと思うので使いたいと思わないです。
文系男子	ChatGPTやBingChatといった生成系AIについては長期インターンの業務でもかなり活用していますが、就職活動については次の2点の理由から使用したいとは思っていません。 1. 精度がまだ確実ではなく、またOpenAI社の意向によって風向きが変わりやすい途上段階にあるから 2. 就職活動は自分の人生と大きく関係するものなので、AIを使わずに自分の言葉で取り組む方が、自分にとっても企業様にとっても有用であると思うから
文系女子	まだセキュリティ面で不安であること、チャットサービスを使ったことが企業側にばれたときに不利にならないか不安であるため。
文系女子	使って書いた文章でエントリーシートなどを書いて選考を突破できたとしても、その後の面接でボロが出ると思うから。
文系女子	使い方によってはとても有利になるとは思うが、まだ賛否両論ある中で人生に関わる大切な就活に利用しようとは思わないから。
理系男子	自分で志望動機や、自分の特徴を考えていく中で、自分の中の考えや、大事にしているものが分かるので、AIに任せっきりになってしまうと、その機会を失い、結局面接で空っぽな自分が露呈してしまう。そうならないために自分で考えた志望動機で挑みたい。
理系女子	就職活動を通じて、企業選びや自己分析など自ら調べることに意味があると感じたため。chatGPTのようなAIはとても便利であるため上手く活用する分には効率化できると思うが、利便性ゆえに使い方を誤ってしまうと自分の方向性が歪んでしまうのではないと思う。また、AIは正確性に欠ける部分があるため、自ら最新情報を収集する方がいいと思うため。
文系女子	自分の言葉で自分の気持ちをきちんと表せる大人になりたいから使いたいと思わないです。
文系女子	内定を頂けたとしても、自分で努力して得た結果ではないと思うため
理系女子	自分の能力ではないから。
文系女子	正しい敬語や日本語としておかしい部分を修正する程度なら使っても良いと思うが、志望理由など自分の意思が濃く現れる部分をAIで作ってしまったら自分の考えの軸が安定せずに後々困ることになると思う。
文系女子	チャットGPTの興味があつたことから、就活で1度使用したことがあります。しかし、質問のニュアンスを少し履き違えており、自分の求める回答ができませんでした。また、就活以外の場面で使用した際には、チャットGPTが既に持っている情報をとりあえず並べてそれっぽい文章を作り上げていただけで、事実とは異なる内容も多く含まれていました。就活は、自分の経験や考え方を伝えることで、その企業との適性を図る必要があります。言葉に感情を乗せる必要があります。チャットGPTでは、ウソの内容だけでなく質問とズレた回答を行う危険性、また感情がないことから、惹かれる文章は作成できないと感じます。そうした点から、今後就活をするとしても、使ってみたいとは思いません。
文系男子	例えばES作成において、ありきたりな文章としては満点に近いものを作ってくれるが、説得力に欠けるため本格的には使わないだろう。やはり自分の経験に基づくものでなければ意味がない。
理系女子	すべてをAIにお任せしてしまうと、自分で課題に対する思考能力が低下してしまうと考えています。

理系女子	就職活動では自分らしさが大切だと思うから自分の言葉で書くことに意味を感じる。
理系女子	誤字脱字を見てもらう程度であれば、自分のケアレスミスを防ぐために必要だろうと感じるが 個人の意見や専門用語を理解していない場合、AIを使ったエントリーシート等で自分の中に必ず相違が生まれるとおもう。
文系男子	エントリーシートを下書きしている際にChatGPTを用いて文章の作成に試みたことがある。いくつかのキーワードと条件を与えて生成したところ、案外筋の通ったものが出来上がった。しかし、完璧に自分の伝えたいことがその文章に反映されているかと言えそうではない。論理的な文章の構成は参考になるが、自分の頭で考え、自分の手でキーボードを打ち込む方が結果的には効率的であると考え。現時点ではChatGPTは参考程度に用いるのが自分の中ではベストな使い方であると考え。
理系男子	たしかにChatGPT等のAIサービスを使うことで履歴書作成や面接対策をより効率的に進めることができるようになります。しかしながら、生成系AIは、あくまでAIであるため自分の経験や考えを完全に反映できるというわけではなく、オリジナリティーに欠けてしまうというデメリットが予想されます。このことから、生成系AIを選考に使用することで、どこの企業でも当てはまるような「ありきたりな履歴書」ばかりが作られてしまうのではないかと私は懸念しています。 ですから、生成系AIを使うのであれば、選考に関わらないような場面で使った方が無難なのではないかと思えます。
理系男子	生成系AIは過去データの整理、抽出が得意分野であると認識しています。そのため業界研究のような、私が知らない分野の知識を、生成系AIに理解しやすい形で出力してもらい、自分のインプットのスピードをあげるというような、学習の補助としての使用は有効的であると考え、その点では活用しても良いと考えています。しかし業界を絞ることや面接といった、自分の考えが核となってくる就職活動において、生成系AIを使うポイントはないと考えています。使用した場合は自分らしさがなくなると思いますが、それで就職できたとしても自分の考えなしに自分の人生を決めたことに対して将来後悔すると思うからです。使用したとしてもESの添削といった程度だと思えます。
理系女子	ESは、自身の経験を踏まえ上で自分の手で企業への思いを書くことに意味があると考えているため。面接でも軸のある回答を求められるため、初めから自分で書くことにメリットを感じている。
理系男子	自分の進路に関わる提出物を自分以外の者に任せたくない。文章力も含めて個人の実力だと思う。良い文章を書けるように試行錯誤したことが成長に繋がったと感じるので、その部分をAIに任せってしまうのは本人の為にならない。
理系男子	芸術の分野における生成AIに代表される話ではあるが、AIで簡単に絵画が生成できるようになると、イラストレーターも自身の画力を磨く必要がなくなり、結果として全体のスキルレベルが下がることが懸念されている。ChatGPTでも同様と考えており、文章作成が簡素化されて便利になることは良いことであるが、それに依存することによって社会人全体の文章力の低下を招く危険性があるのではないかと考えているため、私個人としてはそういった技術とは適度な距離感でいる必要があると考えているため、あまり使いたいとは思わない。
文系男子	おそらくエントリーシート作成の時に使うのだろうが、果たして現在のChatGPTがそのひとの経験や性格を文章で的確に表すことができるのか疑問に思う。现阶段では人間の方がこの作業に長けていると思うので、使おうとは思わない。

「まったく使いたいとは思わない」と答えた理由

属性	内容
理系女子	理由は2つあります。 まず1つ目に、生成系AIのチャットサービスを利用することで自分自身の能力が向上しないからです。 生成系AIチャットサービスは便利な反面、自分の頭で考える機会が極端に少なくなるため、自分自身で考える力や自分で言語化する能力が大きく低下すると考えられます。就職活動では自分の考えを示さなければならないことがあります。特に面接では言語化能力を求められるため、日頃から鍛えておかないと自分の考えを的確に伝えることができません。 2つ目は、他者と差別化できないことです。自分で考えることでオリジナリティが出ると考えています。仮にエントリーシートなどで生成系AIチャットサービスを使用すれば、他者との差別化を図ることができず、同一なESで溢れてしまいます。 以上のことから、生成系AIチャットサービスを利用したくないと考えています。
理系男子	自身でしっかりと志望動機をねったほうが予想外の方向から質問されたときに対応できると考えているから
文系女子	機械的な内容で全体就活生が同じ内容の話を就活で使用することになり、差別化ができないと思うからです。自分だけに話せる内容を伝えたいのにAIを使うことでAI側が学習を高め、自分のネタを他の人に使い回される可能性もすくなくあるかと思えます。
文系女子	AIを信用していないからです。近年情報を鵜呑みにする人が増えていますが、生成系AIのチャットサービスは使うものによって情報が偏る可能性が推測できます。そのため、AIによって知識を得るぐらいならば、自分で調べて考える方が身のためになると考えます。
理系女子	所詮、ネット情報の寄せ集めに過ぎないので、情報源として信用できない。 AIは、機械的な処理を行うには正確さ・スピード共に申し分ないと思う。しかし、例えば、ES作成を例に挙げても、機械から導き出される回答は、人間の経験や感情・思考から導き出される回答には敵わないと思うため。
理系男子	生成系AIによって生成されるものは所詮、諸々の寄せ集めの学習成果でしかなくそこにプロンプトを打ち込んだ個人の意見や思想、価値観は含まれておらず(AIを間接的に通すことで内容の責任の所在が曖昧)、それを就職活動に用いることに意義を見出せないから。最近の動向として私から見れば自分で考えることもせずにAIに頼ることを良しとする雰囲気がある。就職活動は自分で動くべきであるし自分の考えや人となり、経歴を企業に示してお互いのマッチ度を確かめるものだと考えている。したがって、生成系AIは就職活動に全く相応しくないと考える。ただし、AI技術でも全てを一から生成する技術ではなく、ESの要約であれば意義があると考えている。自分で考えた文をAIの力を借りて要約する程度であればAIは煩雑な作業を効率化できる素晴らしい技術であると言える。
文系男子	AIに相談するくらいなら人間に相談した方が良いから
理系女子	他人にESを書かせているようなものだと思うので。結局のところ、chatGPTに入力し、文章を修正していたら時間はかかるのでコスパは悪いと思う。
文系女子	AIの回答は自分の考えではなくあくまで「インターネット上の情報を分析して出した考え」だから。
文系男子	知人にAIを用いて、志望理由を書いている人が居ますが、特別選考に進めているという訳ではないので、活用しても意味は無いと感じ、自分の力でやるべきだと思ったため、まったく使いたいとは思いません。
文系男子	志望動機などをchatGPTを使って作成したとしても結局自分が考えた文章ではないのでその熱意の部分は面接などの選考を通じてバレると思うから。
理系男子	大規模言語モデルは、尤もらしい答えを出力するには適している。しかし、就職活動においては個性が重要であると考えているため、そのようなAIツールは用いなかったし、他者による添削依頼も行わなかった。
理系男子	多層の人工ニューラルネットワークを持つAIは、何故そのように判断をし、結果を出力したのかを人間は理解することが出来ず、それっぽい画像や文章を生成しているだけに過ぎないため、自分のことをどれだけ学習させたとしても、そのAIが生成する結果は自分のことを表すことが出来ていないと私は考えているから。
文系女子	自分らしさが表現できず、他の就活生との差別化ができないと考えるから。
理系男子	自分のことや考えたことを自分の言葉で述べるのが大事なので、あくまでAIのような第三者が考えたものをそのままパクるのは、他の就職活動者との違いが出てこないおそれがあるから。